

海軍省教育局檢閱濟

陸

戰

教

範

達第九十六號

陸戰教範別冊ノ通改正ス

別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和五年八月十二日

海軍大臣 財 部 彪

陸  
戰  
教  
範

## 綱領

**第一** 軍隊ノ用ハ戰鬪ニ在リ故ニ百事皆戰鬪ヲ以テ基準ト爲スベシ

戰鬪一般ノ目的ハ敵ヲ壓倒殲滅シテ速ニ戰捷ヲ獲得スルニ在リ而シテ確固タル軍人精神ヲ基礎トシ軍紀至嚴ニシテ攻撃精神充溢セル軍隊ハ克ク戰捷ヲ完フシ得ルモノトス

**第二** 軍紀ハ軍隊ノ命脈ナリ上指揮官ヨリ下

兵ニ至ルマデ脈絡一貫克ク一定ノ方針ニ從ヒ衆心一致ノ行動ニ就カシメ得ルモノ即チ軍紀ナリ而シテ軍紀ノ要素ハ服従ニ在リ、全軍ノ將士ヲシテ至誠上長ニ服従シ、其ノ命令ヲ確守スルヲ以テ第二ノ天性ト成サシムルヲ要ス

**第三** 軍隊ハ常ニ攻撃精神充溢シ士氣旺盛ナラザルベカラズ蓋シ勝敗ノ數ハ必ズシモ兵力ノ多寡ニ依ラズ、精練ニシテ且攻撃精神ニ富メル軍隊ハ克ク寡ヲ以テ衆ヲ破ルコトヲ得ルモノ

ナレバナリ

**第四** 陸戦隊ハ戦闘、警備等ニ方リ複雑困難ナル情況ニ於テ各級職員ノ臨機善處ヲ必要トスルコト屢ナリ故ニ隊員ハ機敏ニシテ剛毅、周密ニシテ果斷克ク操式教範ニ通曉シ之ガ活用ヲ誤ラザルノ用意アルヲ要ス

# 陸戰教範目次

綱領	一頁
第一篇 戰務	一
第一章 指揮及連絡	一
要旨	一
第一節 命令、報告及通報	三
第二節 要圖	一四
第三節 通信	一八
第二章 搜索及偵察	二六
要旨	二六
第三章 行軍	四〇

要旨	四〇
第一節 通常行軍	四一
第二節 警戒行軍	四六
第三節 輸送	六三
第四章 駐軍	六四
要旨	六四
第一節 通常駐軍	六六
第二節 警戒駐軍	七三
一、警戒要領	七三
二、配備	七五
三、大哨及小哨	八〇
四、哨兵及斥候	八五
第五章 五、哨兵小隊(小哨)ノ交代	一〇一
警備	一〇一
要旨	一〇一
第一節 警備要領	一〇四
第二節 配備及交代	一一一
第三節 哨兵	一二一
第四節 巡邏及應急隊	一二六
第六章 陸上工作	一二八
要旨	一二八
第一節 構築	一二九
一、散兵壕及機銃々座	一二九
二、障礙物	一三一

三、埠頭、棧橋及信驛所	一四
第二節 破壞	一三
第七章 徵發	一六
第八章 給與	一六
第二篇 戰鬥	一七
要旨	一六
第一章 戰鬥一般ノ要領	一六
第二章 攻撃	一七
第一節 攻撃一般ノ要領	一七
第二節 遭遇戰	一八
第三節 陣地攻撃	一九
第三章 防禦	一七
要旨	一六
第四章 追撃及退却	二〇
第五章 夜戰	二二
第一節 攻撃	二二
第二節 防禦	三〇
第三節 追撃及退却	三三
第六章 敵前上陸及退却	三四
要旨	三四
第一節 上陸計畫	三六
第二節 上陸ノ實施	三九
第三節 退却	四三
第七章 山地、河川及森林ノ戰鬥	四四



第八章	住民地ノ戰鬪	二四二
第九章	不正規軍ニ對スル戰鬪	二四七
第十章	乘馬隊、砲隊及飛行機ニ對スル動作	二五〇
附錄		二五三
第一章	演習	二六一
第二章	兵語ノ説明	二六六

# 陸 戰 教 範

## 第一篇 戰 務

### 第一章 指揮及連絡

#### 要 旨

- 第一 指揮及連絡ハ軍隊活動ノ脈絡ヲシテ百般ノコト皆之ニ基ク而シテ  
指揮ハ主トシテ命令ニ依リ連絡ハ報告及通報ニ依ルモノトス
- 第二 指揮ノ基礎ハ決心ナリ而シテ決心ハ任務、敵情、地形及我軍ノ狀  
態等ニヨリ決スルモノニシテ特ニ任務ハ其ノ基礎ヲ爲スモノトス

決心ハ指揮官ノ堅確ナル意志ニ依ルベキモノニシテ常ニ徹底的ナルヲ要シ一度定メタル決心ハ重大ナル理由アルニ非ザレバ之ヲ改變スベカラズ然レドモ若シ決心ヲ新ニスルヲ要スル事情ヲ生ジタル場合ニハ其ノ改變ノ時機最適切ナラザルベカラズ

**第三** 決心ヲ爲スニ當リ敵情ヲ正シク判斷スルコトハ最肝要ナリ之ガ爲各種ノ手段ヲ盡シテ其ノ資料ヲ得ルコトニ努ムルヲ要ス

而シテ敵ノ企圖ハ多クノ場合不明ナルベシト雖モ戰術上至當ナル行動竝ニ其ノ爲シ得ベキ動作及慣用戰法等ヲ攻究セバ之ガ推定上大ナル過誤ナキヲ得ベシ

**第四** 決心ヲ爲スニ當リテハ敵ニ對シ常ニ主動ノ位置ニ立チテ動作ノ自由ヲ獲得スルニ努メ且敵ノ意表ニ出ヅルコト肝要ナリ

又決心ヲ爲スニハ眼前ノ小利ニ眩惑セラルルコトナク常ニ大局ヲ窺セ

ザルヲ要スルト共ニ其ノ時機適當ニシテ遲速アルベカラズ情況充分明瞭ナラザルノ故ヲ以テ決心ノ時機ヲ遲延セシムルハ不可ナリ又過早ニ決心シテ情況ノ變化ニ依リ更ニ之ヲ改變スルガ如キハ指揮官ノ過誤ニ屬スルモノトス

**第五** 正確ニシテ時機ニ適合シタル報告、通報ハ各指揮官ニ正當ナル情況判斷ヲ爲ス基礎ヲ與ヘ以テ指揮及協同動作ヲ適切ナラシムルモノナリ故ニ指揮官及各部隊長ノ間ニ適切ニ連絡ヲ保ツコトハ極メテ緊要ナリ

然レドモ特殊ノ場合ニハ受ケタル命令若ハ報告、通報ヲ所要ノ期間秘密ニ保ツヲ要スルコトアリ

## 第一節 命令、報告及通報

## 命令

## 第六 命令ハ發令者ノ決心ヲ表示シ受令者ニ任務ヲ課スベキモノニシテ

受令者ノ處斷ニ委スベカラザル事項ヲ簡明確切ニ示シ過度ニ受令者ヲ拘束セザルヲ要ス然レドモ受令者ノ識量性質ヲ顧慮スルコトモ亦肝要ニシテ要スレバ行動ノ準據トナルベキ大要ヲ指スルヲ可トスルコトアリ

## 第七 命令ハ其ノ實行ニ至ル迄情況ノ變化測リ難キトキ又ハ發令者情況

ヲ豫知スルコト能ハザル爲受令者ヲシテ現況ニ應ジテ適當ニ處斷セシムベキトキ等ニハ殊ニ簡單ニシテ細事ニ互エザルヲ要ス

## 第八 命令ニハ臆測ヲ加ヘ將來ヲ希望シ又ハ之ヲ命ジタル理由ヲ示シ或

ハ未然ノ形勢ヲ豫想シテ一々之ニ應スル處置ヲ定ムルガ如キコトヲ避クルヲ要ス

## 第九 命令ハ適當ノ時機ニ受令者ニ達スル如ク發スルヲ要ス是レ早キニ

失スレバ情況ノ變化ニ伴ヒ之ヲ更正スル必要ヲ生ジ遲キニ過グレバ受令者適當ナル處置ヲ爲ス餘裕ヲ得ザレバナリ

第十 數部隊ヲシテ協同動作ヲ爲サシムル場合ニハ通常同一ノ命令ヲ以テ其ノ任務ヲ附與スルモノトス而シテ受令者ガ命令受領後處置ニ多クノ時間ヲ要スルトキ或ハ部隊ヲシテ速ニ所要ノ位置ニ就カシムルヲ有利トスル場合等ニ在リテハ先ヅ各別ニ其ノ要旨ノミヲ示シ後完全ナル命令ヲ下スヲ可トスルコトアリ

## 作戰命令

## 第十一 作戰命令ハ左ノ順序ニ依リ述ブルヲ通例トス

一、敵軍及友軍ノ情況(受令者ノ爲ニ必要ナルモノニ限ル)

二、指揮官ノ決心

三、各部隊ノ任務

四、發令者ノ所在及要スレバ其ノ行動連絡ノ方法等

日令  
報告及  
通報

第十二 直接作戰ニ關係ナキ事項ハ通常日令トシテ令示スルモノトス

第十三 敵情ハ探索シテ得タル情報ト自己ノ觀察トヲ綜合シテ判斷スルヲ最確實ナルモノトス故ニ各部隊長ハ探知シ得タル情況ノ内必要ナルモノハ自己ノ現狀竝ニ爾後ノ企圖等ト共ニ速ニ上級部隊長ニ報告シ且要スレバ之ヲ部下竝ニ比隣部隊ニ通報スルコト肝要ナリ

又長期ニ互ル警備ノ如キ場合ニ在リテハ指揮官ハ各方面ヨリ得タル情報ヲ綜合シテ毎日一定ノ時刻ニ之ヲ所要ノ部隊長ニ通報スルヲ可トスルコト多シ

第十四 報告ノ時機ハ情況ニ依リ一定シ難シト雖モ初メテ敵ヲ發見シタルトキ、有力ナル部隊ト遭遇シタルトキ、敵ノ占領ヲ豫想シタル地點等ニシテ敵ガ未ダ之ヲ占領シアラザルトキ及一任務ヲ達成シタルトキ等ニハ必ず報告スベキモノトス又一定時間中ニ於ケル形勢變化ノ有無

ヲ報告スルコトハ大ニ價值アルモノトス

第十五 指揮系統ヲ有スル部隊長間ノ命令、報告、通報ノ傳達ハ其ノ系統ヲ逐ヒテ之ヲ行フモノトス然レドモ特ニ事急ナル場合ニハ此ノ順序ニ依ルコトナク直接所要ノ部隊長ニ傳達スルコトヲ得此ノ場合ハ此ニ在リテハ中間ニ於テ省カレタル部隊長ニハ成ルベク速ニ其ノ旨ヲ別報スヲ要ス

又友隊ニ對スル通報ハ相互ノ協同動作上直接關係ヲ有スル部隊長ニ傳達スルヲ通常トスレドモ危險ノ迫レル部隊其ノ他特ニ必要ナル部隊ニハ先ヅ直ニ通報スルモノトス

第十六 地形ニ關スル適切ナル報告通報ハ重要ナル價值ヲ有スルモノトス故ニ報告ニハ其ノ要求ナキ時ト雖モ成ルベク之ヲ附加スルヲ可トス特ニ現地ト地圖ト相違シタル場合ニ於テ然リトス

第十七 指揮官ト遠隔シタル部隊ノ長ガ自隊ノ狀態及爾後ノ企圖ニ關スル事項ヲ上級指揮官竝ニ關係友隊ニ知ラシムルハ其ノ畫策ヲ適當ナラシメ他部隊ヲシテ協同動作セシムル爲必要ナルヲ以テ他ノ報告、通報事項ニ之ヲ附加スルノミナラズ要スレバ特ニ之ヲ報告若ハ通報スベシ

第十八 報告ニハ自己ノ目撃シタルコト他人ヨリ聞知セシコト若ハ自己ノ推測ニ係ルコト等ヲ判然區別スルヲ要ス而シテ自己ノ目撃セシモノヲ除クノ外其ノ出所ヲ明示シ推測ニ係ルモノハ其ノ理由ヲ附スルヲ要ス

第十九 敵情ニ關スル報告ハ簡明ニシテ左記四件ヲ具備セシムルニ努ム

ルヲ要ス

一、時局

二、場所

三、兵力（兵種、員數）

四、動靜（行動、配備及其ノ他ノ狀態）

第二十 戦闘一段落ヲ告ゲタルトキハ各部隊長ハ直ニ先ヅ戦闘概報ヲ直屬上官ニ提出シ時機ヲ得次第戦闘詳報ヲ提出スベシ

戦闘概報ニハ概ネ左記ノ内必要ナル事項ヲ示シ爲シ得レバ主要ナル時機ニ於ケル彼我ノ對勢ヲ明ニセル要圖ヲ添附スルヲ可トス

戦闘前ニ於ケル彼我ノ對勢、戦闘經過ノ概要、戦闘後ニ於ケル彼我ノ對勢及敵情判斷竝ニ之ニ對スル自己ノ企圖、彼我損害ノ情況、消耗彈藥及殘彈ノ概數其ノ他重要ナル事項

第二十一 傳令ヲ以テスル報告、通報ハ特ニ簡單ナル事項ノ外成ルベク口頭ニ依ルヲ避ケ筆記シテ送達スベシ

第二十二 命令、報告及通報等ニ用フル語句ハ簡單確切ニシテ平易ナル

戰鬥概報  
戰鬥詳報

命令及通報  
威報ノ構

ヲ要シ理解困難ナル章句或ハ不必要ナル形容詞等ノ使用ハ之ヲ避ケ受領者ガ如何ニ解釋スベキヤヲ考察シ文書ニ記載セバ必ズ之ヲ復讀スルヲ要ス

**第二十三** 命令ニハ通常其ノ固有ノ隊名(第一大隊命令等)或ハ軍隊區分ニ依リテ成リタル部隊等ノ名稱(前衛命令等)ヲ冠ス

報告ハ種類ニ應ジテ報告者ノ隊名事項等ヲ冠ス例ヘバ「第一中隊戰圖概報」「第一將校斥候報告」等ノ如シ

**第二十四** 命令、報告及通報ヲ文書ニ記載スルニハ項ヲ分チ數字(一、二、三等)ヲ附シ列記スルヲ例トス而シテ特ニ書式アルモノノ外緊要ナル事項ハ之ヲ始メニ記載シ一事件ニ關スルモノハ行ヲ分チテ一項中ニ記載シ且發送日時、發送地、發令者又ハ報告者ノ職氏名及必要ニ應ジ配布先ヲ記入スルモノトス

**第二十五** 命令、報告及通報ニ用フル日時ニハ本日、明日、昨日、先刻、唯今等ヲ避ケ曆日ヲ用フベシ又時刻ニハ午前、午後ノ別ヲ必ズ冠スルモノトス例ヘバ三月十一日若ハ明十一日、昨九日、午前八時、午後三時等ノ如シ又十二時ノ呼稱ハ通常何日正午若ハ何日夜十二時ト呼稱シ誤リヲ避クルヲ可トス

全夜ニ亙ル事件ヲ示スニ夜ナル語ヲ用フルヲ要スルトキハ單ニ某日夜ト稱ス此ノ場合夜トハ某日夕刻ヨリ其ノ翌日ノ明ケ方迄ヲ指スモノトス

**第二十六** 地名ハ殊ニ明瞭ニ示シ且地圖ト同文字ヲ用フルヲ要ス

一 地方ニ於テ同一ノ地名アルトキ若ハ著名ナラザル地名ハ精密ニ示スヲ要ス例ヘバ「何町ノ北東何十米ニ在ル何村等」ノ如シ

又字名或ハ俗稱ニシテ地圖ニ記載ナキモ之ヲ用フレバ其ノ地點明瞭ナ

ルトキ或ハ地圖ノ地名實稱ト異ナル場合ニ於テハ必ず先ヅ地圖ニ記載シアルモノヲ用ヒ其ノ次ニ註釋のニ字名或ハ俗稱又ハ實稱何ヤト示シ又讀ミ難キ地名ヲ文書ニ記スニハ振り假名ヲ附スベシ例ヘバ「不入斗」ノ如シ外國ノ地名ハ漢字ヲ用フルモノニ在リテハ漢字ヲ以テ記載シ其ノ呼稱ハ我國慣用ノ發音ニ從ヒ例ヘバ上海(シヤンハイ)青島(セイトウ)等ト呼稱シ然ラザルモノハ片假名ヲ以テ記載シ「」ヲ附スルヲ通常トス

道路ハ疑ナキ街道ノ外ハ之ニ關スル著名ナル二個以上ノ地名ヲ以テシ文書ニハ「何村——何村道」ノ如ク記ス

某地點又ハ道路ヲ包含スル地區ノ指示ヲ爲スニ際シテハ之ヲ包含スルヤ否ヤ疑ハシキ懸念アルトキハ地名又ハ道路ノ名稱ノ次ニ(含ム)又ハ(含マズ)ヲ明示シ或ハ某地及其ノ附近若ハ道路及其ノ以南等ト示シテ

### 明瞭ナラシムベシ

第二十七 前後左右ハ自軍ノ向フ方向ヲ基準トシテ呼稱スルモノニシテ特ニ敵軍ニ就キ謂フトキハ「敵ノ」ノ二字ヲ冠シ「敵ノ後方」「敵ノ左翼」等ト稱ス

河川ノ右岸、左岸トハ下流ニ面シテ呼稱スルモノトス

第二十八 我兵力ヲ表スニハ隊名ヲ以テスルヲ例トス固有部隊中其ノ一部ヲ缺クカ或ハ他ヨリ來リテ加ハリタルモノアルトキハ其ノ隊名ノ次ニ註釋のニ之ヲ示ス例ヘバ第一大隊(第三中隊缺)第二中隊(機銃一小隊ヲ加フ)等ノ如シ

第二十九 文書ヲ以テスル命令、報告及通報等ハ字體ヲ正シク鮮明ニ記註シ光線不充分ナル時ニモ通讀可能ナルヲ要シ且誤リ易キ文字例ヘバ二トニ、八トハ、カトカ等ハ特ニ明瞭ニ記載スルコト緊要ナリ

圖 圖

第二節 要 圖

第三十 命令、報告、通報ニ要圖ヲ添フルトキハ其ノ意ヲ明示スルヲ得ルノミナラズ命令、報告、通報ヲ簡單ナラシムルコト多シ

寫眞ヲ要圖ニ替へ又ハ要圖ト併用セバ便益多キコトアリ

第三十一 要圖ハ其ノ目的ニ應ジ單ニ必要ナル事項竝ニ所要ノ關係位置等ヲ簡明ニ記載スルニ止メ時宜ニ依リ必シモ尺度ニ據ルヲ要セズ又距離ハ數字ヲ記註スルヲ以テ足レリトス

第三十二 要圖調製ノ要領左ノ如シ

一、符號及圖式ヲ使用ス（圖式ハ五萬分ノ一以下ノ陸圖ノ欄外ニ在リ）

二、隊標、隊號其ノ他戰術上ノ記註ニハ味方ハ青色、敵ハ赤色ヲ用フ

三、隊標ハ現ニ面シアル方向ニ頭ヲ向ケ隊號、圖式ハ北ヲ上トス

四、指揮官ノ位置ハ全般ニ大ナル關係アルヲ以テ特ニ明瞭ニ示スベシ

五、戰鬥ノ各時機ヲ示スニハ左例ニ依ル



六、水流、池、湖、海ハ淡キ青色ヲ用フ

七、要圖ノ範圍外ニ在ル部隊ヲ示スニハ右要領ニ依リ欄外ニ現在地

點、任務運動、方向等ヲ記註ス

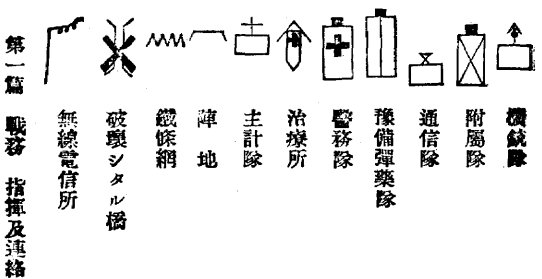
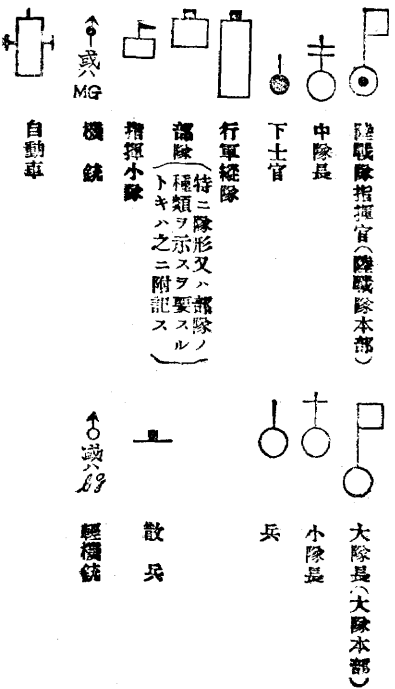
八、要圖ニハ左記事項ヲ記入ス

表題、月日時刻、方位、尺度、調製者職氏名

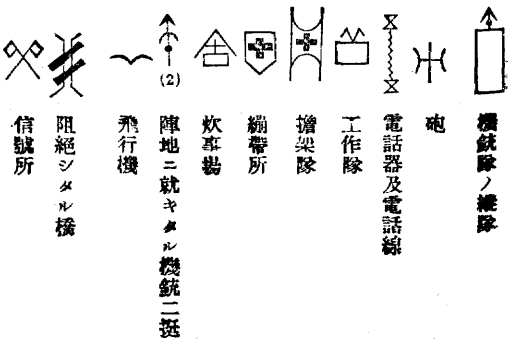


第三十三 要圖ニ用フル符號ノ規定左ノ如シ

符 號



第一編 戰務 指揮及連絡



一七

↑ 主攻撃方向

● 射撃方向

部隊號及部隊數ヲ表ハスニハ左例ニ依ル

一 六	第一大隊	二 二	第二中隊
一 〇	機銃第一小隊	二 一	工作隊第一分隊
一 〇	一ヶ小隊	三 〇	三ヶ分隊
一 〇	機銃一ヶ中隊	一 〇	電話隊一ヶ班
二 〇	(中隊一ヶ中)	二 〇	第二中隊(機銃一ヶ小隊ヲ加フ)
三 〇	(一ヶ中)	三 〇	三ヶ中隊(二ヶ小隊缺)

### 第三節 通信

通信

#### 第三十四

命令、報告及通報ノ傳達確實敏速ナルハ作戰上最重要ナリ而シテ其ノ傳達ハ通信機關ニ依ルコト多キヲ以テ各幹部ハ常ニ所要ノ通信機關ヲ準備スベキモノトス

通信ハ各幹部相互ニ於テ其ノ速達ヲ計ルベキモノナレドモ電話、遞傳等ノ通信機關ハ主トシテ上級指揮官ヨリ其ノ直屬下級指揮官ニ對シ準備スルヲ通例トス

#### 第三十五

通信ハ事ノ緩急距離ノ遠近其ノ他ノ事情ニ從ヒ徒歩ノ傳令若ハ自轉車、自働車、飛行機、糧、乘馬等ノ傳令ヲ用ヒ筆記、印刷或ハ口頭ニ依リ傳達シ又ハ信號、電話、電信等ヲ用フ時トシテ鳩、犬等ヲ利用スルコトアリ

#### 第三十六

命令ヲ傳達スル爲必要ニ應ジ各部隊ヨリ命令受領者ヲ招集シ若ハ像メ集メ置クヲ便トスルコトアリ

又長ク駐軍スル場合ニ在リテハ急ヲ要セザル命令、日令、通報等ヲ傳達スルニハ爲シ得レバ日々一定ノ時刻ヲ定メ各隊ノ命令受領者ヲ集メテ之ヲ行ヒ併セテ所要ノ報告ヲ爲サシムルヲ可トス

**第三十七** 敵軍若ハ敵意ヲ有スル土民ニ對シ通信機關ノ附近ニ在ル部隊ハ爲シ得ル限り其ノ保護ニ任ズベキモノトス

又電話線ハ往々我軍ノ行動ニ依リ故障ヲ起スコトアルヲ以テ各部隊ハ之ニ對シ充分注意スルヲ要ス若シ電話線ノ故障ヲ發見シタルトキハ成ルベク速ニ通信隊ニ通報スベシ

**第三十八** 各幹部ノ所在及通信所ノ位置ハ必要ニ應ジ傳令ヲシテ發見ヲ容易ナラシムル手段ヲ講ズベシ又傳令ニ對シテハ各部隊ハ通路ヲ讓リ要スレバ爲シ得ル限り援助ヲ與フル義務アルモノトス

**第三十九** 傳令ノ人選ニハ充分注意ヲ要シ特ニ重要ナル命令、報告若ハ

通報ノ傳達ニハ將校ヲ用フベシ又傳令ハ情況ニ依リ輕裝セシメ且道路良好ナルトキハ成ルベク車馬ヲ利用セシムルヲ可トス

**第四十** 命令、報告若ハ通報ノ趣旨重要ナルカ或ハ途中安全ナラザルトキハ二人以上ヲ同行セシムルカ若ハ道路ヲ異ニシテ數使ヲ用フベシ

**第四十一** 通信頻繁ナル場合ニハ要スレバ中間ニ遞傳ヲ配置スルヲ可トスルコト多シ若シ兩地間ノ距離遠大ナルトキハ之ヲ遞傳哨ト爲スコトアリ而シテ一遞傳哨ノ人員ハ通常三名以上トス

**第四十二** 傳令ヲ以テ命令、報告若ハ通報ヲ送達セシムルニハ發信者ハ傳令ニ受信者及其ノ所在ヲ確實ニ示シ要スレバ經路、速度、危險ニ遭遇シタルトキノ處置、傳達後ノ行動等ヲ指示スベシ

**第四十三** 傳令ハ任務ヲ終リ歸著セバ直ニ命ゼラレタル上官ニ其ノ旨ヲ届クルモノトス

又口頭ヲ以テ命令、報告若ハ通報ヲ傳フルトキハ出發前竝ニ歸著後其ノ事項ノ全部又ハ要旨ニ就キ復唱スベシ

**第四十四** 傳令ハ自己ノ行動ニ依リ我所在等ヲ敵ニ察知セラレザル如ク注意スルヲ要ス然レドモ之ガ爲其ノ任務遂行ヲ遅延スベカラズ

信 號

**第四十五** 信號ニハ旗旒、手旗、喇叭、携帶信號燈、信號拳銃、火箭、號火、號星、布板等ヲ用フ

信號所ヲ設置スル場合ニハ位置ノ選定ニ關シ現狀竝ニ將來ノ情況ヲ顧慮スルヲ要シ多クノ場合指揮官ノ近傍ヲ可トス若シ其ノ位置隔離スルノ已ムヲ得ザルトキハ指揮官トノ間ニ連絡ノ設備ヲ爲シ置クヲ要ス

對空通 信

**第四十六** 必要ニ應ジ信號ニ從事スル者又ハ特ニ指定シタル者ヲシテ對空通信ニ注意セシムルヲ要ス又飛行機ヨリスル通信筒投下位置及布板信號ノ位置ハ飛行機ヨリ發見容易ナル地點ヲ選ビ且必要ニ應ジ標示ヲ

爲スベシ

電 話

**第四十七** 電話ハ防禦ニ在リテハ勿論攻撃ニ於テモ之ヲ利用セバ便益多シ特ニ駐軍間ハ多クノ場合幹部ノ所在間ニ電話ヲ架設スルヲ可トス然レドモ近距離ノ通信ニ電話ヲ濫用セバ傳令ヲ使用スルヨリモ却テ遅延スルコトアルニ注意スルヲ要ス

**第四十八** 電話網ノ構成ハ最注意ヲ要シ現狀竝ニ將來ノ情況ヲ顧慮シテ之ニ適應スル如ク定メザルベカラズ

**第四十九** 電話所ノ位置ハ左ノ諸件ヲ顧慮シテ定ムルヲ要ス

- (イ) 連絡スベキ指揮官ノ所在地ニ近キコト
- (ロ) 成ルベク敵眼及敵火ニ對シ掩蔽シアルコト
- (ハ) 地絡線ノ設置ニ便ナルコト
- (ニ) 成ルベク風雨ヲ避ケ且騒音ノ爲通信ヲ妨害セザルコト

**第五十** 電話線ヲ架設スルニハ通常二名ヲ以テ行ヒ一名ハ電話線ノ絡車ヲ背負ヒ延線シ乍ラ前進シ他ノ一名ハ人馬等ノ被害ヲ受ケザル如ク成シ得ル限り地物ヲ利用シテ其ノ線ヲ附近ノ樹木、民家ノ軒端等ニ懸ケ或ハ埋設スル等ノ手段ヲ探ルモノトス、道路ヲ横切リテ懸架スル場合ニハ成ルベク高クシテ被害ヲ減少セシメ且要スレバ布片等ヲ附シ通行者ノ注意ヲ引ク手段ヲ講ズベシ又敵彈下ニ在リテハ努メテ地物ヲ利用シ其ノ被害ヲ少カラシムルヲ要ス

電話線ハ通常ノ地形ニ於テハ一時間ニ約四千米ヲ架設スルコトヲ得且一般ニ四百米ノ架設ニ五百米(絡車一卷)ノ電話線ヲ要スルモノトス

**第五十一** 電話ハ所要ノ事項ヲ直接ニ通話シ相互ノ意志ヲ疏通セシムルヲ其ノ特色トス故ニ之ヲ使用セントスル場合ニハ努メテ相互ノ責任者自ラ對話スルヲ要ス若シ電話手ヲ介シテ通話スル場合ニハ通話事項ヲ

筆記シテ交付スルヲ可トス

**第五十二** 電話ヲ以テ命令、報告若ハ通報ヲ傳達スルニ當リテハ受領者ハ必ズ復唱シ長キ通話ニハ一句毎ニ之ヲ筆記シ後更ニ其ノ全文ヲ復唱スルモノトス

**第五十三** 敵意ヲ有スル地方ニ於テ電話ヲ架設シタル場合及戰鬪間ニ在リテハ保線ニ關シ特ニ注意スルヲ要ス

**第五十四** 電話ハ屢不通トナルコトアリ故ニ重要ナル命令、報告若ハ通報ハ通信狀態良好ナル場合ト雖モ之ト同時ニ筆記シテ別ニ送致スルヲ要スルコトアリ地方ノ電信ヲ利用スル場合モ亦然リ

**第五十五** 無線電信ハ主トシテ海上部隊若ハ航空機ト陸戰隊トノ間ノ通信ニ使用ス無線電信所ハ成シ得レバ陸上ニ開設シ止ムヲ得ザル場合ニハ海上ノ情況ニ應ジ一時無線電信機ヲ搭載シタル舟艇ヲ陸岸ニ近ク位

置セシメテ代用スルコトアリ

## 搜索及偵察

## 第二章 搜索及偵察

## 要旨

## 第五十六

搜索及偵察ノ目的ハ敵ノ位置、兵力、動靜、施設、地形、其ノ他所要ノ事項ヲ探知スルニ在リ之ガ爲タトヒ他ヨリ得タル情報ニ依リ敵情略明カナルトキニ於テモ其ノ實施ハ尙缺クベカラザルモノトス搜索及偵察ハ通常斥候ヲ用ヒ情況ニ應ジ小部隊ヲ用フルコトアリ特ニ航空機ノ使用ハ其ノ價值頗ル大ナリ又諜報機關ヲ巧ニ利用セバ便益多キモノトス

## 第五十七

敵ト近接スルニ至ラバ搜索及偵察ハ間斷ナク行ヒ情況切迫スルニ從ヒ益周密ナルヲ要ス特ニ戰鬪間ニ於テハ敵ノ正面ノミナラズ其ノ側背ニ對シ注意スルコト肝要ナリ

## 第五十八

警戒部隊又ハ第一線部隊ノ長ハ通常近距離ノ地域ニ對シ綿密ニ搜索又ハ偵察ヲ行ヒ遠距離ニ亙ル搜索又ハ偵察ハ主トシテ指揮官ノ任トス

## 第五十九

搜索又ハ偵察ニ用フル部隊若ハ斥候ノ兵力ハ任務、敵情、地形之ヲ派遣スル部隊ノ大小、報告送達ノ方法、特ニ土民ノ事情等ヲ考慮シテ定ムベキモノニシテ通常少クモ三名以上ヲ用フ而シテ本隊ノ兵力ヲ成ルベク減ゼズ且斥候ノ潛行性ト敏捷性トヲ害セザル爲必要ノ最小限度ノ兵力ニ止メ且適時之ヲ主隊ニ復歸セシムルコトニ注意スルヲ要ス是レ搜索又ハ偵察ニ用フル兵力ノ多キハ必シモ其ノ周密ナル所以ニ非ラズシテ單ニ兵力ノ分散ニ過ギザルコトアルノミナラズヤヤモスレバ無用ノ戰鬪ヲ引キ起シ易キヲ以テナリ

斥候特ニ其ノ長ノ人選ニハ充分留意スルコト肝要ナリ又情況ニ依リ通

## 兵力決定ノ要領

進行偵

擧テ附スルヲ可トスルコトアリ

第六十 敵ノ兵力、企圖、配備、諸施設等ヲ確ムル爲各種ノ手段ヲ以テスルモ尙偵察ノ目的ヲ達成スルヲ得ザルトキハ攻撃ノ手段ヲ取り強行偵察ヲ爲スノ已ムヲ得ザルコトアリ此ノ場合ニ於テハ攻撃ニ用フル兵力大ナルニ從ヒ敵トノ離脱益困難ナルニ至ルニ注意スルコト肝要ナリ

轉校斥

第六十一 斥候ハ現在ノ情況ニ通ジ且判斷力ヲ要スルヲ以テ緊要ナル任務ノ爲ニハ其ノ長トシテ將校ヲ用フベキモノトス然レドモ將校ヲ派遣セバ殘餘ノ部隊ノ活動力ヲ減殺スベキコトモ亦顧慮スルヲ要ス

潜伏斥

第六十二 情況ニ依リ期間ヲ指定シテ一地ニ斥候ヲ潜伏セシメ敵情ヲ偵察スルヲ有利トスルコトアリ此ノ斥候ハ特ニ駐軍警備等ノ場合ニ用ヒラルコト多シ

第六十三 斥候ハ成シ得レバ之ヲ輕裝セシメ其ノ全部又ハ一部ニ自轉

車、自備車等ヲ利用セシムルヲ可トスルコト多シ情況ニ應ジ斥候ニハ地圖、双眼鏡、信號器具等ヲ携帯セシメ携帯彈藥、糧食ヲ増加スルヲ可トスルコトアリ又自働車、橋等ヲ利用スルトキハ之ニ機械ヲ搭載スルヲ有利トスルコト多シ

第六十四 搜索又ハ偵察ノ爲斥候ヲ派遣スルニ際シテハ其ノ主目的ヲ明示シ要スレバ取ルベキ行動ノ概要歸著スベキ時刻、地點等ヲ令シ且現狀及關係アル他ノ斥候ノ行動等ヲ示スベシ而シテ斥候ニハ其ノ目的達成ノ爲必要ナル時間ヲ與フルコト肝要ナリ

第六十五 敵情ノ搜索又ハ偵察ノ爲部隊ニ先行シ遠ク派遣スル斥候若ハ小部隊ノ長ニハ明瞭ニ現在ノ情況我軍ノ企圖竝ニ搜索又ハ偵察スベキ主目的ヲ示シ其ノ實施方法ニ就キテハ通常之ヲ拘束セザルヲ可トス然レドモ必要ニ應ジ通過スベキ地方等ヲ指示スルコトアリ

航空機ヲ使用スルトキモ亦概ネ之ニ準ズ

**第六十六** 搜索又ハ偵察ノ任務ヲ受ケタル部隊若ハ斥候ノ長ハ出發ニ先チ計畫ヲ立テ部下ニ情況、任務及計畫ノ大要ヲ知ラシメ要スレバ分擔ヲ定メ裝具ニ關シ所要ノ指示ヲ與ヘ裝填ヲ爲シ必要ナル記號ヲ定ムルモノトス

**第六十七** 斥候ハ屢非常ナル危險ト困苦トニ遭遇スルコトアルヲ以テ剛膽沈著ニシテ忍耐力ニ富ムヲ要スルト共ニ各種ノ徵候ニ對シ細心ノ注意ヲ拂ヒ不意ノ危害ヲ豫防スルコト肝要ナリ特ニ敵意ヲ有スル住民地ニ於テハ同一地點ヲ再三通過シ又ハ住民地其ノ他顯著ナル地點ニ長ク止マル等ハ避クルヲ可トス

搜索及偵察ノ要領

**第六十八** 搜索又ハ偵察ニ任ズル部隊若ハ斥候ハ視察ヲ以テ主要ナル手段トス故ニ成ルベク地形、天象等ヲ利用シ遮蔽シテ任務ヲ達成スルコ

トニ努ムベシ若シ敵ニ遭遇シタルトキハ多クノ場合戰鬪ヲ避ケ其ノ任務ノ達成ニ努ムルヲ可トスレドモ情況ニ依リ敵ノ小部隊若ハ斥候等ハ之ヲ驅逐スルヲ必要トスルコトアリ又突然至近ノ距離ニ於テ敵ニ遭遇シ之ヲ避クルノ餘裕ナキトキハ機先ヲ制シテ急射撃ヲ行ヒ若ハ突撃ヲ決行スベシ敵兵優勢ナリトモ決シテ退却スベカラズ是レ此ノ際ノ退却ハ敗滅ニ陥ルモノナレバナリ

**第六十九** 搜索又ハ偵察ニ任ズル部隊若ハ斥候ハ眼前ノ情況ニ眩惑セラレ其ノ主任務ヲ没却シ或ハ敵ノ陽動又ハ宣傳ニ惑ハサレ或ハ地形ニ迷ヒテ方向ヲ誤ル等ノコトナキ様注意スルヲ要ス特ニ夜間又ハ地圖不完全ナル地方ニ於テ然リトス

**第七十** 斥候ハ情況ノ許ス限リ道路ヲ利用シテ行動スレドモ屢蔭蔽地ヲ通過シ又ハ遠ク迂回スル等ノコトアリ之ガ爲ニ費シタル時間ハ斷歩ヲ



以テ回復スルヲ要スルコト多シ本隊行進中ナルトキニ於テ特ニ然リトス

**第七十一** 斥候ハ逐次ニ目標ヲ定メテ躍進シ著シク長大ナラザル闊濶地ハ一舉ニ之ヲ通過シ成ルベク躍進中途ニ於テ遲疑停止セザルヲ可トス一地點ニ躍進スルニハ努メテ蔭蔽物ヲ利用シテ充分各方面ヲ偵視シタル後決然前進スルヲ要ス

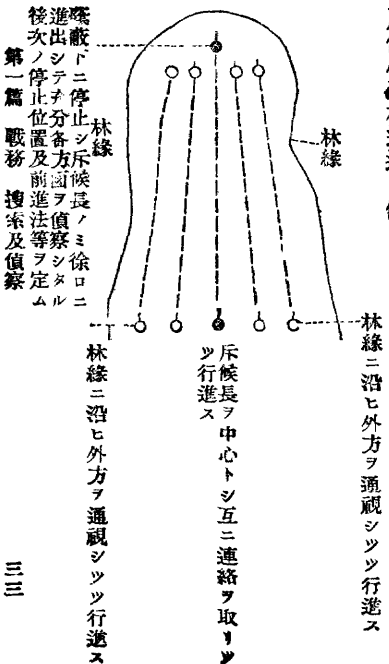
**第七十二** 斥候ハ敵情地形ニ應ジ集團スルコトナク適宜分散シテ行進スルヲ可トスルコトアリ而シテ此ノ場合敵ニ發見セラレザル爲ニハ成ルベク相互ニ近接セザルヲ可トスルコト多キモ一般ニ連絡容易ナル場合ト雖モ其ノ距離ハ百米ヲ越エザルヲ可トス

**第七十三** 小森林等ノ蔭蔽地ヲ搜索スルニハ各兵適當ナル距離ヲ以テ互ニ連絡ヲ保チツツ行進スベシ而シテ外側ニ位置スルモノハ蔭蔽地周縁

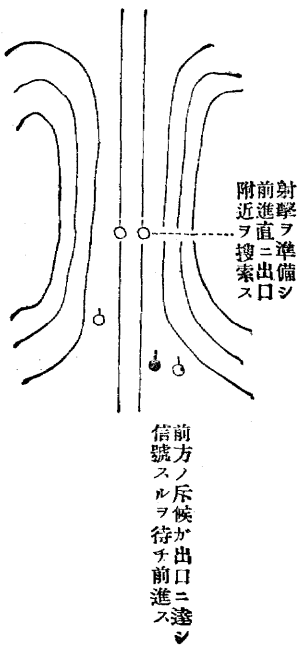
稍四方ニ在リテ外方ヲ通視シ得ル如ク行進スベシ

起伏地ノ搜索モ亦之ニ準ズ

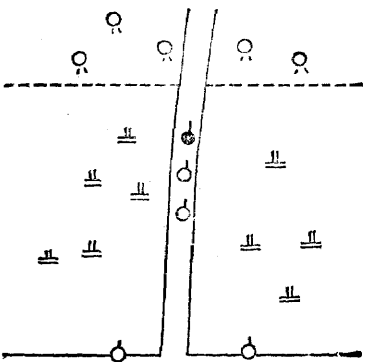
斥候小森林通過ノ例



第七十四 斥候短キ隘路ヲ通過スルニハ成シ得ル限り各方面ヨリ其ノ前方ヲ觀察シタル後要スレバ射撃ヲ準備シテ躍進スベシ  
斥候短キ隘路通過ノ例(其ノ二)



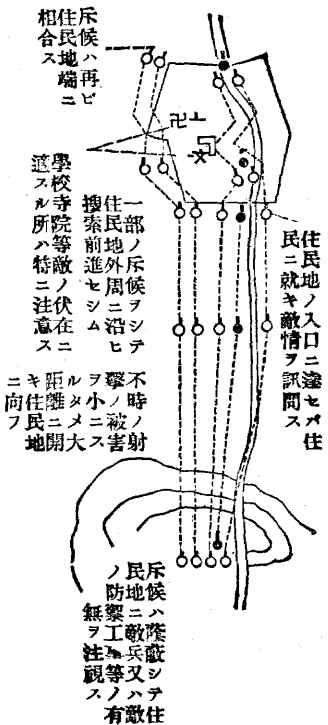
斥候隘路通過ノ例(其ノ二)



要スレバ一部ヲ入口ニ殘シ掩護ニ在  
セシメ斥候長ハ他ノ斥候ヲ率キ隘路  
ニ突入ス

**第七十五** 斥候住民地ヲ搜索スルニハ先ヅ遠方ヨリ充分ニ偵視シ敵兵又ハ防禦工事ノ有無等ヲ確メタル後廣正面ノ隊形ヲ以テ住民地ニ接近シ其ノ入口ニ至リ爲シ得レバ住民ニ就キ敵情ヲ尋ネ内部ノ搜索ニ從事スベシ住民地内部ノ搜索ニ於テ斥候ヲ分派スルニハ通常二名以上ヲ同行セシムルヲ要シ敵兵伏在ノ疑アル建築物等ニハ特ニ注意スベシ又一部ヲシテ住民地外縁ニ沿ヒ警戒セシムルヲ要スルコト多シ

斥候住民地搜索ノ例



**第七十六** 斥候休憩スルニ當リテハ適當ナル潜伏所ヲ選ビ且警戒ヲ中絶セザルヲ要ス又火氣及遺留物ニ對シ充分注意スルコト肝要ナリ

**第七十七** 敵ノ陣地、構築物等ヲ偵察スルニハ夜間ヲ利用スルヲ可トス

ルコト多シ而シテ夜間斥候ハ音響ヲ聞キ取ルコトヲ努メ又低所ヨリ透スシ見ルヲ利トスルコトアリ

## 報告

## 第七十八

斥候ハ初メテ敵ヲ發見シタルトキ、有力ナル部隊ヲ發見シタルトキ、我軍ニ大ナル危害ヲ與フベキ事件發生シタルトキ、指揮官既知ノ情況ト相違セル重要事項ヲ發見シタルトキ又ハ情況ノ激變ヲ認メタルトキ等ハ速ニ之ヲ報告スベシ某地方ニ於テ未ダ敵兵ヲ發見セザルコト若ハ一定時間中ニ於ケル形勢變化ノ有無ヲ報告スルコト等ハ指揮官ノ爲極メテ緊要ナルコトアリ又地形ニ關スルコトハ特ニ命ゼラザル場合ニ於テモ報告スルヲ要スルコト多シ

## 第七十九

報告ハ其ノ時機ヲ失スルトキハ全ク價值ヲ失フモノトス故ニ斥候長ハ報告ノ時機ニ注意シ其ノ方法ニ關シ豫メ考慮スルヲ要ス

## 第八十

斥候澈ヲ監視スル等ノ爲駐止久シキニ互ルトキハ異狀ノ有無ニ

關セズ時々報告ヲ爲スベキモノトス是レ指揮官ヲシテ情況ノ變化ナキ

コト及斥候ノ無事ナルコトヲ知ラシメンガ爲ナリ

## 第八十一

斥候ハ住民ノ意向態度、敵兵宿營ノ跡、通信交通機關ノ設置方向或ハ破壊ノ方法等ヲ綿密ニ觀察スルトキハ之ニ依リ敵ニ關スル重要ナル情況判斷ノ資料ヲ得ルコトアリ

## 諜報

## 第八十二

情況考察ノ資料ヲ得ル爲諜報ノ利用ハ大ニ有利ナルモノニシテ特ニ長期ノ駐軍ノ場合ニ於テ然リトス而シテ其ノ利用ハ最綿密ナル注意ヲ要シ住民ノ感情ニ就キ充分顧慮スルヲ要ス

## 第八十三

住民ノ言ヲ聞キ又ハ新聞紙、信書、電信(發受信紙)其ノ他敵ノ使用シタル建築物、郵便局、通信所、官公署等ニ在ル書類ニ依リ重要事件ヲ探知シ得ルコトアリ

又捕虜或ハ遺留シタル傷病者ノ言竝ニ其ノ携帯セル書類ハ敵情ヲ知ル

ニ重要ナル材料トナルモノナリ

第八十四 間諜ノ使用ハ大ニ有利ナルコトアレドモ彼等ニ對シテハ細心ノ注意ヲ要ス而シテ間諜ニハ我知ラント欲スル點ノミヲ明瞭ニ示シ我目的トスル所ハ決シテ之ヲ知ラシムルベカラズ

### 第三章 行軍

#### 要旨

第八十五 行軍ハ軍隊所要ノ時機ニ所要ノ地點ニ達シ戰備ヲ整へ在ルヲ目的トス而シテ其ノ計畫ノ適否竝ニ實施ノ確否ハ諸般ノ企圖ニ大ナル影響ヲ及ボスモノトス

行軍中ハ特ニ軍紀ヲ嚴肅ニシ士氣ヲ振作シ衛生ニ注意シ且爲シ得ル限

リ給養ヲ良好ナラシムルヲ要ス

第八十六 行軍ハ敵若ハ住民ニ對スル警戒ノ要否ニ依リ通常行軍及警戒行軍ニ別ツ

#### 第一節 通常行軍

第八十七 通常行軍ハ其ノ目的ヲ達シ得ル範圍ニ於テ成ルベク行軍ヲ容易ナラシムル爲集合時刻、出發時刻、行進路、行軍序列等ハ總テ便宜ニ從ヒ之ヲ定ムルモノトス

第八十八 通常行軍ニ於テ出發時刻ハ主トシテ左ノ諸件ヲ考慮シテ適當ニ定ムルヲ要ス

目的地ニ到着スベキ時刻、目的地マデノ距離、道路ノ狀態及使用シ得ベキ交通機關、日出、日没及月出、月没ノ時刻、季節及天候、軍隊ノ

出發時

通常行軍

状態、途中ノ行事、宿營地ノ情况等

行軍隊形

第八十九 銃隊ノ行軍隊形ハ道路幅ニ應ジ適當ナル正面幅（其ノ地ノ交通規則アルトキハ平時ニ於テハ之ニ從フ）ノ側面縱隊トシ通常指揮小隊ハ其ノ隊ノ先頭ニ位置セシム

速歩ヲ以テ行進スルトキハ通常各員ハ操式ニ定ムル位置ヲ占メ（陸戰隊本部及大隊本部ノ序列ハ概ネ分列式ノ場合ニ準ズ）大隊長ハ要スレバ掌信號兵ノ位置ヲ指定シ通常速步行進譜ヲ吹奏セシム

途步行進ニ在リテハ中隊長及小隊長ハ其ノ中隊若ハ小隊ヲ監視スルニ便ナル位置ヲ占ム但シ小隊長一名ハ中隊ノ後尾ニ在リテ行進スルヲ可トシ押伍列ニ在ルモノハ通常小隊ノ先頭及後尾ニ別レテ位置スルモノトス機銃隊及附屬隊ノ行軍隊形ハ銃隊ニ準ズ

又行軍長時間ニ亙ルトキハ部隊ノ行軍順序ヲ適宜變更スルヲ可トス

行軍ノ實施

第九十 行軍中ハ道路ノ障礙除去其ノ他ノ爲ニ所要ノ人員ヲ適當ノ距離ニ先行セシムルヲ可トスルコト多ク且要スレバ豫メ道路偵察ヲ行フベシ

第九十一 軍隊ハ道路ノ便利ナル一側（交通頻繁ナル所ニ在リテハ平時ハ其ノ地ノ交通規則ニ從フ）ヲ行進シ他側ヲ空ルヲ可トス但シ炎熱ノトキ又ハ道路ノ状態ニ依リ縱隊ヲ兩側ニ別チ中央ヲ空ルヲ可トスルトアリ

第九十二 軍隊市街地通過中等特ニ其ノ威容ヲ保ツヲ要スルトキハ速歩行進ヲ爲スヲ例トス

第九十三 途歩ニ在リテハ歩ヲ調フルヲ要セズ劍ハ鞘ニ納メ銃ハ各兵ノ欲スル所ニ從ヒ右肩或ハ左肩ニ擔ヒ又ハ背負革ヲ以テ肩ニ懸クルモノトス但シ情況ニ依リ銃ノ携行法ヲ一定スルヲ可トスルトアリ

途步中ハ特別ノ場合ヲ除クノ外ハ談話、軍歌、喫煙ヲ許スモノトス  
**第九十四** 行軍中各兵ハ努メテ前後ニ重リテ隊ノ正面幅ヲ擴張セザルコトニ注意スベシ又已ムヲ得ズ隊列ヲ離ルルヲ要スルトキハ小隊長若ハ分隊下士官ノ許可ヲ受クベシ

**第九十五** 行軍中一部ニ生ズル隊ノ縦長ノ變化ハ假令小ナルモ漸次他ノ部隊ニ大ナル影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ先頭ノ分隊下士官ハ努メテ步度ヲ齊一ニシ各兵ハ伍間ノ距離ヲ伸縮セザルコトニ注意スベシ  
 隊ノ縦長ノ變化ヲ調節スル爲諸部隊間ニ置クベキ距離ハ道路、天候等ノ關係ニ依リ適宜定ムルヲ要スレドモ左ニ示スモノハ一般ノ場合ニ於ケル標準トス

中隊、機銃中隊後ニ 十步

大隊 後ニ 二十步

各附屬隊 後ニ 五步乃至十步

交通頻繁ナル市街地ニ在リテハ小隊毎ニ若干ノ距離ヲ置クヲ可トスルコトアリ

**第九十六** 軍隊ノ行軍速度ハ各種ノ情況ニ依リ差異アレドモ通常一籽ヲ行クニ約十二分ヲ要ス然レドモ急ヲ要スルトキハ更ニ大ナル速度ヲ以テ行軍スルコトヲ得ベシ又一日ノ行程ハ通常二十五籽(六里半弱)乃至三十籽(七里半強)トシ情況ニ應ジ休憩時間ヲ減少シ或ハ晝夜ノ別ナク行軍スルヲ要スルコトアリ

**第九十七** 長途ノ行軍ニ於テハ機銃隊及附屬隊ニハ成ルベク車馬ヲ利用セシムベシ車馬ヲ利用スルコト能ハザル場合ニハ必要ニ應ジ銃隊其ノ他ヲシテ之ヲ援助セシムルヲ可トスルコト多シ

**第九十八** 長キ行軍ニ於テハ出發後一時間乃至二時間毎ニ被服裝具ノ改

行軍中ノ休憩

裝竝ニ兩便ニ要スル適當ナル少時間ノ休憩ヲ行フヲ通常トス又食事ノ爲ニハ三十分乃至一時間ノ休憩ヲ行フモノトス

休憩ヲ行ハントスルニ當リテハ所要ノ人員ヲ先遣シテ休憩地ノ偵察及所要ノ準備ヲ爲サシメ或ハ交通ヲ妨碍スル懸念少キトキハ道路上ニテ又銃休憩セシムル等ノ方法ヲ講ジ休憩ニ際シ徒ニ繁雜ナル動作ヲ爲シテ休憩時間ヲ減ズル等ノコトナキヲ要ス

休憩地ハ季節、天候等ニ應ジ適當ナル様注意スベシ

## 夜行軍

### 第九十九

夜行軍ハ軍隊ヲ疲勞セシムルコト大ナリト雖モ特ニ必要ナルカ又ハ炎熱ノ際等ニハ之ヲ行フコトアリ夜行軍ヲ爲スニ當リテハ其ノ方向ヲ確實ニ保持スルコト特ニ必要ナリ之ガ爲部隊ノ集結ヲ保持シ、嚮導ヲ附シ後續部隊ヲシテ進路ヲ誤ラシメザル爲所要ノ連絡兵ヲ配シ若ハ適宜ノ標識ヲ設ケ道路ノ障礙ヲ除キ或ハ之ヲ迂回シ以テ兵員疲勞ノ

## 炎熱及嚴寒ノ行軍

### 第一百

原因ヲ除キ且休憩ハ時間ヲ短縮シ回数ヲ増加スル等ノ處置ヲ必要トス

炎熱ニ際シ起リ易キハ熱射病ニシテ之ガ豫防トシテハ睡眠ヲ充分ニシ、

飲酒ヲ慎ミ、成ルベク晝間ノ酷暑時ヲ避ケテ行軍シ、要スレバ列間及部隊間ノ距離ヲ開キ、休憩ヲ頻繁ニシ、且其ノ位置ヲ適當ニ選ビ、空腹ナラシメズ、適度ニ水分ヲ取ラシメ又屢頭部胸部ニ冷氣ヲ入ルル等ノコト必要ナリ其ノ他腐敗シタル食物、濕メリタル被服、害虫等ニ對シ注意スルヲ要ス

嚴寒ニ際シ最恐ルベキハ凍死凍傷ニシテ殊ニ夜行軍ニ於テ甚ダシトス而シテ其ノ豫防法ハ手足耳鼻等ニ油脂ヲ塗リ休憩ハ回数ヲ多クシ時間ヲ短クシ、努メテ運動ヲ爲サシメ、行進中モ時々手ヲ動カシ得ル爲銃ハ背負革ニテ肩ニ懸ケシムルヲ可トシ、空腹ナラシメズ、飲酒ト屋外



ノ睡眠トヲ禁ジ、被服特ニ手袋、靴下等ノ濕リタルトキハ出來得レバ速ニ之ヲ交換セシメ、身體ノ濕リタルトキ若ハ甚ダシク凍痛ヲ感ズルトキハ直接火熱ニ觸レシメザル等ノ注意ヲ要ス

行軍間  
特別ノ  
注意

第百一 道路不良ナルカ或ハ炎熱ノトキ若ハ積雪甚ダシキトキハ先頭部隊ヲ時々交代セシムルヲ可トス

第百二 行軍中橋ヲ通過スルニハ其ノ強度ニ應ジ各部隊間ノ距離ヲ開キ又ハ部隊ノ正面幅ヲ減ズベシ何レノ場合ニ於テモ特ニ堅牢ナル橋ノ外速歩若ハ駈歩ヲ用ヒザルヲ可トス又所要ノ補修ヲ爲シ強度ヲ增加スルヲ要スルコトアリ

第百三 水上ヲ通過スルニハ成ルベク灰、木屑、土砂、藁等ヲ撒キ或ハ水面ヲ粗ニスル等ノ手段ヲ講ジテ滑走ヲ豫防シ若シ水ノ厚サ充分ナラザルトキハ板ヲ敷キ或ハ各兵ノ間ヲ開ク等ノ注意ヲ要ス

道路橋  
修築ノ  
注意

第百四 軍隊行軍ノ爲道路橋等ノ修築ヲ要スル場合ニハ成ルベク工作隊ニ所要ノ人員ヲ附シ先行セシムルヲ可トス

第百五 必要ニ應ジ橋ヲ構築スルニハ先ヅ充分偵察ヲ行ヒ使用ノ目的、工事ニ使用シ得ル人員、材料及時間等ニ從ヒ架橋點、橋ノ型式及大サ等ヲ決定スルヲ要ス

架橋點決定上顧慮スベキ要件概ネ左ノ如シ

河幅狹キ所、水勢緩カニシテ水深淺キ所、兩岸ニ施スベキ作業僅少ナル所、河底ノ土質支柱ヲ打ち込ムニ適スル所、附近ニ於テ架橋材料ヲ得ルニ容易ナル所、道路ニ近キ所

警戒行  
軍

## 第二節 警戒行軍

第百六 警戒行軍ニ於テハ情況ニ應ジ適當ナル行進路ヲ選ビ出發時刻ヲ

定メ搜索ヲ行ヒ、警戒隊ヲ配シテ警戒シ、本隊ノ行軍序列ヲ適當ニ定メ要スレバ航空機ニ對スル遮蔽ニ注意スルヲ要ス

**第七百七** 本隊ノ行軍序列ハ情況ニ應ジ敵ニ遭遇シタル場合戰鬪ニ便ナル如ク定ムル外附屬隊ノ位置ヲ適當ニ選ビ之ガ掩護ニ對シ注意スルヲ要ス

**第七百八** 警戒行軍ニ於テハ要スレバ裝填ヲ行ヒ住民地、蔭蔽地、夜間等ニ在リテハ著劍ヲ爲スモノトス

**第七百九** 敵意ヲ有スル住民ニ對シ警戒ヲ要スル行軍ニ在リテハ本節ニ依ル外警備ニ關スル章ニ依ルベシ

**第七百十** 危險ナル市街地ノ行軍ハ成ルベク之ヲ避クルヲ可トス然レドモ暴徒鎮壓、示威運動等ノ爲市街地ヲ行軍スル必要アル場合ニハ特ニ軍隊ノ威容ヲ嚴ナラシメ細心ノ注意ヲ拂ヒ、敵ヲシテ乘ズル機會ナカラ

シムルト共ニ情況ニ應ジ指揮官ハ確乎タル決心ヲ以テ機宜ノ處置ヲ斷行スルヲ要スルコトアリ

### 警戒隊

**第七百十一** 行軍間警戒隊ノ任務ハ主トシテ不意ノ襲撃ヲ豫防シ敵ノ視察ヲ妨グ且本隊ノ行進ヲシテ滯ナカラシムルニ在リ而シテ其ノ位置ニ從ヒ前衛、後衛及側衛ニ別チ市街地通過ニ當リ嚴重ナル警戒ヲ要スルトキハ本隊ノ兩側ニ警戒兵ヲ配シ或ハ行進路ト交叉スル道路ヲ兵力若ハ移動障礙物ヲ以テ閉塞スル等ノ爲通常特殊ノ警戒隊ヲ置クモノトス又別ニ行軍間敵ノ航空機ニ對シ警戒スル爲特ニ所要ノ警戒隊ヲ定ムルヲ可トスルコトアリ

**第七百十二** 警戒勤務ハ之ニ服スル部隊ヲ著シク疲勞セシムルノミナラズ往々兵力分散ノ弊ニ陥ルコトアルヲ以テ必要以上ノ兵力ヲ用フルハ避クルヲ要ス

警戒線  
ノ兵力  
編制

又行軍長時間ニ互ルトキハ適當ノ時期ニ警戒隊ヲ交代セシムルヲ可トス  
**第百十三** 警戒隊ノ兵力及編制ハ我軍ノ目的、部隊ノ大小、敵ノ兵力、  
 兵種、敵情、地形及明暗ノ度等ニ從フベキモノニシテ努メテ建制ヲ保  
 チ通常銃隊ノ三分ノ一乃至六分ノ一ヲ用ヒ情況ニ依リ機銃隊及工作隊  
 ノ一部ヲ之ニ屬スルコトアリ又成ルベク多數ノ自轉車傳令等ヲ附スル  
 ヲ可トスルコト多シ

警戒隊ハ通常前衛及後衛トシ必要ニ應ジ側衛ヲ配スルモノトス

**第百十四** 前衛及後衛ノ長ハ更ニ前方若ハ後方ニ尖兵ヲ出スヲ通常トス  
 但シ小ナル部隊ニ在リテハ本隊ヨリ直接尖兵ノミヲ出スコトアリ  
 尖兵ノ兵力ハ情況、地形ニ依リ定ムベキモノナレドモ通常小隊長ノ指  
 揮スル一箇分隊以上ヲ以テ之ニ當ラシメ必要ニ應ジ一箇小隊ニ及ブコ  
 トアリ

側衛ハ必要ニ應ジ前後及側方ニ警戒ノ爲尖兵若ハ斥候ヲ出スヲ要ス  
**第百十五** 夜間又ハ濃霧ノ際若ハ森林地内等ニ在リテハ成ルベク兵力ヲ  
 集結シアルヲ要ス故ニ警戒隊ハ之ヲ數個ノ梯隊ニ區分スルコトナク通  
 常所要ノ兵力ヲ本隊ノ前方近距離ニ備フルモノトス  
**第百十六** 警戒隊ノ兵力及編制ヲ例示セバ左ノ如シ

全兵力				前衛		後衛	
情況				本隊	尖兵	本隊	尖兵
銃隊	一隊	銃基	一隊	一分隊	一分隊	一分隊	一分隊
小隊	一隊	小隊	一隊	一分隊	一分隊	一分隊	一分隊
隊	一隊	隊	一隊	一分隊	一分隊	一分隊	一分隊
ヲ	一隊	ヲ	一隊	一分隊	一分隊	一分隊	一分隊
退却	仕民地行軍	敵意ヲ有スル	夜間前進	晝間前進	退却	仕民地行軍	敵意ヲ有スル

考 備	一銃機隊中隊銃小				一銃機隊中隊銃小			
	退却	夜間前進	晝間前進	晝間前進	退却	夜間前進	晝間前進	晝間前進
一、側衛ノ兵力及編制ハ前衛若ハ後衛ニ準シ情況ニ應ジ定ムルモノトス 二、市街地通過ノ際本隊ノ兩側ニ置ク警戒兵ハ別ニ設クルモノトス	退却	敵意ヲ有スル住民地行軍	夜間前進	晝間前進	退却	敵意ヲ有スル住民地行軍	夜間前進	晝間前進
	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊
	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊
	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊
	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊	一 小隊

■ 本隊ト  
ノ距離ト

第一百十七

前進ニ於ケル本隊ト前衛トノ距離ハ我目的、敵情、部隊ノ大小、地形及明暗ノ度等ニ應ジ適當ニ定ムルヲ要ス此ノ距離ハ敵ニ遭遇シタル場合ニ本隊ヲシテ時間ノ餘裕ヲ得セシメ且本隊ノ行進ヲシテ遊滞ナカラシメンガ爲長遠ナルヲ欲スト雖モ又一面本隊ヲシテ時機ヲ失セズ戰鬪ニ加ハルコトヲ確實ナラシメンガ爲之ニ適スル距離ヨリモ長遠ナラザルヲ要ス

第一百十八

退却ニ於ケル本隊ト後衛トノ距離ハ本隊ノ行進ヲ遲滞セシメザル爲通常前進ニ於ケル本隊ト前衛トノ距離ヨリモ長大ナルヲ可トス

第一百十九

本隊ト前進ニ於ケル後衛及退却ニ於ケル前衛トノ距離ハ情況地形ニ依リ其ノ目的ニ應ズル如ク定ムルモノトス側衛トノ距離モ亦同

第一百二十

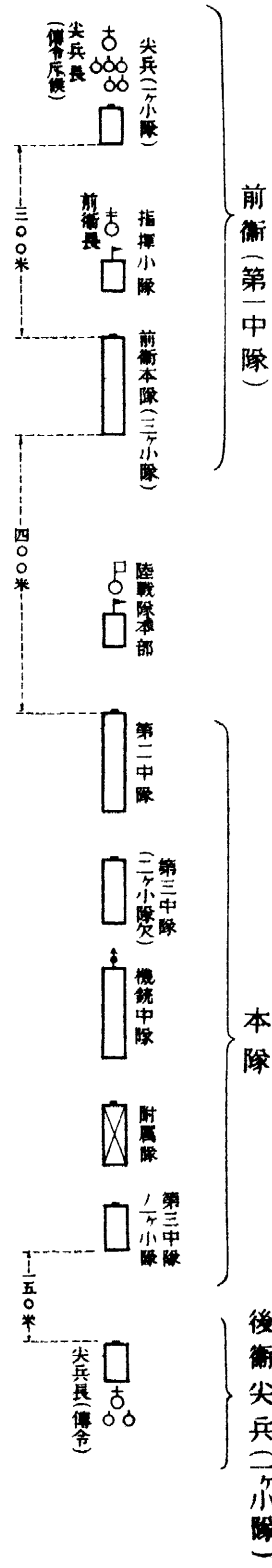
一箇大隊ヲ基幹トスル場合ニ於ケル警戒隊ノ區分竝ニ其ノ關

第一篇 職務 行軍

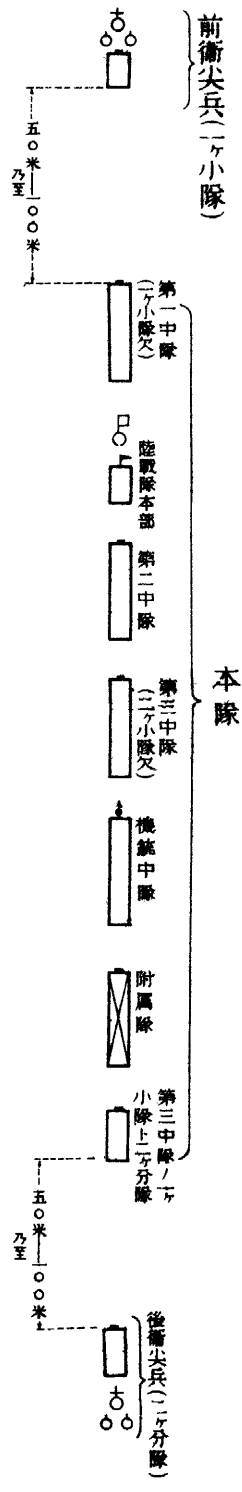
隊位置ノ標準ヲ例示セバ左ノ如シ

一、敵ト遭遇ヲ豫期シテ前進スル場合

(一) 晝間前進ノ場合

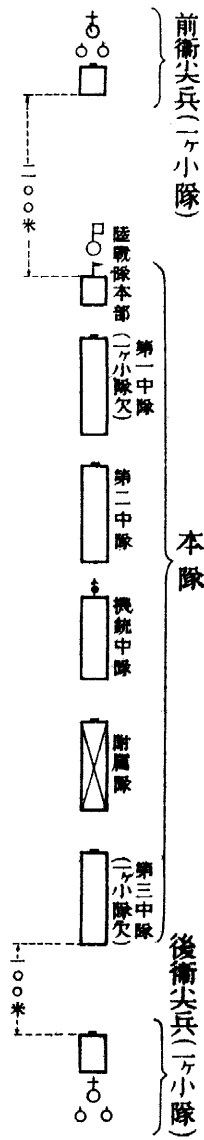


(二) 夜間前進ノ場合

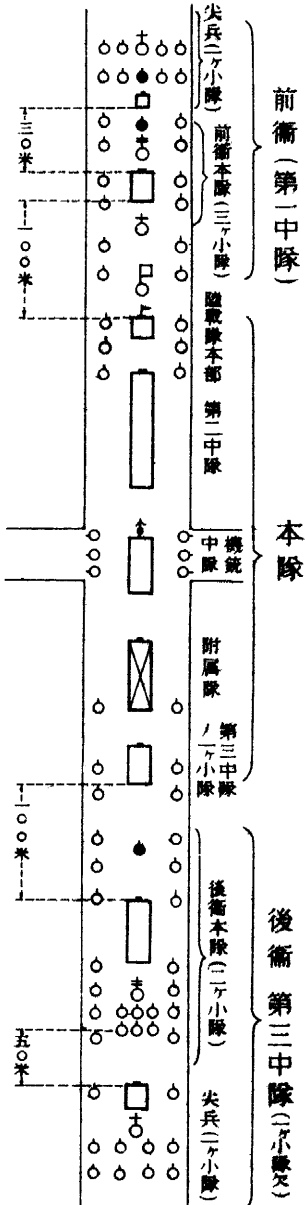


二、敵意ヲ有スル住民地行軍ノ場合

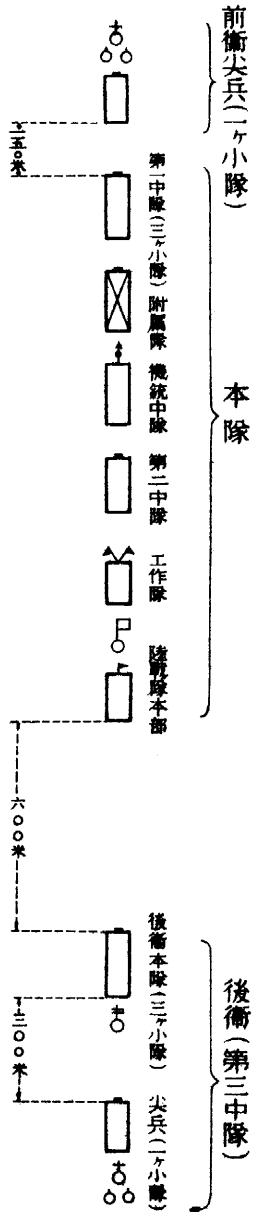
(一) 情況緩ナル場合



(二) 嚴重ナル警戒ヲ要スル場合



三、退却ノ場合



## 警戒隊 ノ動作

**第二百一十一** 警戒隊ハ其ノ任務ヲ遂行スル爲士氣ヲ緊張シ、行進路附近ノ搜索ヲ行ヒ、警戒ヲ嚴ニシ敵ノ急襲ニ備ヘ、本隊トノ連絡ニ注意シ能ク指揮官ノ意圖ヲ體シテ妄動スベカラズ然レドモ必要ニ際シテハ全力ヲ盡シテ戦闘ニ從事スルヲ要ス

**第二百一十二** 警戒隊ノ長ハ斥候ヲ使用シテ必要ナル住民地、森林、渡狀地等ノ搜索及所要ノ偵察ヲ行ヒ警戒ヲ周密ナラシムルヲ要ス而シテ斥候ノ派遣ハ成ルベク派遣スベキ地點ニ達セバ直ニ出發セシメ得ル如ク其ノ地點ニ到達スル以前ニ於テ任務ヲ與ヘ置クベシ

**第二百一十三** 行軍中ノ軍隊停止セバ警戒隊ハ特令ナケレバ警戒ノ任務ヲ繼續スベキモノトス之ガ爲警戒隊ハ速ニ所要ノ配備ヲ爲スヲ要ス特ニ戦闘開始ニ當リテハ手段ヲ盡シテ本隊ノ展開掩護ニ任ズベキモノトス

**第二百一十四** 行軍間小ナル部隊ハ常ニ大ナル部隊ノ進退ニ從フベク又各

部隊ハ相互ニ連絡ヲ取ルベキモノナレドモ大ナル部隊ハ小ナル部隊ニ對シ主トシテ連絡ヲ保持スベキモノトス但シ尖兵ノ如ク不規ノ運動ヲ爲スモノハ自ラ本隊若ハ警戒隊ニ對シ連絡ヲ取ルベキモノトス

**第二百二十五** 警戒隊ハ密集隊形ニ在リテモ通常展開後ノ部隊ニ準ジ發進停止ニハ散兵ニ對スル號令ヲ用ヒ部隊ハ正規ノ姿勢及歩法ヲ取ルヲ要セズ

情況ニ依リ本隊ニ對シテモ之ヲ適用スルコトヲ得

**第二百二十六** 前進ニ於ケル前衛ハ敵ノ小部隊ヲ驅逐シ、行進路上ノ障礙ヲ除去シ、成ルベク本隊ノ前進ヲ遲滯セシメズ、敵ニ近接スルニ至ラバ其ノ行動、兵力、陣地等ヲ偵察シ且敵ニ對シ本隊ノ行動ヲ隱蔽シ本隊ノ展開ヲ掩護ス要スレバ要點ヲ占領シ又敵ヲ追撃スルニ當リテハ速ニ之ニ追及シ其ノ主力ヲシテ抗戰スルノ已ムヲ得ザルニ至ラシムル等

敵ニ對シ獲得シ得ベキ利益ハ之ヲ逸セズ獲得スルト共ニ各個ニ擊破セラレザル如ク注意スルコト肝要ニシテ之ガ爲輕舉ニ無謀ノ戰鬪ヲ引キ起スコトヲ避クルヲ要ス

**第二百二十七** 後衛ハ本隊ノ防衛ニ任ズルモノニシテ後方ノミナラズ側方ヨリ迂廻スル敵特ニ乘馬隊、自働車隊等輕快部隊ニ對シ特ニ注意スルヲ要ス側衛モ亦同ジ

**第二百二十八** 退却ニ於ケル後衛ハ成ルベク行進シツツ本隊掩護ノ任務ヲ達成スルニ努ムベシ然レドモ敵ヲ拒止スル爲情況ニ應ジ陣地ヲ占領シ若ハ非常ノ場合ニ際シテハ逆襲ヲ決行スルヲ要スルコトアリ而シテ後衛ハ獨力ヲ以テ事ニ當リ通常本隊ノ援助ヲ期シ得ザルコトヲ顧慮スルヲ要ス

**第二百二十九** 退却ニ際シ若ハ退却中道路ノ閉塞、橋ノ破壞等ヲ行フヲ要



スルコトアリ此ノ場合ニハ多クハ之ガ準備ニ時間ヲ要スルヲ以テ其ノ實施ニ從事スベキ工作隊等ハ適宜先行セシムルヲ可トス、然レドモ其ノ實施ハ通常後衛長ノ指揮ヲ受ケシムルモノトス

## 四 衛

第三百三十 側衛ハ斥候ノミニテハ不充分ナル場合ニ出スベキモノニシテ

通常前衛若ハ後衛ト略齊頭ニ位置セシムルモノトス

第三百三十一 側衛ハ本隊ノ行進路ト成ルベク併行シテ行進スベシ然レド

モ情況ニ依リ陣地ヲ占領シ若ハ攻勢ヲ取りテ本隊ノ通過ヲ掩護スルヲ要スルコトアリ如何ナル場合ニ於テモ側衛ハ本隊又ハ他ノ警戒隊トノ連絡ニ關シ特ニ注意スルヲ要ス

## 尖兵

第三百三十二 尖兵出發ニ際シテハ概ネ斥候ニ準ジテ部署シ通常尖兵長自

ラ傳令及要スレバ斥候ヲ從へ前衛尖兵ニ在リテハ尖兵主力ノ前方ヲ、後衛尖兵ニ在リテハ後方ヲ行進シ主トシテ道路附近ヲ搜索警戒ス而シ

テ尖兵主力ハ其ノ先任者ヲシテ引率セシムルヲ可トスルコトアリ

第三百三十三 尖兵長ハ前衛本隊若ハ後衛本隊或ハ本隊トノ距離ヲ著シク

伸縮セズ且連絡ノ確實ヲ計ル爲通常後尾若ハ先頭ノ分隊下士官ヲシテ連絡兵ノ配置ヲ掌リ連絡ノ任ニ當ラシム前進ニ於ケル前衛本隊ト尖兵トノ距離ハ情況地形ニ依ルベキモノナレドモ通常ノ場合ニ在リテハ大約三百米ヲ可トス

第三百三十四 前進ニ於ケル前衛尖兵ハ概ネ斥候ニ準ジ動作スベキモノニシテ行進路ノ近傍ヲ成ルベク廣ク搜索シ敵ノ斥候ノ如キハ之ヲ驅逐シテ前進スルヲ要ス然レドモ有力ナル敵ノ部隊ニ對シテハ濫リニ戰鬪ヲ引キ起スベカラズ

第三百三十五 本隊ヨリ直接出サレタル尖兵ハ前衛若ハ後衛ノ任務ヲ併セ有スルモノトス

第三百三十六 市街地通過ノ際尖兵ハ家屋ノ入口、窓、屋上等ニ注意スルヲ要ス

輸送

第三節 輸送

第三百三十七 上陸後ニ於ケル軍隊及軍需品ノ輸送ハ通常鐵道、船舟、車馬等ニ依ルモノトス若シ此等ノ運輸機關ヲ利用スルコト能ハザル場合ニハ軍需品ノ輸送ニ人夫又ハ兵員ヲ用フルコトアリ

第三百三十八 軍隊若ハ軍需品ノ輸送ニ當リテハ通常所要ノ輸送掛ヲ設ケ事務ヲ掌トラシムルモノトス又軍需品ノ輸送ニハ適當ナル監督者要スレバ護衛兵ヲ附スルモノトス

鐵道輸送

第三百三十九 軍隊若ハ軍需品ヲ鐵道ニ依リ輸送セントスルトキハ豫メ輸送掛ヲシテ鐵道官衙(會社)若ハ停車場司令部ニ就キ輸送スル兵員、物

件、乗下車地、列車發着ノ日時、使用車輛等ニ關シ協議セシメ要スレバ乗車地下車地ニ所要ノ輸送掛ヲ先行セシメ必要ナル準備ヲ爲サシムベシ

第四百十 停車場ニ於ケル小笛及赤青旗ノ使用ハ鐵道關係員ニ誤解ヲ生ゼシムル懸念アルヲ以テ避クルヲ要ス

第四百十一 軍隊乗車スルニハ發車前適當ナル時刻ニ乗車地ニ到着シ指揮官ハ乗車區分ヲ爲シ部隊ノ占位及隊形ヲ乘車ニ便ナラシメ各兵ハ乘車ノ命令若ハ喇叭G一聲ニ依リ靜肅迅速ニ乘車スベキモノトス下車ノ場合亦之ニ準ズ

軍隊ト同時ニ軍需品ヲ輸送スル場合ニハ軍需品ハ成ルベク豫メ搭載シ置クヲ可トス

第四百十二 各車室ノ先任者ハ其ノ車室内ノ取締ニ任ズベキモノトス

又各兵ハ溢リニ車室ヲ離ルルヲ許サズ

**第四百十三** 情況ニ依リ急遽下車ヲ要スルコトアル場合ニハ常ニ其ノ準備ヲ整ヘ置クヲ要ス必要ニ依リ士官ヲ機關車ニ乗ラシメ又所要ノ人員ニ射撃準備ヲ爲サシムルコトアリ

**第四百十四** 鐵道輸送ニ關シ戰地以外ニ在リテハ該地ノ鐵道規程（我國ニ在リテハ鐵道軍事供用令及鐵道軍事輸送規程）ニ依ルベキモノトス  
**第四百十五** 自働車、馬車等ニ依リ軍隊若ハ軍需品ヲ輸送スルトキハ各車群毎ニ指揮者ヲ置クベキモノトス

自働車  
馬車輸送

#### 第四章 駐軍

#### 要旨

駐軍  
要旨

**第四百十六** 陸戰隊ノ駐軍ハ戰術上ノ要求、休養、補給其ノ他ノ目的ヲ以テ行フモノニシテ敵若ハ住民ニ對スル警戒ノ要否ニ依リ通常駐軍及警戒駐軍ニ別ツ

**第四百十七** 陸戰隊駐軍間ハ特ニ軍紀風紀ヲ嚴肅ナラシメ衛生竝ニ火氣ニ對シ注意スルコト肝要ナリ殊ニ敵ニ對スル顧慮少ク且駐軍長キニ互ルトキハ往々小康ニ馴レテ精神ノ緊張ヲ缺クニ至ルコトアルヲ以テ一層ノ注意ヲ要ス

陸戰隊一地ニ長ク駐軍スルトキハ概ネ艦船ニ準ジ服務スルモノトス  
**第四百十八** 陸戰隊ハ駐軍間情況ノ許ス限リ諸種ノ教育訓練竝ニ體育ヲ實施スベシ是レ直接陸戰隊ノ戰鬪力ヲ増進スルノミナラズ士氣ヲ緊張シ體力ヲ旺盛ナラシムル爲最有效ナレバナリ

## 通常駐軍

## 第一節 通常駐軍

**第四百四十九** 通常駐軍ニ在リテハ其ノ目的ヲ達シ得ル範圍ニ於テ休養、補給ヲ願慮シ駐軍地、駐軍法等ヲ定ムルヲ要ス之ガ爲駐軍地ハ衛生上其ノ他ノ關係ナキ限り使用シ得ル家屋、物資等充分ナル地點ヲ選ビ成ルベク舍營ヲ爲シ露營ヲ爲スハ特種ノ場合ニ限ルモノトス

**第五百十** 陸戰隊駐軍ヲ爲スニ當リ陸戰隊指揮官ハ情況ノ許ス限り設營隊ヲ先遣シ必要ナル準備ヲ爲サシムルヲ要ス

設營隊ハ通常將校(副官)ヲ長トシ必要ナル陸戰隊本部員、醫務隊員、主計隊員並ニ各隊ノ設營掛及若干ノ作業員ヲ以テ編成シ情況ニ依リ通譯ヲ附スルコトアリ

**第五百五十一** 設營隊ハ外交官、地方官憲若ハ有力者ト協議シ駐軍ノ豫定

期間ニ應ジ駐軍ノ準備ヲ爲スモノトス

設營隊長ハ時間ノ餘裕充分ナルトキハ細密ニ宿營劃ヲ爲シ各宿舍ノ入口ニ隊號(要スレバ人員)ヲ標記セシムルト共ニ配宿要圖ヲ作成シ各隊長ニ之ヲ配布スルヲ可トスルモ其ノ餘裕ナキ場合ニハ各隊ニ宿營スベキ地區ヲ分配シ各隊ヲシテ更ニ其ノ範圍内ニ於テ之ヲ細分セシムルモノトス其ノ他設營隊長ハ陸戰隊本部、集合所、炊事場、治療所及要スレバ衛兵ノ配置等ヲ定メ尙衛生並ニ物資ノ狀態ニ付キ調査シ又必要ニ應ジ消毒等ノ作業ヲ實施スルモノトス

**第五百五十二** 設營隊ハ要スレバ各舍營特ニ陸戰隊本部並ニ各隊本部、集合所、炊事場、治療所等ノ標識ヲ爲シ其ノ他停車場、郵便局、電信局、所要ノ官衙ノ道路標識ヲ設クベシ而シテ陸戰隊本部ハ軍艦旗(夜間ハ白燈二個上下連掲)治療所(病室)ハ國旗及赤十字旗(夜間ハ赤十字燈)

ヲ以テ標示ス

**第五百五十三** 合營ニ當ツベキ家屋ハ成ルベク便利ナル位置ニ在ル大ナル建築物ヲ利用スルヲ可トスルコト多ク且成ルベク建制ヲ割カザルヲ可トス而シテ合營收容標準ハ普通ノ情況ニ於テ一人ニ付キ一疊半トス

**第五百五十四** 陸戰隊竝ニ各隊ノ本部ハ成ルベク交通、通信ニ便ニシテ且其ノ隊ノ略中央ニ在リテ事務ヲ取ルニ適スル建築物ヲ選ブヲ可トシ爲シ得レバ各隊間ニ直通電話ヲ架設スベシ

**第五百五十五** 宿營地内ニハ集合竝ニ各種訓練上相當ノ廣サノ空地ヲ必要トス而シテ集合所ハ成ルベク宿營地内若ハ附近ニテ地域廣ク且交通便利ナル地點ヲ選ビ情況ニ依リ二箇所以上ニ分ツヲ可トスルコトアリ

**第五百五十六** 炊事場ハ良水ヲ得ルニ便ニシテ炊事ニ適シ且成ルベク駐軍地ノ中央ニ在リテ交通便利ナル位置ヲ選ブヲ可トス情況ニ依リ炊事場

ヲ二箇所以上ニ分ツヲ便トスルコトアリ炊事場ハ衛生ノ顧慮ニ基キ充分ナル施設ヲ爲スコト肝要ニシテ特ニ給水ノ設備ニ注意スルヲ要ス炊事用ニ流水ヲ利用スル場合ニハ其ノ上流ノ淨否ニ注意シ要スレバ沐浴場、洗濯場等ヲ指定シテ其ノ使用ヲ制限シ必要ニ應ジ番兵ヲ配置スベシ

**第五百五十七** 濁リタル流水ノ岸ニ近ク井戸ヲ穿テバ自然ニ水ヲ濾シ清澄ナル良水ヲ得ルコトアリ又濁リタル水ヲ淨水法ハ通常木炭及砂ニ依リ濾スカ又ハ熱湯ニテ溶解シタル明礬ヲ水百立(約五斗五升)ニ對シ約十瓦(約二匁半)ノ割合ヲ以テ濁水ニ混ジ約十分間強ク搔キ混ぜ其ノ澄ム迄放置スル法ヲ用フ

**第五百五十八** 情況ニ依リ止ムヲ得ズ露營ヲ爲ストキハ成ルベク土地乾燥シ、風雨ヲ避ケ、良水、燃料、材木、藁等ヲ得ルニ便ナル土地ヲ選ブ

ヲ可トシ低地ニ在ル濕地草地等ヲ避ケ出來得ル限リノ設備ヲ爲スベシ  
露營ヲ爲ストキト雖モ出來得レバ陸戰隊竝ニ各隊本部ハ職務ヲ便ナラ  
シムル爲建築物ヲ利用スルヲ可トス

**第五百十九** 天幕ヲ用フルトキハ其ノ内部ニ木材、板等ヲ以テ地上約二  
十糎ノ高サニ床ヲ作り其ノ上ニ藁、蓆ノ類ヲ布キ更ニ帆布、毛布等ヲ  
以テ掩ヒ外部ニ排水工事ヲ施スタ可トシ寒冷ノ候ニ在リテハ内部ニ暖  
爐ヲ設ケ外圍ニ土石又ハ雪ヲ以テ圍壁ヲ作ラバ大ニ防寒ノ效果アリ通  
常ノ角天幕ハ大型ニ在リテハ約十二名小型ニ在リテハ約七名ヲ收容ス  
ルコトヲ得ルモノトス天幕ヲ有セザル場合ニハ成ルベク木材、蓆等ヲ  
以テ急造圍壁ヲ設クルヲ可トス

**第六十** 陸戰隊指揮官ハ宿營ニ先チ駐軍ニ關スル命令ヲ下シ設備準備  
終ラバ速ニ合營ニ就カシムルモノトス

**當直勤務員**

**第六十一** 陸戰隊駐軍中大隊以上ニ在リテハ通常大隊毎ニ當直中隊長  
ヲ置キ諸般ノ事項ヲ處理セシム、當直中隊長ハ概ネ艦船ノ當直將校ニ  
準ジ陸戰隊指揮官(大隊長)ノ命ヲ受ケ軍紀風紀ヲ維持シ隊務ヲ處理シ  
日課ヲ遂行シ衛兵ヲ統轄ス

各中隊ニハ當直小隊長及當直下士官ヲ置キ附屬隊ニハ各隊毎ニ當直下  
士官(當番)ヲ置ク

當直小隊長ハ概ネ艦船ノ副直將校ニ準ジ當直下士官(附屬隊ノ當直下  
士官)ハ當直小隊長(當直中隊長)ノ命ヲ受ケ服務スルモノトス陸戰隊  
中隊以下ナル場合モ之ニ準ズ

當直中隊長日課施行ノ爲號音ヲ用フベキヤ否ヤハ情況ニ依リ定ムベキ  
モノトス巡檢ハ通常各中隊(附屬隊ハ附近ノ中隊ニ含ム)毎ニ之ヲ行フ  
但シ情況ニ依リ大隊毎ニ先任將校又ハ當直中隊長之ヲ行フヲ便トスル

コトアリ

第百六十二 衛兵ハ通常統隊員ヲ以テ之ニ當ラシメ當直中隊ヨリ出スモノトス其ノ勤務ハ概ネ艦船ノ衛兵ニ準ジ當直中隊長ノ命ヲ受ケ守所ニ在リ若ハ巡邏トナリ駐軍地ノ軍紀風紀ノ維持竝ニ要所ノ巡察ニ任ズルモノトス

駐軍間定時又ハ臨時ニ當直小隊長又ハ別ニ命ズル將校ニ若干ノ衛兵ヲ附シ駐軍地内及其ノ附近ヲ巡察セシムルヲ可トスルコトアリ

第百六十三 治療所竝ニ病室ハ情況特ニ駐軍ノ豫想期間ニ應ジ必要ナル設備ヲ爲スヲ要シ駐軍長期ニ亙ルトキハ病室ハ通常陸戰隊ノ員數ノ百分ノ二ヲ收容シ得ル準備ヲ標準トス

第百六十四 陸戰隊駐軍中醫務隊ハ艦船ニ準ジテ勤務シ特ニ傳染病ノ豫防ニ注意スベシ若シ其ノ發生ヲ見タルトキハ速ニ患者ヲ隔離スルコト

## 醫務隊

肝要ナリ

由儀ノ  
重ノ注

第百六十五 陸戰隊宿營地ヲ出發スルニ際シテハ後始末ヲ充分ニ爲シ特ニ火氣ニ對シ注意スベシ

## 第二節 警戒駐軍

第百六十六 警戒駐軍ニ於ケル駐軍地ハ目的ニ依リ定ムベキモノトス然レドモ成ルベク警戒容易ニシテ自衛ニ便ナル地點ヲ選ブヲ要ス而シテ其ノ警戒ハ敵方ニ對シテ行フノミナラズ側方及後方ニ對シテモ之ヲ怠ルベカラズ

第百六十七 警戒駐軍ニ在リテハ通常搜索ヲ行ヒ、哨戒隊ヲ配シ、本隊ノ配宿法ヲ適當ニ定メ且所要ノ準備ヲ爲サシメ、要スレバ暗號ヲ定メ、障礙物ヲ設ケ、敵ノ奇襲ニ對シ嚴ニ備フルト共ニ住民ニ對シ必要

ナル處置ヲ爲スモノトス

**第百六十八** 搜索偵察ノ周密ナルハ警戒ノ主要條件ナリ故ニ哨戒隊ヲシテ警戒ニ任ゼシメツツアル場合ニ於テモ陸戰隊指揮官ハ別ニ斥候ヲ以テ搜索警戒ニ當ラシムルヲ要スルモノトス特ニ稍遠距離ニ互ル搜索ハ指揮官ノ任トス

**第百六十九** 警戒駐軍ニ於テハ情況、地形、晝夜等ニ應ジ抗拒線ノ工事、障礙物ノ構築、道路ノ阻絶、其ノ他ノ施設ヲ爲スコト肝要ニシテ適當ナル工事ハ警戒ヲ容易ナラシメ之ニ要スル兵力ヲ節約シ得ルモノトス

**第百七十** 屋外ニ於ケル炊事ハ上空ニ對シ暴露スルコト大ナルヲ以テ努メテ之ヲ避ケ又常ニ焚火及燈火ニ注意シ街路ノ燈火等ハ多クノ場合之ヲ滅スルヲ可トス

**第百七十一** 警戒駐軍ニ於テ間諜ノ利用ハ有效ナルコト多シ然レドモ敵

モ亦之ヲ使用スルコトニ注意スベシ

**第百七十二** 警戒駐軍ハ特ニ定ムルモノノ外通常駐軍ニ關スル章ニ依ルベシ

**第百七十三** 敵意ヲ有スル住民ニ對シ警戒ヲ要スル駐軍ニ在リテハ本節ニ依ル外警備ニ關スル章ヲ準用ス

一、警戒要領

警戒要領

**第百七十四** 駐軍間ノ警戒ハ主トシテ哨戒隊ヲ以テス而シテ其ノ任務ハ敵情ヲ搜索シ敵ノ奇襲ニ對シテ本隊ヲ掩護スルニ在リ之ガ爲哨戒隊ハ所要ノ搜索ヲ行ヒ、哨兵ヲ配シ、敵ノ視察ヲ妨ゲ、敵ノ奇襲ヲ豫防シ且所要ノ工事ヲ施シ、戰備ヲ整ヘアルヲ要ス若シ襲撃ヲ受ケタルトキハ極力之ガ撃攘ニ努メ敵兵優勢ナル場合ニ在リテモ本隊ヲシテ戰備ヲ整フル時間ヲ得セシムルコトニ努ムベシ



然レドモ妄ニ自ラ戰鬪ヲ求ムベカラズ是レ無益ノ小鬪ハ全隊ノ安靜ヲ妨害シ且時トシテハ遂ニ哨戒隊ノ抗拒シ得ザル戰鬪ヲ惹起スルニ至ルノ虞アルヲ以テナリ

**第七十五** 哨戒隊ノ任務ヲ盡ス爲取ルベキ手段ハ情況特ニ敵情ニ應ジ異ナルモノニシテ一定ノ形式ニ陥ラザルヲ要ス而シテ其ノ警戒ハ敵近キニ從ヒ益之ヲ嚴ニスルヲ緊要トス

敵遠クシテ敵ノ自働車及乘馬斥候等ニ對スル顧慮アルニ過ギザル情況ニ於テハ整然タル警戒線ヲ設クルコトナク單ニ要點ニ斥候等ヲ配シ警戒スルヲ以テ足レリトス

敵近クシテ敵襲ヲ受クルノ危險大ナル情況ニ於テハ所要ノ哨兵ヲ配シ各種ノ工事ヲ爲シ通信連絡ノ設備ヲ整へ警戒ヲ嚴ニスルヲ要ス

**第七十六** 敵遠キ場合ニ於テモ快速ナル輸送機關ヲ利用シ近接セル地

點迄急遽前進シ來リ我ヲ奇襲スルノ虞アル情況ニ於テハ特ニ搜索ヲ遵ル距離ニ及ボシ要スレバ敵近キ場合ニ準ジ警戒スルモノトス

**第七十七** 警戒地域ヲ區分スルトキハ努メテ天然ノ地形、地物ニ依リ要スレバ之ニ番號又ハ名稱ヲ附シ且敵ノ近接行動ニ利用スベキ主要ナル道路及地區ヲシテ其ノ境界ニ在ラシメザル如ク定ムルコト肝要ナリ

**第七十八** 哨戒隊ノ兵力及編制ハ部隊ノ大小、敵ノ兵力、兵種、敵情、警戒期間、警戒地域、地形、晝夜、天候、季節等ニ依リ定ムベキモノニシテ努メテ建制ヲ保チ通常銃隊及機銃隊ノ一部ヲ以テ之ニ當ラシメ要スレバ通信隊、工作隊等ヲ附スルモノトス然レドモ必要ニ際シテハ陸戰隊全兵力ヲ以テ警戒ニ任ズルコトアリ又哨戒隊ニハ成ルベク多數ノ自働車、自轉車等ヲ附スルヲ可トス

**第七十九** 哨戒隊ニハ成ルベク新銃ノ部隊ヲ充ツルヲ要ス戰鬪後ニ於

ヲ特ニ然リトス

又哨戒配備數日ニ互ルトキハ適宜哨戒隊ヲ交代セシムルモノトス

**第百八十** 哨戒隊中隊ナル場合ニ於テハ其ノ主力ヲ大哨ト稱シ、一部ヲ他ニ分派シタルトキハ之ヲ小哨ト稱ス

大哨(小哨)ハ哨兵ヲ出シテ警戒ス

又情況ニ依リ哨戒隊ノ外ニ本隊ヨリ直接小哨若ハ哨兵ヲ出スコトアリ  
一個大隊ヲ基幹トスル陸戰隊ニ在リテハ通常銃隊一個中隊ニ機銃若干  
ヲ附シタルモノヲ以テ哨戒隊ニ當ツルヲ標準トス

大ナル部隊ニ在リテハ警戒地域ヲ數區ニ分チ各區毎ニ哨戒隊ヲ配スル  
カ或ハ二個以上ノ大哨ヲ併列スルモノトス

中隊以下ニ在リテハ小哨或ハ哨兵ノミヲ出スモノトス

一個ノ大(小)哨ノミヲ配備スルトキハ大(小)哨長ハ哨戒隊長ヲ兼ス

### 第百八十一

哨戒隊ハ通常警戒地域ノ略中央若ハ敵襲ヲ受クル懸念多キ

方面ニ於テ交通通信ニ便ナル位置若ハ敵襲ヲ抗拒スルニ適スル地點ニ  
大哨ヲ置キ警戒地域ノ外周及要スレバ内部ニ於テ所要ノ地點ニ哨兵ヲ  
配シテ警戒スルモノトス

情況地形ニ依リ特ニ重要ナル方面若ハ哨兵ノ交代ニ不便ナル位置ニハ  
小哨ヲ置クテ可トスルコトアリ小哨ハ其ノ重要ノ程度ニ應ジ將校又ハ  
下士官ヲ以テ長トナシ通常小隊以下ノ兵力ヲ用フ

哨戒隊ノ位置ハ通常上空ニ對シ遮蔽シアルヲ要ス之ガ爲要スレバ偽裝  
ヲ行フベシ

### 第百八十二

哨戒隊ノ配置ハ晝夜ニ依リ其ノ利害ヲ異ニスルコトアルヲ

以テ適宜之ヲ變更スルノ著意ヲ緊要トス又敵ノ爲配備ヲ偵知セラレタ  
ルノ疑アルトキハ要スレバ速ニ之ヲ變更スルモノトス

警戒範圍ハ情況地形ニ依リ之ヲ定ムベキモノトス然レドモ一般ニ夜間ハ晝間ニ比シ其ノ範圍ヲ緊縮スルヲ通常トス

**第百八十三** 哨戒隊ノ戰備ハ情況ニ依リ其ノ程度ヲ定ムベキモノニシテ通常陸戰隊指揮官其ノ標準ヲ示スモノトス然レドモ一部隊ハ必ず不時ノ事變ニ即應シ得ル爲常ニ戰備ヲ整ヘ在ルヲ要ス

**第百八十四** 哨戒隊ハ不時ノ事變ニ即應シ得ル爲必要ナル人員ノ外努メテ大哨若ハ小哨ノ位置ニ集結シ在ルヲ要ス又斥候其ノ他必要ナル要員ヲ豫メ定メ置クモノトス

**第百八十五** 哨戒隊ハ斥候ヲ以テ警戒地域ノ内外ヲ定時若ハ臨時ニ巡察警戒セシムルヲ要ス哨兵線内ヲ巡察スル斥候ハ哨兵ヲ配置セザル地域ノ搜索及警戒地域ノ秩序ノ維持其ノ他必要ヲ認メタルトキニ派遣スベキモノニシテ哨兵線外ニ派遣スル斥候ハ主トシテ敵情ノ偵察及哨兵ノ

監視充分ナラザル地區ノ搜索等ノ任務ニ服スベキモノトス情況ニ依リ所要ノ地點ニ斥候ヲ潛伏セシムルヲ可トスルコトアリ

**第百八十六** 警戒駐軍ニ於ケル本隊ノ宿營ハ概ネ通常駐軍ニ準ズ然レドモ警戒駐軍ニ於テハ獨リ哨戒隊ノ活動ニノミ委スルコトナク本隊モ亦所要ノ警戒ヲ爲スベキモノトス之ガ爲本隊モ警戒心ヲ緊張シ必要ノ戰備ヲ爲サシメ特ニ敵ノ間諜及住民ニ對シ注意シ情況愈切迫スルニ從ヒ警急宿營ヲ爲サシム警急宿營ニ在リテハ通常各員武裝ヲ整ヘタル儘休憩シ各家屋毎ニ常ニ所要ノ哨兵ヲ配置スルモノトス又敵ト近ク相對時スル如キ場合ニハ單ニ哨兵及斥候ヲ出スニ止メ全軍警戒ノ配備ニ在ルヲ要スルコトアリ

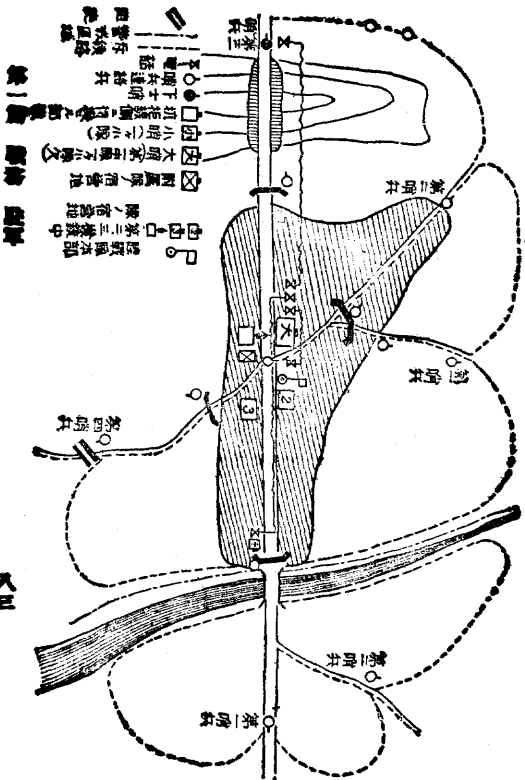
**第百八十七** 警戒駐軍ニ於テハ陸戰隊並ニ各隊本部、各附屬隊及倉庫等ハ所要ノ衛兵ヲ以テ護衛スル外其ノ位置ヲ適當ニ選定シテ戰鬪部隊ニ

第一篇 戰務 一 駐軍

八二

依リ自然ニ掩護セラルル如クスルヲ可トス主要官廳、交通、通信機關、  
 水源地、發電所等モ之ニ準ズルヲ要スルコトアリ又情況ニ依リ所要ノ  
 附屬隊ヲ各隊毎ニ分屬セシムルヲ可トスルコトアリ  
**第百八十八 一大隊ヲ基幹トスル場合ニ於ケル警戒駐軍ヲ例示セバ左圖**  
 ノ如シ

二 敵ノ來襲方向推定シ得ザルトキ



八三

二、敵ノ來襲方向推定シ得ルトキ

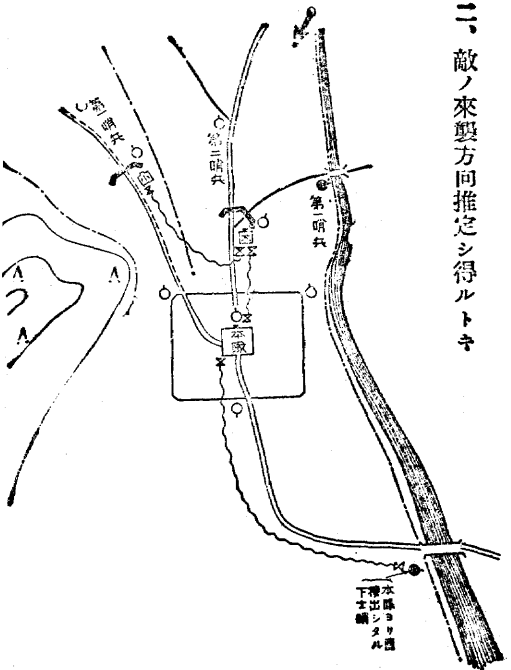


圖 備

二、配備

第百八十九

陸戰隊指揮官駐軍ニ決セバ成ルベク速ニ哨戒隊長タルベキ

將校ニ概ネ左ノ諸件ニ關シ命令ヲ下スモノトス

- 一、敵 情
- 二、決心(駐軍ノ目的及本隊ノ宿營地)
- 三、警戒ニ當ルベキ部隊
- 四、哨戒隊ノ任務(哨戒隊ノ位置スベキ概位及警戒地域要スレバ搜索、敵襲ニ際シ取ルベキ處置、防空及防毒ニ關シ特ニ示スベキ件等)
- 五、本隊ヨリ直接別ニ出ス警戒部隊ニ關スル事項(要スルトキ)
- 六、通信連絡ニ關スル事項
- 七、陸戰隊本部ノ位置

第百九十

哨戒隊配備ヲ行フ場合ニ於テ其ノ配備完了スル迄ノ時機ハ敵

襲ニ對シテニ注意スルヲ要ス之ガ爲哨戒隊長ハ有力ナル斥候ヲ前方ニ出シ警戒セシムル外情況ニ應ジ所要ノ部隊ヲシテ待機ノ姿勢ニ在ラシムルヲ要ス

哨戒隊  
命令

## 第九十一

哨戒隊長ハ其ノ受ケタル命令ニ基キ現地ヲ偵察シ或ハ地圖ニ依リ配備ヲ決定シ哨戒隊ノ配備ニ關シ命令スルモノトス此ノ命令ニ於テ示スベキ事項概ネ左ノ如シ

- 一、全般ノ情況(敵情、本隊ノ宿營地、前方ニ在ル斥候ノ情況及要スレバ本隊ヨリ直接別ニ出ス警戒部隊ノ位置等)
- 二、哨戒隊ノ位置及警戒地域
- 三、大哨(小哨)ノ任務(大哨(小哨)ノ位置スベキ概位及警戒地域、要スレバ特ニ偵察スベキ地點、敵襲ニ際シ取ルベキ處置及防空竝ニ防霧ニ關スル件等)

- 四、戰備ノ度(大哨(小哨)ヲ掩蔽下ニ入ラシムベキヤ、一部ハ銃ヲ手ニシアルベキヤ、假眠ヲ許スベキ範圍、服裝、燈火等ニ關スル事項等)
- 五、通信連絡ニ關スル事項
- 六、哨戒隊長ノ位置

哨戒隊ノ警戒地域ヲ大哨及小哨ニ區分シタルトキハ命令中明瞭ニ其ノ境界ヲ指定シ且其ノ連絡ニ關シ所要ノ事項ヲ示スヲ要ス

## 第九十二

哨戒隊長ハ陸戰隊指揮官及哨戒隊各部門ニ密接ナル連絡ヲ保持スルコト肝要リ之ガ爲爲シ得レバ各部門ニ電話ヲ架設スルカ又ハ連絡兵ヲ配置スルヲ可トスルコト多シ

哨戒隊長ハ成ルベク速ニ其ノ取リタル配備ノ要圖(晝夜ニ依リ配備ヲ異ニスルモノハ之ヲ區別ス)ヲ以テ指揮官ニ報告スルモノトス哨戒隊ノ各部隊ノ長モ亦之ニ準ス

## 三、大哨及小哨

## 大哨

## 第九十三

大哨ハ哨兵ノ支援トナリ哨戒隊ノ抗拒線ヲ形成スルモノニシテ敵襲ニ際シ之ヲ拒止撃攘スルヲ任トス

大哨ハ哨兵ニ依リ警戒スル外時々必要ナル方面ニ斥候ヲ派遣シテ警戒スルモノトス

## 第九十四

哨兵ノ配置宜シキヲ得バ大哨ノ兵力ヲ減ゼズシテ能ク警戒ヲ嚴ニスルコトヲ得

即チ哨所ノ位置比較的重要ナラズ且警戒容易ナル地點ニ在リテハ晝間ハ其ノ兵力ヲ節約スルカ又ハ大哨ノ附近ニ展望哨ヲ出スニ止ムルガ如シ

然レドモ嚴重ナル警戒ヲ要スル場合、夜間又ハ濃霧等ノ際ハ哨兵ハ互ニ近ク相接セシムルヲ要スルコトアリ夜間二人乃至四人ノ一哨兵ヲ以

テ警戒シ得ル正面幅ハ通常二百米ヲ限度トス

## 第九十五

大哨長ハ先ヅ大哨ノ位置、哨兵ノ配備、斥候路等ヲ定メ哨兵小隊ヲ指定シテ之ニ任務ヲ與ヘタル後抗拒線ノ工事及大哨内ノ諸勤務ヲ定メ又哨戒隊長ノ命令ト時ノ形勢トニ應ジテ必要ナル戦備ノ度ヲ規定シ常ニ一部ヲシテ又銃線側(要スレバ抗拒線附近)ニ在リテ敵襲ニ即應スル爲待機ノ姿勢ニ在ラシムベシ

大哨ハ之ガ直接警戒ノ爲銃前哨ヲ配置ス又必要ニ應ジ大哨附近ニ空中見張員ヲ配置ス

## 哨兵記

## 第九十六

哨兵ノ配備ハ通常大哨長ノ指示ニ基キ哨兵小隊長之ヲ實施スルモノトス哨兵ノ配置法ハ通常一哨所ニ屬スル兵(交代兵共)ヲ哨兵掛下士官又ハ下士哨長タル下士官ニ引率セシメ大哨ノ位置ヨリ各速ニ豫定位置ニ就カシメ哨兵小隊長ハ重要ナル一側ヨリ順次各哨所ニ至リ

其ノ位置ヲ決定シ哨兵掛下士官又ハ下士哨長ニ特別守則ヲ授ケ且之ヲ兵ニモ聞カシム哨兵ノ交代法ハ哨兵小隊長之ヲ定ムルモノトス哨兵ノ配置及交代ノ際其ノ位置ヲ敵ニ察知セラレザルコトニ就テハ特別ノ注意ヲ肝要トス

**第百九十七** 哨兵小隊長ハ地形、天候、時刻等ノ爲哨兵ヲ配置スベキ位置ノ指示困難ナルトキ又ハ哨兵ノ數及其ノ位置ヲ初メヨリ概定スル能ハザルトキハ豫想セル配置人員ヲ率キ必要ナル方面ヨリ豫定哨兵線ヲ巡視シツツ逐次ニ之ヲ配置スベシ

**第百九十八** 哨兵小隊長ハ哨兵ニ充テザル者ヨリ若干ノ斥候ヲ區分スルモノトス而シテ哨兵ノ交代兵中同時ニ交代スベキ者及斥候毎ニ又銃シ又ハ同一哨兵毎ニ銃ヲ銃架ニ托シ置カシムベシ哨兵小隊長ハ下士官兵ノ休憩時間ヲ平等ナラシムルコトニ注意シ又大哨長ノ定ムル所ニ依リ

其ノ一部ヲシテ假眠セシム

**第百九十九** 哨兵ヨリ軍使ノ來リシコトヲ報告セシ時ハ哨兵小隊長ハ之ヲ大哨長ニ報告ス大哨長ハ特ニ陸戰隊指揮官(哨戒隊長)ヨリ指示セラレタル場合ノ外通常哨兵線外ニ於テ其ノ來意ヲ聞キ軍使ハ直ニ歸去セシメ後之ヲ陸戰隊指揮官(哨戒隊長)ニ報告スベシ

哨兵小隊長ハ哨兵ヨリ報告シ來リタル者ニシテ我軍ニ屬スルコト判然疑ヒナシト認定スレバ哨兵線ノ通過ヲ許シ然ラザル者ハ之ヲ大哨長ニ報告スベシ大哨長ハ哨兵ヨリ送付シ來ル者ニシテ我軍ニ屬スルヤ否ヤヲ確認スル能ハザル者舉動疑ハシキ者降參人及我軍ニ屬スル間諜ハ所要ノ護衛兵ヲ附シ直ニ陸戰隊指揮官(哨戒隊長)ニ送付スベシ

此ノ際護衛兵ハ決シテ此等ノ者ト談話スベカラズ

**第二百** 大哨長ハ晝間屢警戒區域内ヲ巡視シテ地形ヲ認識スルヲ要スル



モ夜間ハ大哨ノ位置ニ在ルヲ要ス而シテ其ノ位置ヲ離ルル際ハ常ニ自己ノ所在ヲ明ナラシメ置クベシ大哨ニ在ル小隊長以下ニモ亦機會アル毎ニ警戒區域内ノ地形ヲ認識セシメ置クヲ要ス

**小哨 第二百一** 小哨ハ大哨ニ關スル事項ヲ準用シ小哨長ハ大哨長及大哨ニ於ケル哨兵小隊長ニ準ジ動作スルモノトス

四、哨兵及斥候

**哨兵 第二百二** 哨兵ハ之ヲ別チテ複哨及下士哨トシ最前線ニ位置シ警戒スルモノトス

**複哨 第二百三** 複哨ハ通常二人乃至四人トシ哨兵掛下士官ノ指揮ニ依リ交代服務スルモノトス

複哨ノ位置ハ其ノ大哨(小哨)ヲ距ルコト約四百米ヲ超エザルヲ通常ト

**下士哨 第二百四** 哨兵線中特ニ重要ナルカ或ハ交代不便ナル地點ニハ下士哨ヲ

配置ス下士哨ハ哨長以下哨所ニ位置シ警戒ニ任ズルモノニシテ通常一部ヲ以テ監視ニ任ゼシメ其ノ他ノ者ハ附近ニ在リテ遮蔽シテ休憩セシムルモノトス而シテ其ノ人員ハ通常一個分隊以下トシ時宜ニヨリ更ニ之ヲ大ナラシムルコトアリ

下士哨ハ前線ニ於ケル警戒ヲ嚴ナラシムルノ利アルモ大哨(小哨)ノ兵カヲ小ナラシムルノ不利アリ

下士哨ニ在リテハ休憩中ノ者ト雖モ常ニ銃ヲ手ニシアルヲ要ス

**第二百五** 哨兵中特ニ必要ナルモノニハ輕機銃ヲ配屬シ手榴彈ヲ携行セシムルコトアリ

**哨兵 第二百六** 哨兵ハ大哨(小哨)毎ニ通常右ヨリ順序ニ番號ヲ附スルカ又ハ名稱ヲ附スルモノトス

**第二百七** 哨兵ハ成ルベク十分ナル展望ヲ有シ且上空及敵方ニ對シ遮蔽シ得ル如ク位置セシムルヲ要ス之ガ爲要スレバ偽裝ヲ爲シ又樹木、家屋、堆土等ヲ利用シ望遠鏡ニ依リテ監視ニ任ゼシムルヲ可トスルコト屢ナリ哨兵ノ爲工事ヲ施スヲ要スルトキハ哨兵小隊長(小哨長)之ヲ命ズルモノトス

凡テ高所ニ在ル哨兵ハ音響ヲ聽キ燈光火煙ヲ見ルニ便ニシテ夜間低地ニ在ル者ハ敵ヲ空際ニ遠視シ得ルノ利アリ而シテ晝夜其ノ位置ヲ變更スルコトハ監視ノ爲往々必要ナルノミナラズ之ニ依リ敵ノ夜間ニ於ケル奇襲ヲ避ケ得ルノ利アリ

**第二百八** 哨兵掛下士官又ハ下士哨長ハ哨兵小隊長(小哨長)ノ命ヲ受タルヤ概テ斥候ニ準ジ所要ノ警戒ヲ爲シツツ速ニ哨所ニ到リ遮蔽シテ取テ敢ヘズ監視ニ任シ哨兵小隊長(小哨長)ノ到ルヲ待ツモノトス哨兵小

隊長(小哨長)ヲ其ノ位置ニ誘導スル爲要スレバ兵ヲ派遣シテ之ヲ迎フルヲ可トスルコトアリ

哨兵掛下士官又ハ下士哨長ハ哨兵小隊長(小哨長)ヨリ受ケタル守則ヲ兵二十分理解セシメ哨兵位置ニ所命ノ設備ヲ施シ地形ヲ暗識セシメタル後下士哨ニ在リテハ其ノ地ニ留リ復哨ニ在リテハ哨兵掛下士官ハ交代兵ヲ率キテ大哨(小哨)ニ復歸スルモノトス

## 一 一般守

### 第二百九

對敵警戒駐軍ニ於ケル哨兵線ニ在ル哨兵ノ一般守則左ノ如シ

一、哨兵ハ絶エズ敵方ヲ監視シ總テ疑ハシキ徵候ニ深ク注意シ若シ敵ニ關シ發見セシコトアレバ其ノ一人ハ哨兵小隊長(小哨長)ニ報告スベシ若シ猶豫セバ危殆ニ陥ルト認メシトキハ急劇ナル射擊或ハ信號ヲ以テ警報シ且其ノ一人ハ速ニ哨兵小隊長(小哨長)ニ報告スベシ而シテ敵ノ單獨兵又ハ數人ヨリ成ル斥候ノ如キハ之ヲ射殺若ハ刺殺ス

ルカ又ハ捕獲スルヲ可トス

又特ニ命ゼラルル場合ノ外空中見張ヲ爲サザルモノトス

二、哨兵ハ隣哨ト連絡ヲ保ツベシ

三、晝間ハ我軍ノ雜士官以上ノ部隊斥候及傳令ニハ哨兵線ノ出入ヲ許ス爾餘ノ者ノ通過ニ關シテハ凡テ哨兵小隊長(小哨長)ノ指示ヲ受クベシ而シテ哨兵ノ命ズル所ニ従ハザル者アラバ之ヲ射殺若ハ刺殺スルカ又ハ捕獲スベシ自備車ハ之ヲ停止セシメテ取り調ブベシ

夜間哨兵ニ近ヅク者アラバ銃ヲ構ヘ「誰カ」ト問フ呼ブコト三回ニ到ルモ尙答ヘザルトキハ直ニ射殺若ハ刺殺スベシ凡テ其ノ他ノ處置ハ晝間ノモノニ異ルコトナシ

四、白旗ヲ翻シ遠方ヨリ軍使タルコトヲ標シ來ル者又ハ降參人ハ敵トシテ取扱ハズ之ヲ哨兵線外ニ於テ敵方ニ面シ停止セシメ哨兵小隊長

(小哨長)ニ報告スベシ此ノ際無用ノ談話ヲ避ケ特ニ敵ニ欺カレザルコトニ注意スベシ若シ降參人ニシテ武器ヲ携帯シアルトキハ先ヅ之ヲ放棄セシムベシ

五、哨兵ハ喫煙シ或ハ銃ヲ手ヨリ放スタ許サズ又命令アルニアラザレバ座臥スルヲ得ズ而シテ晝間ハ立銃ヲ爲スカ若ハ腕ニ銃(銃口ヲ前ニシ略水平ニ腕ニ托ス)ヲ爲スベキカハ其ノ隨意トス然レドモ夜間ハ通常著劍擔銃、提銃又ハ腕ニ銃ヲ爲スモノトス上官ヨリ質問アルモ監視ヲ中止スルコトナクシテ之ニ答フベシ

六、哨兵ハ我哨兵線ヲ出發スル斥候ニ其ノ任務、經路及歸來ノ時刻、場所等ノ概要ヲ聞キ自己ノ見聞セシ情況ヲ告ゲ又歸來スル斥候ヨリ其ノ見聞セシ事件ヲ聽取スベシ

第二百十 哨兵小隊長(小哨長)ハ哨兵ノ特別守則ヲ定メ一般守則ヲ補足

特別守則

ス特別守則トシテ示スベキ事項及其ノ順序概ネ左ノ如シ

一、自己ニ關スルコト

哨兵ノ位置、哨兵ノ番號、姿勢、監視法等

二、前方ニ關スルコト

敵情、前方ニ在ル我部隊及斥候ノ情況、監視スベキ區域、必要ナル

道路、地點ノ名稱、特ニ監視スベキ要地等

三、左右ニ關スルコト

隣哨兵ノ位置、番號及之トノ連絡法、必要ナル地點ノ名稱

四、後方ニ關スルコト

大哨(小哨)ノ位置及之ニ通ズル經路竝ニ之トノ連絡法

五、其ノ他

敵襲ニ際シ取ルベキ處置其ノ他特ニ必要ナル事項

又時トシテ前地ノ地名等ヲ明記セル要圖ヲ付與シ特別守則ヲ補足スルヲ有利トスルコトアリ

特別守則ハ新タナル情報ヲ得ル毎ニ之ヲ補修スルヲ要ス

## 敵襲

第二百十一 哨兵ハ敵襲ニ際シテハヨク其ノ兵種、兵力等ヲ偵察シ小部

隊ナラバ之ヲ擊退スベシ若シ後退セザルベカラザルトキト雖モ過早ニ其ノ位置ヲ捨ツルコトナク沈著ニ行動シ敵ト接觸シツツ大哨(小哨)ノ位置ニ後退スベシ

此ノ際大哨(小哨)ノ位置ヲ敵ニ知ラシメザルコト及大哨(小哨)ノ射撃ヲ妨害セザルコトニ注意スベシ

## 代哨兵交

第二百十二 哨兵ノ交代ハ通常哨兵小隊長(小哨長)之レヲ定メ多クノ場

合一時間乃至二時間毎ニ交代セシムルモノトス而シテ復哨交代ニ際シ大哨(小哨)ノ兵力著シク薄弱トナル懸念アル場合ニハ各復哨ノ交代時

間ヲ異ナラシムルヲ可トスルコトアリ

復哨ノ交代ハ必ズ哨兵掛下士官ノ立合ヲ以テ行ヒ新舊兩哨兵敵方ニ面シ監視ヲ中絶スルコトナク又敵ニ暴露セザル如ク位置シ舊哨兵ハ新哨兵ニ其ノ服務中見聞セシ事件ヲ申繼グベシ而シテ特ニ我軍ノ斥候ニシテ前方ニ出デタルモノアルトキハ其ノ任務、經路及歸來ノ時刻、場所等ノ概要ヲ申繼グヲ要ス

下士哨ニ於ケル監視兵ノ交代亦本項ニ準ズ

## 銃前哨

第二百十三 銃前哨ノ動作及守則ハ哨兵線ニ在ル哨兵ニ準ズ但シ報告ハ

通常其ノ位置ヲ離ルルコトナク之ヲ爲スモノトス

## 空中見張員

空中見張員ノ守則モ略哨兵ニ準ジ特ニ彼我飛行機ノ識別法ニ就キ充分指示スルヲ要ス

## 斥候

第二百十四 斥候哨兵線ヲ通過スルトキ其ノ近隣ノ哨兵ニ任務及經路ノ

概要並ニ歸來ノ時刻場所等ヲ告ゲ其ノ哨兵ノ見聞セシ新情況ヲ聞キ歸路ニハ敵ニ觸シテ見聞セシ所要ノ事項ヲ簡單ニ告知スルヲ要ス

第二百十五 斥候ハ進退動作ニ深ク注意シ靜肅ニスベシ又屢停止シテ音響ヲ聽取シ能ク地形ヲ暗識スベシ歸路ハ要スレバ往路ト異ナル道ヲ選ビ敵ニ中斷セララルル危険ヲ避クベシ

## 五、哨兵小隊(小哨)ノ交代

第二百十六 哨兵小隊(小哨)ハ概ネ二十四時間以内ニ交代セシムルヲ可トス

第二百十七 哨兵小隊(小哨)ノ交代ハ靜肅且蔭蔽シテ之ヲ爲スベク此ノ際警戒ヲ中絶セザルコト緊要ナリ

舊小隊長(小哨長)ハ成ルベク豫メ新小隊長(小哨長)ニ緊要ノ事件ヲ申繼ギ然ル後協同シテ哨兵ヲ交代スベシ舊哨兵掛下士官又ハ下士哨長モ

哨兵小隊(小哨)ノ交代

亦新哨兵掛下士官又ハ下士哨長ニ其ノ守則及特別ニ知ルヲ要スル事件ヲ申繼グベシ

此ノ交代ト同時ニ新舊兩小隊(小哨)ヨリ共同ノ斥候ヲ派遣ス是レ新斥候ヲシテ哨兵線前ノ地形ヲ暗識セシメンガ爲ナリ

凡テ交代ハ拂曉ニ於テ之ヲ終ルヲ可トス然レドモ時刻ノ選定ハ特ニ當時ノ情況ニ依ルモノトス

## 第五章 警備

### 要旨

第二百十八 警備ノ目的ハ擾亂發生又ハ其ノ虞アル場合該地方ニ於ケル治安ヲ維持シ所在住民ノ生命財産ヲ保護シ且國家ノ權益ヲ擁護スルニ

在リ

第二百十九 陸戰隊ハ軍紀嚴正、士氣旺盛ニシテ克ク其ノ内容ヲ充實シ外觀ヲ整ヘ常ニ無言ノ威壓ニ依リ成ル可ク實力ヲ行使セズシテ警備ノ目的ヲ達成スルニ努ムベシ

第二百二十 擾亂發生ニ際シテハ其ノ波及ヲ防止スル爲努メテ擾亂ノ原因ヲ警備區域内ニ侵入セシメザルト共ニ既ニ侵入存在セルモノハ速ニ驅逐排撃スルコト肝要ナリ

第二百二十一 警備ニ於ケル武力ノ行使ハ特ニ慎重ナル考慮ヲ要ス苟且ニモ一時ノ感情ニ驅ラレ或ハ漫然タル威嚇ノ爲ニ輕々ニ戰鬪行爲ニ出ヅルガ如キハ斷ジテ之ヲ避ケザルベカラズ然レドモ一度之ガ行使ノ已ムナキニ至レバ徒ニ躊躇退嬰スルコトナク斷乎タル決意ヲ以テ之ヲ行ヒ其ノ十全ヲ期スルコト肝要ナリ

**第二百二十二** 部隊長ハ關係諸法規ニ通曉シ克ク上司ノ意圖ヲ了得シ確固タル信念ヲ以テ警備ニ從事スルヲ要ス

**第二百二十三** 指揮官ハ所在官憲其ノ他地方有力者ト密接ナル連絡ヲ保チ以テ任務遂行ノ圓滑ヲ期スベシト雖モ徒ニ之ニ拘ハルルコトナク警備本來ノ趣旨ニ稽ヘ常ニ目的達成ヲ誤ラザルヲ要ス

**第二百二十四** 直接保護困難ナル方面ニ居住スル住民ハ情況接迫セバ警備區域内ニ收容保護スルヲ原則トス

### 第一節 警備要領

**第二百二十五** 陸戰隊警備ヲ爲サントスルトキハ指揮官ハ通常警備計畫及所要ノ部署ヲ定ムルモノトス

**第二百二十六** 警備計畫ハ警備方針、軍隊區分、警戒要領、戰鬪配置、

防備施設、通信連絡、諜報宣傳及居留民ノ保護等ニ付キ定ムルヲ例トス

**第二百二十七** 部署ハ警備心得、市街掃蕩、緊急呼集、見張、防火、宿舍防備等ニ付キ定ムルヲ例トス

**第二百二十八** 警戒要領ハ擾亂ノ種類、特定居留地ノ有無、國際關係及地方的事情等ニ依リ異ルモノトス而シテ指揮官ハ情況ノ變化ニ即應スル爲通常數段ノ警戒配備ヲ定メ警戒ノ方法、戰備ノ度及事變ニ際シ取ルベキ處置等ニ關シ定ムルモノトス

**第二百二十九** 警戒配備ヲ例示セバ左ノ如シ

	情 況	警 戒 ノ 要 領
第 一 警 戒 配	<p>情況稍不穩ニシテ警戒ヲ必要トスル場合</p>	<p>一、當直部隊及非番部隊ニ別チ當直部隊ハ左記要領ニ依リ警戒ス</p> <p>1、宿舍直接警戒ノ爲哨兵ヲ配ス</p> <p>2、巡邏ヲ出シ警備區域内ヲ移動警戒セシム</p> <p>3、應急隊ヲ武裝待機セシム</p> <p>4、必要ニ應ジ警備區域ノ外端及内部ノ要點ニ哨兵ヲ配シ又屋上見張ヲ配ス</p>

備	第 二 警 戒	備
戒	<p>形勢不穩ニシテ嚴重ナル警戒ヲ要スル場合</p>	<p>一、機銃及輕機銃ニモ若干ノ彈藥ヲ準備ス</p> <p>二、艦内哨戒部署ニ準ジニ直乃至四直哨戒ヲ以テ左記要領ニ依リ警戒ス</p> <p>1、宿舍直接警戒ノ爲哨兵ヲ配ス</p> <p>2、巡邏ヲ出シ警備區域内ヲ移動警戒セシム</p> <p>3、應急隊ノ兵力ヲ増シ武裝待機セシム</p> <p>4、警備區域ノ外端及内部ノ要點ニ哨兵ヲ配ス</p>



備 配	三 第
	<p>事態重大トナリ暴動 又ハ軍隊ノ來襲ヲ豫 期スル場合</p>
<p>5、 屋上見張ヲ配ス 二、 小銃、拳銃、機銃及輕機銃ノ携 行竝ニ準備彈藥數ヲ増加ス 三、 防備施設ヲ完成ス 四、 醫務隊ハ綑帶所ヲ準備ス 五、 主計隊ハ各宿舍ニ糧食配給ノ準 備ヲ爲ス</p>	<p>一、 戰鬪準備ヲ完成シ總員戰鬪配置 ニ就キ左記要領ニ依リ警戒ス 1、 第一線部隊ト豫備隊トニ區分 シ第一線部隊ヲ更ニ各地區ニ別 チテ防備計畫ニ基ク各據點ノ防</p>

備 配 戒 警
<p>備ニ當ラシム各地區ニ於テハ有 カナル哨兵及見張ヲ配シ警戒ス 2、 宿舍直接警戒ノ爲哨兵ヲ配ス 3、 必要ニ應ジ巡邏ヲ出シ移動警 戒セシム 二、 哨兵線ヲ閉塞シ一般ノ交通ヲ遮 斷ス 三、 陸戰隊規程ノ定ムルトコロニ從 ヒ彈藥ヲ準備ス 四、 居留民ヲ安全地帯ニ收容スルカ 又ハ現地保護ヲ行フ</p>

情況平穩ニシテ秩序良ク維持セラレアル場合ニ於テハ概ネ左記程度ノ

第一篇 戰務 警備

警戒ヲ以テ足レリトス

一、各宿舍ニ番兵ヲ配ス

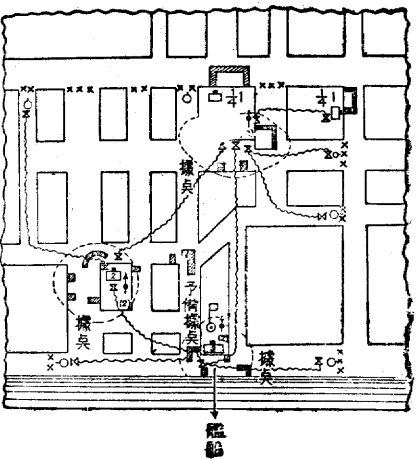
二、巡邏ヲ出シ警備區域内ノ秩序維持ニ任ゼシム

三、應急隊(一個分隊)ヲ待機セシム

四、小銃及拳銃ヲ帶アル者ハ若干ノ彈藥ヲ携行ス

第二百三十 一個大隊ヲ基幹トスル場合ニ於ケル第三警戒配備ノ例ガモ

ハ左圖ノ如シ



備考

(居留民ヲ安全地帯ニ收容シ各據點ニ部隊ヲ配シ警戒シアル一例)

**第二百三十一** 交通線ノ守備ニ任ズル場合ニハ守備線附近ヲ哨兵及斥候ヲ以テ警戒シ重要ナル一地若ハ數地ニ努メテ兵力ヲ集結シ所要ノ時機ニ之ヲ使用シ得ル如ク配備スルヲ要ス又住民ヲシテ保護セシムルカ或ハ市町村其ノ他ノ團體ヲシテ責任ヲ負ハシムルヲ有利トスルコトアルモ此等ハ過信スベカラズ

## 第二節 配備及交代

**第二百三十二** 警備ニ於ケル部隊ノ配備ハ通常陸戰隊指揮官爲シ得ル限リ自ラ之ヲ決定シ之ニ從ヒ當該隊長ヲシテ實施セシムルヲ可トス若シ指揮官自ラ決定スルヲ得ザルトキハ警戒ニ當ツベキ部隊、警戒地域、警戒ノ度等ヲ示シ當該隊長ヲシテ配備セシムルモノトス

**第二百三十三** 警備ニ在リテハ通常警備區域ヲ數個ノ地區ニ別チ各地區

毎ニ部隊ヲ配シ警戒ス而シテ各地區部隊ニ名稱若ハ番號ヲ附シ陸戰隊指揮官自ラ之ヲ統轄ス此ノ際重要ナル地點道路等ハ其ノ受持ヲ明カナラシムルヲ要ス

**第二百三十四** 地區部隊中隊ナル場合ニ於テハ各小隊ヲシテ方面ニ依リ受持地區ヲ分擔セシムベキヤ又ハ時間ニ依リ分擔セシムベキヤ若ハ此ノ兩者ヲ混用スベキヤハ情況地形ニ應ジ定ムベキモノトス

交代 **第二百三十五** 哨兵ハ通常二時間乃至四時間毎ニ交代セシム

又當直部隊及非番部隊ニ別チ警戒スル場合ニハ當直部隊ハ通常二十四時間毎ニ交代セシムルモノトス

## 第三節 哨兵

哨兵

一般守 **第二百三十六** 警備ニ於ケル哨兵線ニ在ル哨兵ノ一般守則ハ左記ノ外警

戒駐軍ニ於ケル守則ヲ準用ス

一、哨兵ハ其ノ容儀ヲ整ヘ態度特ニ嚴正ニシテ威嚴ヲ保チ常ニ無言ノ威壓ヲ感ゼシムルヲ要ス

二、哨兵ハ絕エズ四周及屋上、窓内等ヲ監視シ且不良ノ徒ノ奇襲ニ對シ警戒スルト共ニ總テ疑ハシキ徵候特ニ銃聲ニ注意シ異變アラバ速ニ大哨(小哨)ニ報告スベシ而シテ怪ト認ムル家屋ハ特ニ警戒ヲ嚴ニシ監視ヲ中絶スベカラズ

三、武裝セル者(特ニ指令アルモノヲ除ク)不穩ノ舉動アル群集及兇器等ヲ所持セル者ハ一切哨兵線ヲ通過セシムベカラズ

四、哨兵ハ一般民衆ニ對シテハ特ニ其ノ取扱ヲ慎重ニシ努メテ無益ノ事端ヲ惹起セザルヲ要ス

然レドモ不良ノ徒等ニシテ其ノ命ニ從ハザル者アラバ先ヅ刺突ノ構

ヘテ爲スカ又ハ射撃ノ準備ヲ爲シ決意ヲ示シタル後要スレバ銃劍又ハ火器ヲ使用スベシ

五、哨兵ハ明ニ攻撃セラレツヅアリト判斷シタル場合又ハ武力ヲ以チ哨兵線ヲ突破セントスル者アルトキハ直ニ反撃ヲ加ヘ之ヲ兼攘スベシ

六、哨兵線ニ於テ事端ヲ惹起シタル場合ハ機ヲ逸セズ大哨(小哨)又ハ附近ニアル准士官以上ニ報告スベシ

特別守則 第二百三十七 特別守則ハ左記ノ外警戒駐軍ニ準ズ

一、警戒ノ程度(警戒配備ノ種類等)

二、交通ノ管制及通行人ノ身體點檢ノ程度

三、來襲ヲ豫想セラルル不良ノ徒ノ種類竝ニ之ニ對スル處置

四、特ニ監視ヲ嚴ニスベキ方向又ハ家屋

五、裝填及著剣ノ要否  
六、其ノ他必要ナル事項

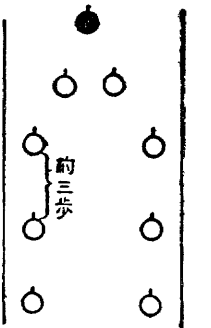
第二百三十八 警備區域内部ニ配置スル哨兵(番兵)ハ特ニ各部ノ連絡ニ注意スルヲ要ス而シテ其ノ守則ハ略哨兵線ニ在ル哨兵ノ守則ニ準ズルモノトス

#### 第四節 巡邏及應急隊

### 巡邏

第二百三十九 巡邏ハ警備區域内部ニ於テ哨兵ヲ配セザル地區ノ移動警戒、秩序ノ維持、各哨所ノ連絡ニ市中ノ情況視察等ニ任ズルモノニシテ其ノ守則ハ概ネ哨兵ニ準ズ

第二百四十 巡邏ノ隊形ハ通常ニ列側面縱隊ヲ用フルモ特令ニ依リ左ノ隊形ヲ用フ



(イ) 分隊下士官ハ前方ヲ警戒ス  
右側兵ハ左方、左側兵ハ右方  
ノ家屋、階上、窓及路次等ヲ監視警戒ス

第二百四十一 巡邏ハ屋内ヨリ射撃サレタル場合ハ直ニ該家屋ヲ包圍シ

各出入口等ヲ閉塞シ其ノ退路ヲ絶チ一擧ニ屋内ニ進入シ之ヲ捕獲スルカ又ハ射殺シ其ノ遺棄物件ヲ押收スベシ

第二百四十二 巡邏ハ部内犯則者ノ取締ニ關シテハ軍隊自隊ノ威嚴ヲ失墜セザル如ク注意スルヲ要ス

### 應急隊

第二百四十三 應急隊ハ常ニ即時發動ノ準備ヲ整ヘ夜間就寢ノ際モ軍裝

及脚絆ヲ脱セザルヲ例トス

## 第六章 陸上工作

### 要旨

要旨

**第二百四十四** 陸上工作トハ陣地ノ構築、破壊作業、交通、通信機關及宿營設備等ニ關スル工事ノ總稱ニシテ陸戰隊ノ戰鬪動作ヲ容易ナラシムルヲ以テ目的トス

**第二百四十五** 陸戰隊ハ敵ノ近接ヲ困難ナラシムル爲障礙物ヲ構築シ又ハ敵ノ使用ヲ妨グル目的ヲ以テ交通、通信機關、建造物及其ノ材料等ヲ破壊スルヲ要スルコト極メテ多キモノトス而シテ之等ノ作業ハ往々敵彈下若ハ夜暗等ニ於テ決行スルヲ要スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ

特ニ細心ノ計畫ヲ以テ勇敢ニ實施セザルベカラズ

**第二百四十六** 障礙物ノ構築及破壊ハ能ク將來ノ戰勢ヲ考察シ其ノ位置、程度、方法等ヲ決定スルヲ要ス然ラザレバ却テ我軍ノ行動ヲ妨グルニ到ルコトアリ之ガ爲重要ナル破壊作業ハ通常所屬長官若ハ陸戰隊指揮官ノ命令ニ依ルモノトス

**第二百四十七** 鐵道其ノ他交通通信機關等ヲ破壊スルニハ成ルベク敵眼ヲ避クルヲ可トス之ガ爲適當ナル地點ヲ選ブカ或ハ夜暗夜明等ヲ利用スルコト多シ又作業間敵ノ妨害ヲ防グ爲掩護隊ヲ配備スルヲ通常トス情況ニ依リ一部隊ヲ以テ敵ヲ牽制スルヲ有利トスルコトアリ

### 第一節 構築

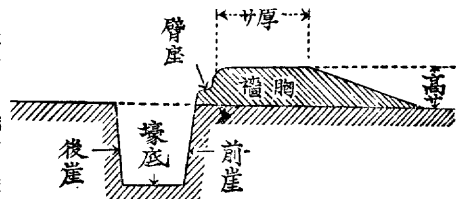
#### 一、散兵壕及機銃々座

散兵壕

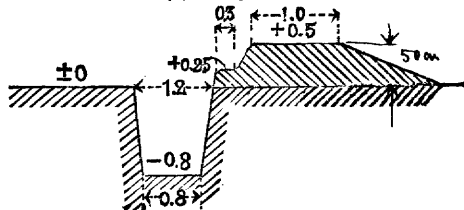
第二百四十八 散兵壕ハ通常立打用ニ構築スルモノトス構築中ニ敵襲ヲ受クル虞アルトキ又ハ作業力不足ナルトキト雖モ少クモ膝打散兵壕ヲ竣工スルニ努メザルベカラズ此ノ場合ニアリテモ情況之ヲ許スニ到レバ立打散兵壕ニ改築スルモノトス

第二百四十九 左圖ハ通常構築スル散兵壕ノ断面ヲ示スモノナリ第一圖ハ散兵壕各部ノ名稱、第二圖ハ普通ニ使用スル立打散兵壕、第三圖、第四圖ハ敵ノ認識ヲ困難ナラシムル爲特ニ胸橋ヲ低クシタルモノ、及全然之ヲ省略シタルモノ、第五圖ハ散兵壕ノ背後ニ通路ヲ設ケタルモノ、第六圖ハ膝打散兵壕、第七圖ハ立打散兵壕ニ設ケタル輕機銃々座ノ一例ナリ

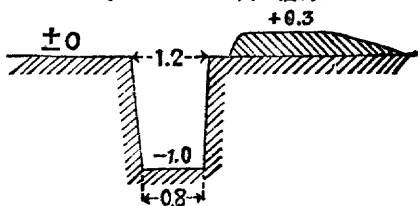
第一圖  
(散兵壕各部名稱)



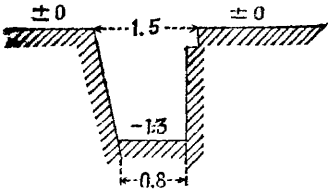
第二圖  
(立打散兵壕)



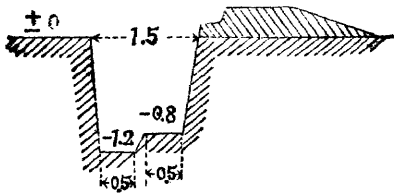
第三圖  
(胸橋ヲ低クシタルモルダシク)



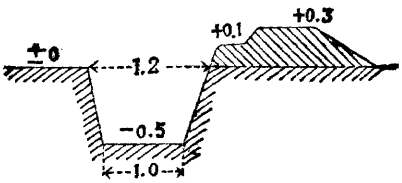
第四圖  
(ノモルザク設ヲ橋胸ニ特)



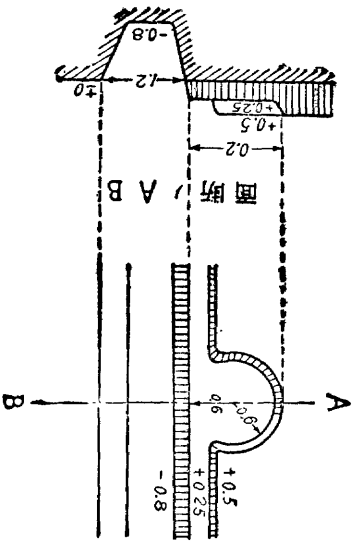
第五圖  
(ノモルザク設ヲ路通ニ後背ノ壕兵散)



第六圖  
(壕兵散打膝)



第七圖  
(鐵々銃網繩ルズク設ニ壕兵散打立)



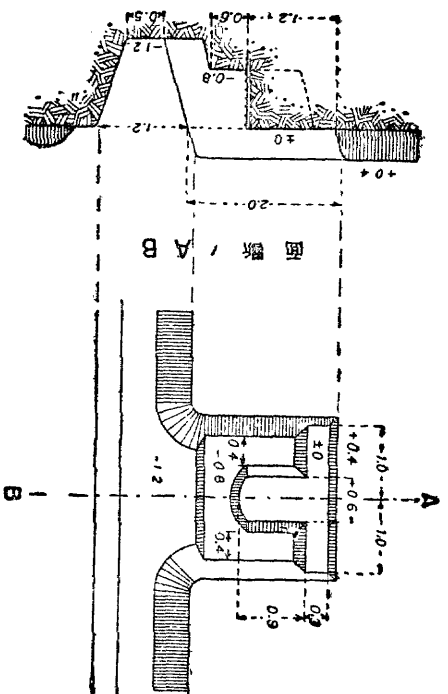


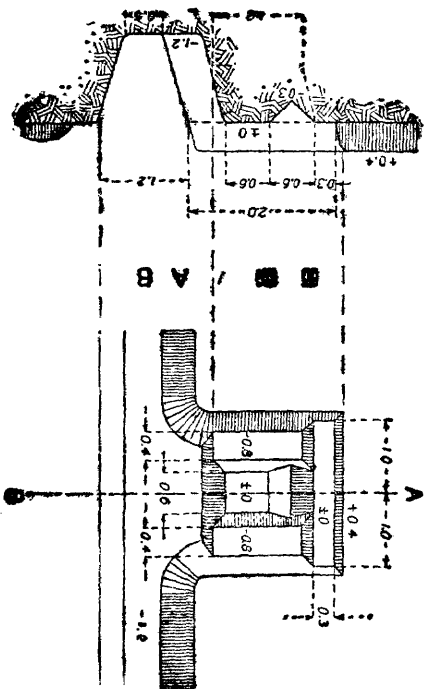
銃座

何レノ散兵壕ニ在リテモ銃ヲ適當ニ使用シ得ル爲ニハ一人ニ付キ最小限一步ノ正面幅ヲ要シ又前崖ハ努メテ急峻ナラシメ立打散兵壕ニ在リテハ進出ニ便ナル如ク足掛リヲ設クベシ

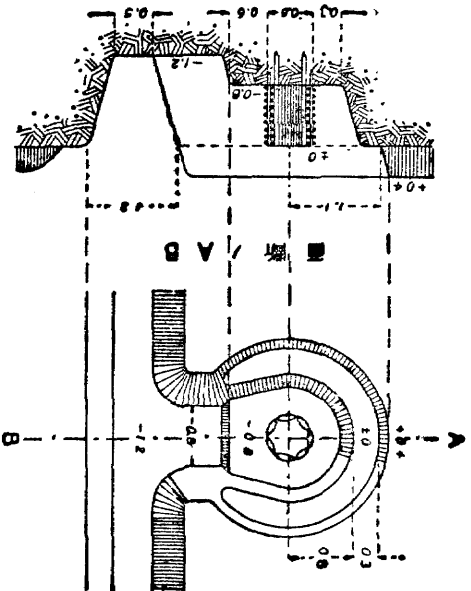
**第二百五十** 左圖ハ通常構築スル機銃々座ノ例ニシテ第一圖、第二圖ハ通常ノ立打用及膝打用、第三圖ハ特ニ廣キ射界ヲ要スル場合ノ立打用、第四圖ハ迅速ヲ要スル場合ノ應急用ノモノヲ示ス

第一圖 (用 立 打)





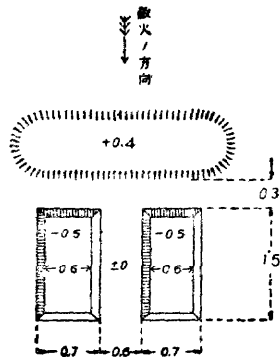
(打立) 圖 三 第



積土ハ願慮スル敵火ノ方向  
ニ從ヒ所要ノ位置ニ行フ

第四圖

(用打伏)

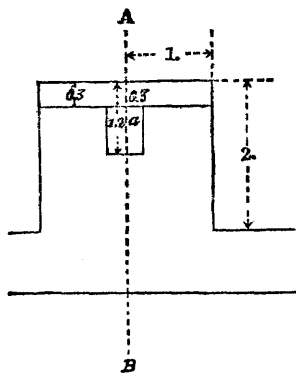


第一圖ニ示ス如キ銃座ノ經始ハ第五圖ノ如ク先ヅ任務ニ基キ射線ノ主線ABヲ定メ其ノ兩側及縱深ヲ標示シ後方ノ交通壕ハ所要ニ應ジ其ノ幅ヲ定ム其ノ他ノ銃座ノ經始モ概ネ之ニ準ズ

經始法

- 一、先ヅ任務ニ從ヒ射線ノ爲ノ主線ABヲ標示ス
- 二、其ノ兩側ニ各幅一米長サ二米ヲ測リ外廓ヲ標示ス
- 三、銃床ニテ經始ス
- 四、後方ノ交通壕ハ所要ニ應ジ幅ヲ定ム

第五圖



特種  
陸地ノ

第二百五十一 市街地ノ警備等ニアリテハ屋上及道路上ニ土囊ヲ以テ第  
二百四十九、二百五十二準シ陣地ヲ構築スルコト多シ

土囊ハ通常衣糧科ノ米袋及石炭袋等ヲ用フ銃隊一箇分隊及機銃一挺ノ  
陣地ニ要スル材料ノ標準概ネ次ノ如シ

袋種類	膝打散兵壕	立打散兵壕	機銃々座
米袋	一〇〇	二二〇	一〇〇
石炭袋	六五	八〇	七〇

露天ニ曝露セル土囊陣地ハ腐蝕崩潰シ易ク其ノ持久力ハ概ネ二箇月内  
外ナリ

情況ニ依リビールノ空箱及米袋等ヲ以テ應急陣地ヲ築キ又竹材及トタ  
ン飯等ヲ外壁トシテ半永久的ニ或ハコンクリートヲ以テ永久的ニ堅固

ナル陣地ヲ構築スルコトアリ

二、障礙物

障礙物

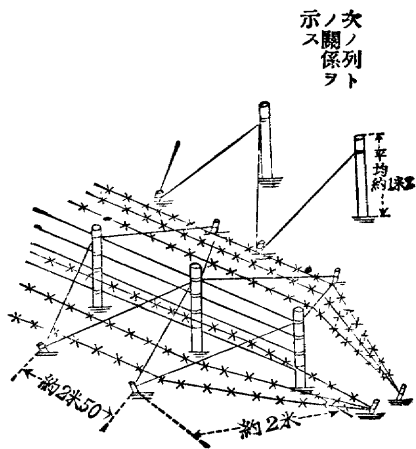
第二百五十二 障礙物構築ノ目的ハ主トシテ敵ノ前進ヲ阻止シ奇襲ヲ妙  
ダ火力ト相待テ敵ヲ撃滅スルニ在リ而シテ地上竝ニ上空ノ敵ニ對シ障  
蔽スルヲ要ス

第二百五十三 障礙物ハ其ノ目的竝ニ使用シ得ル人員、材料、時間等ニ  
從ヒ適當ナルモノヲ選定スルヲ要スト雖モ最多ク用フルハ鐵條網トシ  
其ノ他鹿砦、地雷、堰堤ニ依ル汎濫等モ有效ナリ

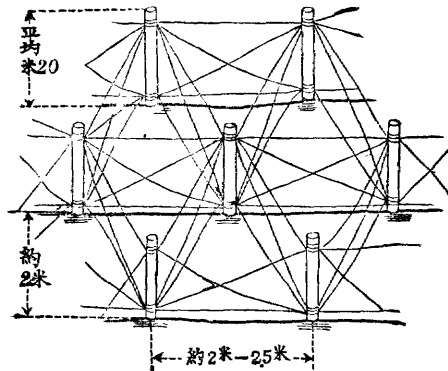
鐵條網

第二百五十四 鐵條網ハ網型、屋根型及各種移動式等ノ種類アリ更ニ固  
定鐵條網ハ高サニ依リ高低二種ニ別ツ其ノ概要左圖ノ如シ

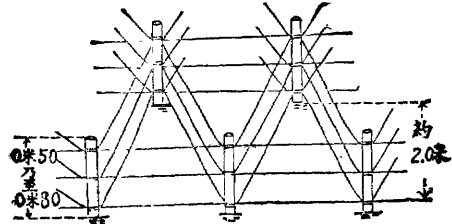
鋼條鐵高型根屋



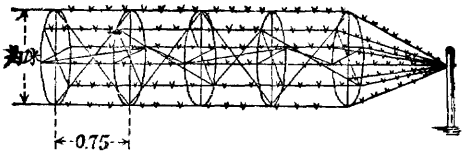
鋼條鐵高型網



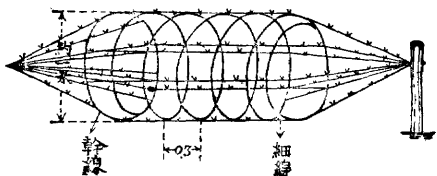
鋼條鐵低型網



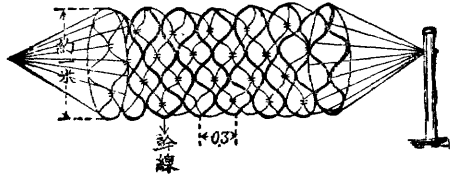
圓筒型折疊移動鐵條網



螺旋型折疊移動鐵條網



蛇籠型折疊移動鐵條網



第二百五十五

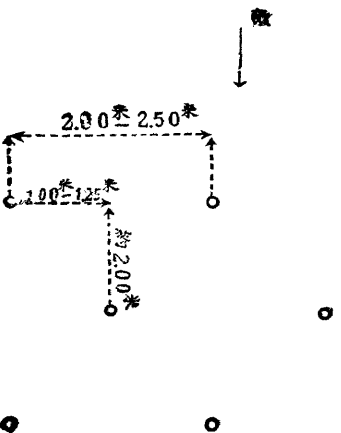
鐵條網ノ型式奧行等ハ情況、地形、人員、材料、時間等

ニ依リ定ムルモノトス但シ深サハ爲シ得レバ四米ヲ下ラザルヲ可トス  
而鐵條網ハ低鐵條網ニ比シ障礙力大ナレドモ材料ヲ要スルコト多ク我  
羽撃ヲ妨ゲ且秘匿困難ナリ網型ハ屋根型ニ比シ障礙力並ニ破壞ニ對ス  
ル抗力大ナレドモ材料ヲ要スルコト多ク且構築モ亦困難ナリ移動式ノ  
モノハ障礙力小ナレドモ移動性ヲ有シ所要材料少ク一時的道路ノ閉塞  
等ニハ最有效ナリ

第二百五十六

網型鐵條網ヲ構築スルニハ先ヅ經始ヲ行フ其ノ要領左圖

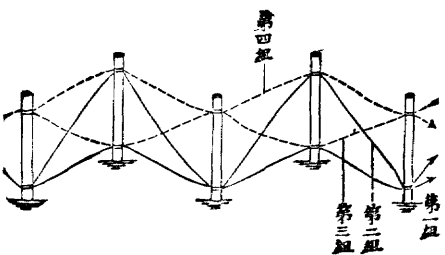
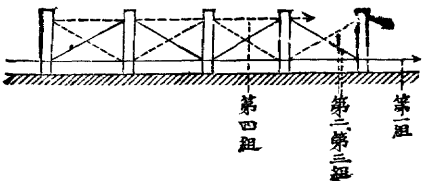
ノ如シ



經始ニハ杭ト杭トノ距離ニ應ジ布片ヲ附シタル繩ヲ用ヒ杭ノ位置ヲ定ムルヲ便トス

經始終ラバ其ノ高サヲ不等ニシテ網型高織條網ニ在リテハ平均約一米二十種トナル如ク低織條網ニ在リテハ五十種乃至八十種トナル如ク杭ヲ立テ線ヲ張ル

網型高織條網ノ張線法ヲ例示セバ次ノ如シ



第一組

下方ノ水平線ヲ張ル

第二組、第三組

各斜方向線一條ヲ張ル

第四組

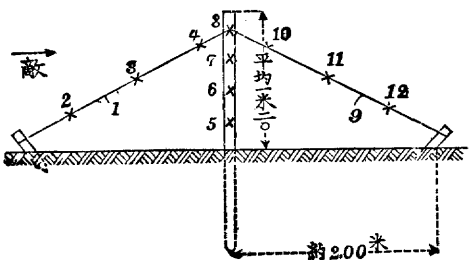
上方ノ水平線ヲ張ル

張線ニ於テ鐵線ハ一回ヅツ杭ニ卷ク但シ其ノ交會部ヲ成ルベク杭ノ手前ニ在ラシムルヲ要ス又最下ノ水平線ノ外破壞及超過ヲ困難ナラシムル爲適度ニ弛メテ張ルヲ可トス此ノ張線終リタル後細線ヲ張りテ網狀ヲ形成シ障礙力ヲ増加ス普通鐵線ノ代リニ有刺鐵線ヲ用フレバ著シク障礙力ヲ増大スルモノトス張線後鐵線ヲ以テ造リタルU字形鐵<sup>カサネ</sup>ヲ以テ鐵線ヲ交會部ニテ杭ニ固定ス

第二百五十七

屋根型鐵條網ノ張線順序ハ左圖ノ要領ニ依ル



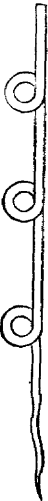


數字ハ張線順序ヲ示ス

第二百五十八 如シ 深サ二米正面十米ノ鐵條網構築ニ要スル材料ノ標準次ノ

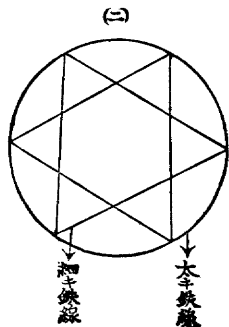
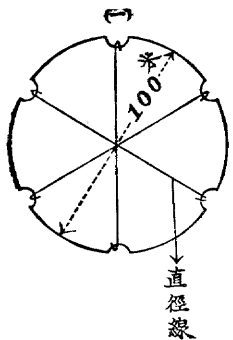
長 杭	網型 高鐵條網	屋根型 高鐵條網
短 杭	一四本——一八本	八本——一〇本
大 鐵 線	四〇〇米	三〇〇米
小 鐵 線	六〇〇米	適 宜

木杭ノ代リニ左圖ノ如キ鐵杭ヲ用フルトキハ作業時間ヲ大ニ短縮スル  
 コトヲ得特ニ凍結地又ハ敵前ニ於テ靜肅迅速ニ作業スルヲ要スルトキ  
 ニ於テ有效ナリ



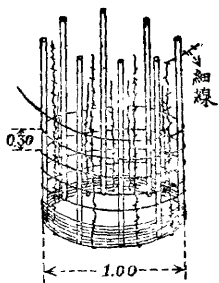
第二百五十九 圓筒形移動鐵條網ヲ作ルニハ左圖(一)ノ如ク直徑約一米ノ  
 環ヲ作り之ニ太キ鐵線ニテ直徑線ヲ張り次ニ各環間ニ細線ニテ三個ノ  
 對角線ヲ張り最後ニ六條ノ鐵線ヲ張り第二百五十四ニ圖示スル如ク各  
 環ニ結束ス

左圖(二)ハ別法ヲ示ス

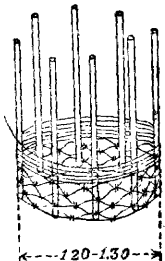


第二百六十 螺旋型及蛇籠型移動鐵條網ヲ作ルニハ左圖ノ如ク杭ヲ立テ  
 之ニ鐵線ヲ圍回シテ直徑一米乃至一米三十種ノ線輪ヲ作り之ヲ所望ノ  
 長サニ展伸シテ細線ヲ以テ編ミ第二百五十四ニ圖示スル如ク網狀ヲ形  
 成ス

螺旋式



蛇籠式



第二百六十一 移動鐵條網一個ノ大サハ運搬及設置ノ便ヲ顧慮シ通常五

米乃至二十米トス圓筒型鐵條網ヲ折疊ムニハ其ノ兩端ヲ各一名ニテ保持シ之ヲ反對方向ニ強ク旋回シテ捻リ折疊ミ終ラバ數箇所ヲ結束シテ運搬ニ便ニシ螺旋型及蛇籠型鐵條網ヲ折疊ムニハ兩端ヨリ壓縮シ數箇所ヲ結束ス

移動鐵條網ヲ設置スルニハ之ヲ伸長シ兩端ヲ杭其ノ他ノモノニテ固定シ且成シ得レバ鐵杭及鏝ヲ以テ所々ヲ固定ス

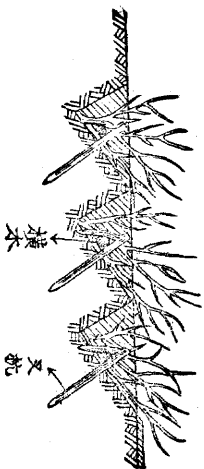
附 錄

第二百六十二

鹿砦<sup>ロウサイ</sup>ハ樹枝又ハ樹幹ヲ用ヒテ作り射擊及展望ヲ妨ゲザル爲成ルベク低ク且奥行ヲ大ナラシムルヲ可トス其ノ構築法ノ概要左ノ如シ

鹿砦ヲ構築スルニハ枝條繁茂シテ開張シタル潤葉樹ノ腕大ノ太サヲ有スル樹幹又ハ樹枝ノ細枝ヲ除キ稍大ナル枝ヲ尖ラシテ數列ニ地中ニ左圖ノ如ク植立ス即チ鹿砦<sup>ロウサイ</sup>ノ各列毎ニ三角斷面ノ壕ヲ掘リ此處ニ樹枝ヲ植エ其ノ間ニ圖示ノ如ク橫材ヲ挿入シ強キ叉杭ヲ以テ之ヲ地上ニ固定シ壕ヲ埋填スベシ若シ鐵線ヲ以テ樹枝ノ交叉部ヲ結止シ尙枝條中ニハ不規則ニ張ルトキハ一層障礙力ヲ増加スルモノトス

鹿 砦



三、埠頭、棧橋及信號所

**第二百六十三** 陸戰隊上陸ニ際シ又ハ上陸後艦船トノ交通ノ爲ニ埠頭若ハ棧橋ヲ構築スルヲ要スルコトアリ

埠頭若ハ棧橋ヲ構築スルニハ使用ノ目的、航路、地形、水深、波浪、潮汐、季節風、地方風、使用シ得ル材料及時間等ヲ顧慮シ位置、型式及太サ等ヲ決定スルモノトス

**第二百六十四** 埠頭若ハ棧橋ニ短艇ノ衝突スルヲ防ギ且之ヲ繫留スルニ便ナラシムル爲外側海中ニ杭ヲ植立スルヲ可トスルコト多シ

**第二百六十五** 埠頭若ハ固定棧橋ハ潮ノ干満ヲ顧慮シ短艇ノ乗降ニ便ナル如ク構築シ必要ニ應ジ道板ヲ準備スベシ

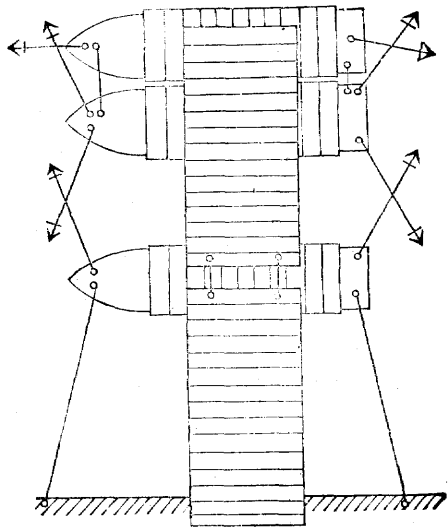
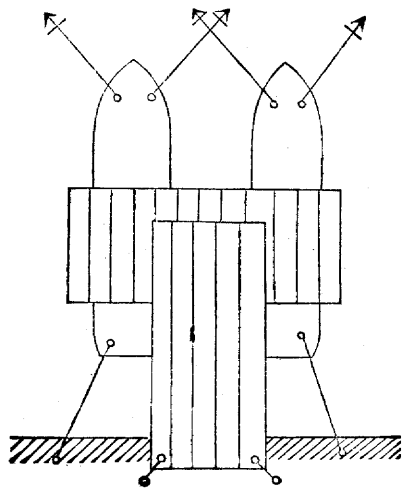
**第二百六十六** 簡單ナル埠頭ヲ構築スルニハ通常内部ノ支持トナルベキ杭ヲ外側ニ植立シ其ノ内方ニ石ヲ入レタル籠、袋等ヲ置クカ又ハ厚板ヲ以テ圍ヒ其ノ内部ニ石ヲ填メ上面ヲ交通ニ便ナル如ク板若ハ土砂等

ヲ以テ覆フモノトス

**第二百六十七**

左圖ハ浮棧橋ノ例ヲ示シタルモノナリ浮棧橋ニ用フル舟

ハ成ルベク扁平ニシテ大ナルモノヲ選ビ且其ノ錨索ハ成ルベク短艇ノ達著ヲ妨ゲザル如ク導キ舟ト陸岸トノ間ニ架スル道板ハ潮ノ干満及波浪ノ爲舟ノ上下スルニ堪エ得ル如ク陸岸ノ方ニノミ緩ク繫止スルヲ可トス



信號所

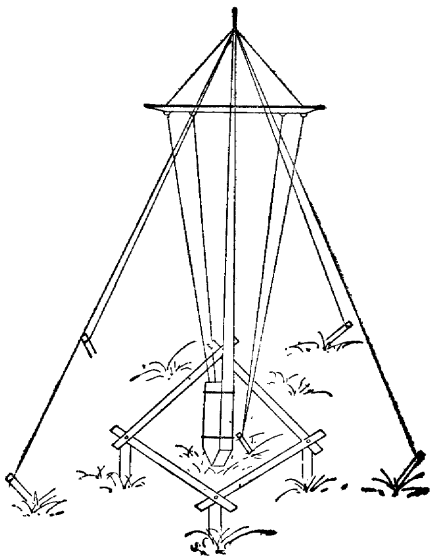
第二百六十八 海陸ノ通信ヲ便ニスル爲埠頭又ハ海岸ノ高地上ニ信號所ヲ設置スルコトアリ

信號所ノ位置ハ敵眼ヲ避ケ背後ニ遮蔽物ナク通視容易ナルヲ要ス

第二百六十九 左圖ハ信號所ニ植立スベキ旗竿ノ例ヲ示タルモノナリ

旗竿ハ竿頭ニ近ク桁ヲ備フベシ而シテ本艦用旗旒ヲ掲揚スベキモノニ在リテハ桁高十五米以上ナルヲ要ス

旗竿下部ノ周圍ニ強固ナル四本ノ杭ヲ植立シ更ニ横材ヲ以テ之ヲ井字形ニ連繫シ信號索ヲ維持スルニ供ス但シ艇用海軍信號旗ヲ掲揚スルモノニ在リテハ單ニ旗竿ノ下部ニ數箇ノ木片ヲ釘著セバ足レリトス又旗竿附近ニハ旗旒架ヲ設クルヲ要ス



## 第二節 破壊

**第二百七十** 障礙物破壊ニハ目的ニ應ジ通常爆破藥又ハ斧、鋏、鋸、槌、滑車等ノ器具ヲ用ヒ又鐵條網ハ機銃ノ射撃ヲ以テ破壊スルヲ可トスルコトアリ

**第二百七十一** 破壊ニ爆破藥ヲ用フル時ハ目的ニ應ジ藥量ヲ適當ニ定メ裝著法ニ注意シ且危險ニ對シ充分警戒スルヲ要シ發火法ハ電氣若ハ導火線ヲ用フ不發シタルトキハ電氣發火ニ於テハ五分以上導火線ヲ用ヒタルトキハ豫期燃燒時間後十五分以上經過セズシテ爆破藥ニ近ヅクコトハ危險ナリ但シ安全導火線ハ水中空ヲ通ジ一分間ニ約九十種ノ速度ニテ燃燒ス

**第二百七十二** 木材ヲ爆破スルニハ爲シ得レバ爆破藥ヲ窄孔ニ裝著シ此ムヲ得ザル場合ニハ外部ニ縛著スベシ但シ直徑四十種以下ノモノニ於テハ爆破ニ依ルヨリモ斧、鋸等ヲ用フル方迅速ナリ又樹木、柱等ハ通常爆破藥ヲ裝著シタル側ニ倒ルルモノナルヲ以テ豫メ之ニ對シ注意スルヲ要ス

**第二百七十三** 爆破ニ使用スル爆破藥ノ藥量(下瀬火藥若ハ綿火藥)ハ藥種其ノ他ニ依リ差異アレドモ概算要領左ノ如シ

一、木材

$$L = C \times D^2$$

L 瓦單位ノ藥量      C 木材ノ抗力係數

D 種單位ノ圓材ノ直徑若ハ角材ノ一邊ノ長サ

Cノ値

木材ノ性質	直徑		C
	三十糎以下	三十糎以上	
新材、堅キ木材	1.3	1.7	
普通ノ木材	三十糎以下		1.9
	三十糎以上		1.3
水			1.0

窄孔装填スルトキハ此ノ計算ノ七分ノ一ノ藥量ヲ用フルモノトス

### 二、鐵材

$$L = 25 F$$

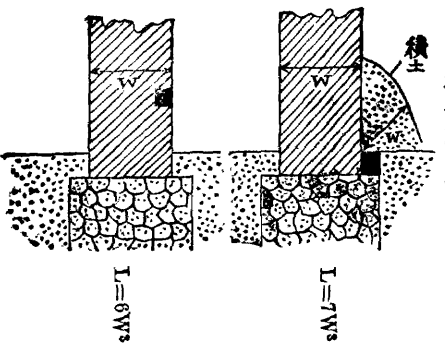
F 平方糎單位ノ鐵材切斷面

### 三、岩石「コンクリート」構築物等

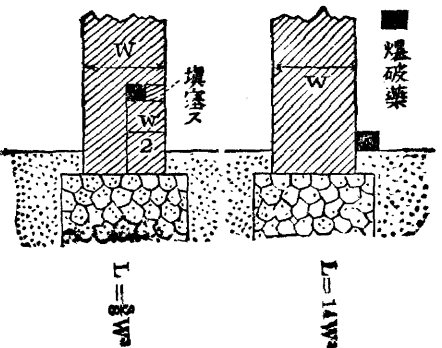
裝著法ニ依リ差異アリ其ノ概要左ノ如シ



第一層 砲塔ノ陸上工作  
 $W$  米單位ノ厚サ



第五六



計算例

厚サ九十種ノ「コンクリート」壁ヲ長サ二十米破壊スル場合ノ藥量  
 一箇所ノ藥量

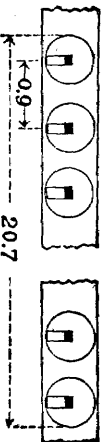
$$L = \frac{3}{8} W^2 = \frac{3}{8} \times 0.73 = 0.27 \text{ 疋}$$

爆破薬ノ裝著箇數

$$\frac{20}{0.9} = 23$$

全藥量

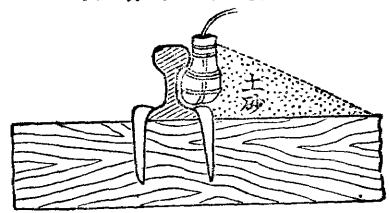
$$0.27 \times 23 = 6.21 \text{ 疋}$$



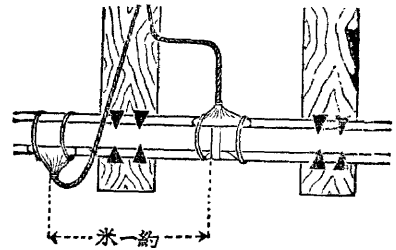
鐵道破

第二百七十四 鐵道ノ破壞ハ目的ニ應ジ其ノ位置ヲ定ムルヲ要シ鐵橋、  
 隧道及軌道ノ交會部、屈曲部、分岐部等ヲ破壞セバ敵ヲシテ修理ヲ困  
 難ナラシムルモノトス鐵道ノ破壞ハ多クノ場合爆破ニ依ルヲ最簡便ト  
 シ通常左圖ノ要領ニ從フモノトス

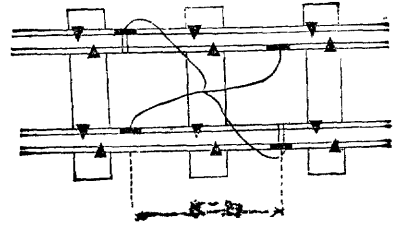
法著裝藥破爆



環破單



環破複



導火線發火ニ於テハ二個以上ノ炸藥同時ニ發火スルコト稀ナルヲ以テ一個ノ爆破ニ依リ他ヲ飛散セシムルコトナキ様裝著ニ充分注意スベシ通常ノ軌道ハ約三百瓦ノ爆破藥ヲ以テ三十種乃至四十種ヲ破壊シ得レドモ鍛鐵軌道ニ在リテハ其ノ外端ヲ屈曲セシムルニ過ギズ鐵道ヲ爆破スルトキ破片ハ概ネ軌道ト直角ニ爆破藥ヲ裝著シタル側ノ反對方向ニ飛散スルヲ以テ作業員ハ發火ノ際成ルベク軌道ニ沿ヒ二百米以上避クルヲ要ス

爆破ニ依ルヲ得ザル時ハ成ルベク數箇所ニ於テ軌道ヲ除去シ水中若ハ遠隔ノ地ニ遺棄スルカ又ハ枕木ヲ井字形ニ積ミ重ネ其ノ内部ニ燃料ヲ入レ軌道ヲ枕木ノ上ニ架シ枕木ヲ燒却スルト共ニ軌道ヲ屈曲セシム鐵道ヲ破壊スルトキハ電信、電話、信號裝置等其ノ附屬通信機關ヲ破壊スルヲ可トス

第二百七十五

架空電線ヲ破壊スルニハ成ルベク多數ノ電柱ヲ爆破其ノ他ノ方法ニテ倒シ碍子ヲ破壊シ電線ヲ切斷スルモノトス埋設電線ニ在リテハ通常電纜ノ現ハルルマデ掘リ下ゲ約一步ヲ隔テ二箇所ニ各百瓦ノ爆破藥ヲ縛著發火シテ電纜ヲ切斷スルモノニシテ切斷位置ノ發見ヲ困難ナラシムル爲切斷後其ノ上ヲ土又ハ草等ニテ覆フヲ可トス

第二百七十六 望樓、見張所、電信所等ヲ破壊スルトキハ單ニ電柱、電

線、信號竿等ノミナラズ綿密ニ其ノ附近ヲ搜索シテ通信器具其ノ他ヲ遺漏ナク破壊スルヲ要ス

第二百七十七

橋ヲ破壊スルニハ通常水流ノ中央部ニ在ル橋脚（陸橋ニ在リテハ最高キ橋脚）ヲ其ノ種類ニ應ジ爆破、燒却、切斷又ハ石ヲ濺載シタル舟若ハ長大ナル材木ヲ放流スル等ノ手段ヲ以テ破壊シ舟橋ニ在リテハ之ヲ沈下セシムルモノトス

若シ情況ニ依リ橋脚ヲ破壊スルヲ得ザルトキハ橋桁ノ上面ニ相當スル位置ニ爆破藥ヲ裝置シテ爆破ヲ行フ

**第二百七十八** 鐵條網、鹿砦等ヲ敵前ニ於テ破壊スルニハ通常夜暗ヲ利用シ爆破藥若ハ鐵線鉄、斧等ヲ使用ス而シテ廣正面ニ一箇所破壊スルヨリモ狹正面ニテモ數箇所ヲ破壊スルヲ可トス

**第二百七十九** 砲煩ヲ破壊スルニハ砲口ニ近キ膛中ニ爆破藥ヲ裝置シテ爆破スレバ確實ナレドモ破片遠ク飛散スルコトアルヲ以テ情況ニ依リ中小口径砲ニ在リテハ三乃至五疋ノ爆破藥ヲ砲身ノ外部ニ裝著シテ破壊スルヲ可トスルコトアリ何レノ場合ニ在リテモ其ノ主要機關ヲ分解スルヲ可トス

## 第七章 徵發

**第二百八十** 戰時事變若ハ演習ニ際シ指揮官ハ必要止ムヲ得ザル場合ニ

ハ内國ニ在リテハ徵發令竝ニ徵發事務條例ニ從ヒ、敵地ニ在リテハ陸戰條規ニ從ヒ糧食、燃料、船車、人夫宿舍其ノ他所要ノ材料等ヲ地方ヨリ徵發スルコトヲ得ルモノトス

**第二百八十一** 徵發ハ地方官憲若ハ人民ニ命ジテ行ハシムルコトヲ得バ成ルベク其ノ法ニ依ルヲ可トスレドモ要スレバ軍隊自ラ徵發隊ヲ編制シテ之ニ當ルベシ

徵發隊ノ兵力ハ情況ニ依リ定ムベシト雖モ其ノ長ニハ准士官以上ヲ用フルヲ要シ且成ルベク地方官吏若ハ名望家等ト連絡ヲ取ルヲ可トス

**第二百八十二** 軍隊自ラ徵發ヲ行フトキハ徵發ト掠奪トノ分界ヲ誤リ暴戾ニ陥ラザルコトニ注意スルコト特ニ肝要ナリ之ガ爲各兵各個ニ地方民ニ接セシメザルヲ可トス

第二百八十三 徵發ヲ行ヒタルトキハ成ルベク速ニ代金ヲ支拂フカ然ラザレバ受領證票ヲ交附スベシ

## 第八章 給 與

第二百八十四 陸戰隊ノ給與ハ所屬艦隊鎮守府若ハ所屬艦船部隊ヨリ受

クルモノトス又陸戰隊指揮官ハ必要ニ應ジ附近艦船部隊等ヨリ之ヲ受クルコトヲ得情況ニ依リ地方ノ物資ヲ利用スルヲ可トスルコトアリ

第二百八十五 地方物資ヲ利用スル場合ニハ努メテ購買ニ依リ徵發ハ止ムヲ得ザル場合ノ外之ヲ避クベキモノトス

第二百八十六 陸戰隊ノ給與ハ該地方ノ風土、季節等ニ成ルベク適合スルヲ要ス

## 第二篇 戰 闘

### 要 旨

### 要 旨

第二百八十七 戰闘ノ本旨ハ速ニ敵ヲ擊滅スルニ在リ而シテ攻撃ハ此ノ

目的ヲ達シ得ベキ唯一ノ手段ナリ故ニ情況眞ニ止ムヲ得ザル時ノ外常

ニ攻撃ヲ決行スベシ假令防禦ヲ爲ストキト雖モ必ず攻撃ノ動作ヲ併セ行ト情況之ヲ許スニ至ラバ決然攻撃ニ轉ズベキモノトス

第二百八十八 戰勝ノ要道ハ攻撃精神ヲ發揮シ自ラ主動ノ位置ニ立チ敵ノ意表ニ出デ有形無形ノ勢力ヲ要點ニ集中シ各隊其ノ全能ヲ發揮シ相

協力スルニ在リ

第二百八十九 困苦ノ甚シキト光景ノ慘烈ナルトハ戰闘ノ常態ナリ故ニ

堅忍不拔ノ精神ヲ發揮シテ能ク之ニ耐ヘ沈著ニシテ勇敢ニ奮闘セザルベカラズ

## 第一章 戰闘一般ノ要領

戰闘一般ノ要領  
總論  
緒論

### 第二百九十

戰闘ハ通常斥候警戒隊等ノ觸接ニ依リ始ル而シテ警戒隊等ガ其ノ觸接時ニ於ケル處置ノ巧拙ハ戰闘ノ全局ニ重大ナル影響ヲ及スヲ以テ此ノ局ニ當ルモノハ速ニ所要ノ配置ヲ爲シ敵ノ前進ヲ阻止シ敵情地形ヲ偵察シテ之ヲ指揮官ニ報告スルト共ニ我軍ニ對スル敵ノ視察ヲ妨グルコトニ努ムベシ此ノ時機ニ於テ警戒隊等ノ注意スベキハ我ヨリ決戰ヲ求メザルニ在リ然レドモ全般ノ爲特ニ必要ナル處置ハ勇敢ニ之ヲ決行スルヲ要ス

此ノ際指揮官モ亦手段ヲ盡シテ敵情地形ノ偵察ニ努ムルコト肝要ナリ

### 第二百九十一

敵ニ近接スルニ至ラバ指揮官ハ情況ノ許ス限り自ラ進出シテ敵情地形ヲ觀察シ諸報告ト自己ノ觀察トヲ綜合シテ戰闘一致ノ確乎タル決心ヲ定ムベシ

此ノ時機ニ於ケル指揮官ノ決心ノ適否ハ戰闘ノ勝敗ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナリ

### 第二百九十二

指揮官ハ決心ニ基キ戰闘ニ關スル計畫ヲ定ム此ノ際極力自ラ主動ノ地位ニ立チ敵ノ意表ニ出デ敵ヲシテ絶エズ我行動ニ從ハシムルコトニ努ムベシ而シテ此ノ場合海上部隊ノ協力ヲ豫想シ得ルトキハ之ト密接ニ連繫スルコトニ顧慮スベシ

### 第二百九十三

指揮官ハ戰闘計畫定マラバ之ニ基キ命令ヲ下スベシ此ノ際ニ於ケル命令ハ最簡明ニ直屬各部隊長ニ彼我ノ情況ト自己ノ決心トヲ了解セシメ各部隊並ニ其ノ附近ノ部隊ノ任務ヲ會得セシムルヲ要

ス

此ノ際爲シ得レバ直屬各部隊長或ハ其ノ命令受領者ヲ一地ニ集メ各部隊ノ爲合同ノ命令ヲ下スベシ然レドモ情況ニ依リ各別ノ命令ヲ與ヘ或ハ簡單ナル命令ヲ以テ速ニ所要ノ部隊ヲ所要ノ位置ニ至ラシメ次デ詳細ナル命令ヲ下スタ有利トスルコトアリ但シ交戰中運動中若ハ重要ナル配置ニ在ル部隊長ヲ遠隔セル地點ニ招集スルハ避クルヲ要ス

連絡  
通信

第二百九十四 通信連絡ノ確否ハ戦闘ノ指揮ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ指揮官ハ充分ノ手段ヲ講ジテ其ノ確實ヲ期セザルベカラズ之ガ爲通信隊及指揮小隊等ヲ使用シテ豫想スル戰況ニ適應スル如ク準備セシメ且爲シ得レバ展開ヲ終ル迄ニ所要ノ通信機關ヲ構成セシムルヲ可トス戦闘中指揮官ハ戰況ニ應ジ通信ニ關シ自己ノ意圖ヲ通信隊長若ハ指揮小隊長等ニ示シ通信隊指揮小隊等ヲシテ敏速ニ行動セシムルコト肝要

ナリ

## 工作隊

第二百九十五 工作隊ハ展開ノ時機ニ於テ通常豫備トシテ控置スルコト多キモ所要ニ應ジ其ノ全部又ハ一部ヲ必要ナル方面ノ部隊ニ配屬セシムルコトアリ

## 豫備彈藥隊

第二百九十六 戰場ニ於テ彈藥ハ極メテ重要ニシテ指揮官ハ戰況ヲ豫想シ豫メ之ガ配給ニ關シ充分考慮スルヲ要ス即チ豫備彈藥隊ヲ一所ニ集合セシムベキヤ、其ノ位置ヲ如何ニ選定スベキヤ或ハ其ノ一部ヲ各部隊ニ分屬セシムベキヤ若ハ展開ニ當リ豫備彈藥ノ一部ヲ第一線部隊ニ配給スベキヤ等ヲ定メ彈藥ノ消費ニ應ジ之ガ補給ヲ努メテ圓滑ナラシムルヲ要ス

戦闘間第一線部隊ニ彈藥ヲ補給スルニハ通常豫備隊又ハ豫備彈藥隊ノ人員ヲ使用シ已ムヲ得ザル場合ニハ第一線部隊ノ人員ヲ使用ス

豫備彈藥ノ補給ハ全般ノ戰況ニ依ルベキモノニシテ通常指揮官又ハ其ノ配屬セル部隊長ノ命令ニ依リ行フベキモノトス指揮官ハ情況之ヲ要スルトキハ一時一部隊ノ携帶彈藥ノ若干ヲ他部隊ニ補給セシムルコトアリ

## 醫務隊

**第二百九十七** 擔架ノ分配竝ニ治療所要スレバ繙帶所ノ開設概位ハ戰鬥ノ推移ヲ豫想シ適當ノ時機ニ於テ之ヲ軍醫長ニ命ジ軍醫長ヲシテ適宜處理セシムルモノトス

軍醫長ハ醫務隊ヲ統轄シ戰鬥間ハ通常治療所ニ在リテ死傷者ノ處置ニ任ズルモノトス

## 主計隊

炊事ニ關シテモ亦之ニ準ジ主計長ヲシテ處理セシム

**第二百九十八** 命令ヲ受ケタル各部隊長ハ敵ヲ攻撃スル爲運動ヲ始メ或ハ所命ノ地點ヲ占メ若ハ運動ノ時機ヲ待ツ爲一地ニ集合スル等其ノ任

務ニ從ヒ直ニ之ガ實行ニ著手ス展開ニ當リテハ任務、地形、兵力、敵情、側方依托ノ關係竝ニ明暗ノ度ニ基キ戰鬥正面及縱長區分ヲ決定スルモノトス各附屬隊ノ長モ亦之ニ準ジ各戰鬥ノ準備ヲ爲スベキモノトス

## 豫備隊

**第二百九十九** 豫備トシテ控置シタル部隊ハ戰鬥ノ進捗ニ重大ナル影響

ヲ與ヘ若ハ不時ノ事變ニ應ズル場合ニ之ヲ使用ス即チ所望ノ地點ニ決戰ヲ求メ必要ナル地點ニ援助ヲ與ヘ戰線ノ前進ヲ促シ又ハ其ノ動搖ヲ防ギ若ハ戰果ヲ擴張スル等はナリ而シテ之ガ使用ニ當リ損害特ニ多ナル戰線ニ注入セバ更ニ同一ノ結果ニ陥ルガ如キコトアルニ留意スルヲ要ス

**第三百** 豫備隊ハ成ルベク建制部隊ノ分割ヲ避クルヲ可トス豫備隊ノ位

置ハ情況特ニ其ノ用途ニ關スルモノニシテ多クノ場合ニ於テハ決戰ヲ豫期スベキ戰線ノ後方ニ之ヲ配置ス此ノ際特ニ遮蔽ニ注意スルコト緊



要ナリ而シテ爾後之ヲ移動スルニ際シテモ亦敵眼及敵火ニ暴露セシメザルコトヲ努ムベシ

豫備隊ノ隊型ハ努メテ掌握ニ便ニシテ且地形ニ適合シ行進容易ナルモノヲ選ブベシト雖モ敵火ノ損害ヲ少クスルコトモ亦顧慮セザルベカラズ必要ニ應ジ豫備隊ヲ使用シ盡シタル後ト雖モ情況之ヲ許サバ直ニ新ニ豫備隊ヲ設ケ好機ニ投ジ或ハ危機ニ備フルコト必要ナリ

**第三百一** 爾後ニ於ケル戰闘ノ經過ハ主トシテ各部隊ノ奮闘ト協同動作トニ依リテ進捗ス故ニ各部隊長ハ決シテ他ノ援助ニ依賴セズ一意任務ノ達成ニ努メ情況ニ變化アルトキト雖モ空シク命令ヲ待ツコトナク各其ノ職責ニ應ジ機宜ニ適スル處置ヲ決行スベシ又各部隊長ハ常ニ戰機ヲ看破シ機會ヲ捕ヘ敵ノ不意ト弱點トニ乘ジ以テ一局部ニ於テ收メ得タル戰勝ヲ全般ニ普及セシムルノ氣概ナカルベカラズ之ニ反シ一局部

ニ受ケタル不利ナル戰況ヲ他所ニ波及セシメザルコトニ就キテハ身ヲ以テ其ノ責ニ任ズベシ

此ノ間指揮官ハ常ニ全般ノ情況ヲ觀察シ適時所要ノ指示ヲ與ヘ或ハ豫備隊ヲ適切ニ運用スル等終始戰闘ヲ統一指導スベキモノトス

**第三百二** 指揮官ハ各部隊長ヲシテ戰況ノ變化ニ應ジ適當ニ動作セシメンガ爲情況ノ變化及之ガ爲取リタル處置ヲ絶エズ各部隊長ニ通報スルヲ要シ各部隊長ハ觀察セシ敵情地形及自己ノ行動等苟モ戰闘ニ影響ヲ及スベキ事項ヲ速ニ指揮官ニ報告セザルベカラズ

**第三百三** 戰況ヲ悲觀シ敵情ヲ過大視スルノ報告ヲ爲スベカラズ已ニ危急ニ瀕スルノトキハ他部隊モ亦同一ノ狀態ニアルノトキナルコトヲ思ヒ溢リニ増援隊ヲ請求スルコトアルベカラズ

**第三百四** 隣接スル部隊或ハ同一ノ目的ニ向ヒテ戰闘スル部隊ノ長ハ相

互ノ連繫ヲ保ツコト緊要ナリ然レドモ唯連繫ニノミ留意シテ自己ノ任務ノ遂行ヲ躊躇スルガ如キコトアルベカラズ

**第三百五** 戰闘間指揮官ノ位置ハ彼我ノ情況ヲ觀察スルニ適シ命令、報告、通報、速達ニ適シ部下ノ指揮ニ便ナル地點ヲ選ビ、濫リニ位置ヲ變ゼザルヲ要ス而シテ必要ニ際シ其ノ位置ヲ換フルトキハ要スレバ報告等ノ遲滯ナク新位置ニ到着スル方法ヲ定メ置クベキモノトス

**第三百六** 戰闘間各部隊長ハ常ニ地形ノ利用ニ注意シ部隊ノ運動及隊形ノ選擇ヲシテ之ニ適合セシムルコトヲ努ムベシ然レドモ之ガ爲攻撃精神ヲ鈍ラシ或ハ戰闘動作ヲ遲緩シ若ハ示サレタル行動ノ範圍ヲ脱逸スル等ノコトアルヲ許サズ

**第三百七** 敵ノ航空機ニ對シ我ノ企圖及行動ヲ秘匿スル爲ニハ夜暗天候又ハ地形ヲ利用シ或ハ偽裝ヲ施ス等諸種ノ手段ヲ講ズルト共ニ爲シ得

ル限り對空防禦ノ施設ニ依リ敵航空機ノ行動ヲ妨害スルコト必要ナリ又敵ヲ欺騙スル爲陽動若ハ偽工事ヲ利用スルコトアリ

**第三百八** 毒瓦斯ニ對シテハ深甚ナル警戒ヲ要ス之ガ爲所要ニ應ジ斥候、哨兵ヲ出シテ其ノ所在、種類等ヲ搜索シ之ヲ發見セバ速ニ消毒ノ方法、防毒ノ手段ヲ講ズルヲ要ス

**第三百九** 指揮官ハ敵ノ豫期セザル地點ニ決戰ヲ求メ或ハ敵ニ秘匿シテ我企圖ヲ實施スルコト極メテ緊要ナリ之ガ爲敏捷ナル兵力ノ移動迅速ナル部署ノ變更等ヲ斷行スルヲ利トスルコトアリ

劣勢ナル兵力ヲ以テ優勢ナル敵ニ對スルトキハ局部的兵力ノ優勢ヲ占ムル爲機動ヲ必要トスル場合特ニ多キモノトス

**第三百十** 戰闘ノ進捗ニ伴ヒ各部隊ハ火器ノ威力ヲ最高度ニ發揚シ以テ終ニ突撃ヲ實施ス此ノ際機銃隊ハ主トシテ主攻擊點ニ火力ヲ集中シ銃

決戦期

隊ノ突撃ヲ援助スベキモノトス

第三百十一 突撃ノ時機既ニ迫ルニ至ラバ豫備隊ヲ第一線ニ近ク前進セシメ急速ノ使用ニ即應スル準備ヲ爲サシムベシ

第三百十二 戦勝ヲ豫期シ得ルニ至ラバ各部隊長ハ成ルベク前線ニ在リテ機ヲ逸セス追撃ヲ部署スル等其ノ準備ヲ爲スヲ必要トス此ノ際特ニ通信連絡ノ敏捷ヲ期スコト緊要ナリ

第三百十三 戦勝ヲ得タルトキハ其ノ效果ヲ完カラシムル爲猛烈果敢ニ追撃ヲ行ヒ敵ヲ全滅ニ陥ラシムルコトニ全力ヲ盡スベシ

第三百十四 指揮官ハ假令戦況不利ナル場合ニ於テモ尙諸種ノ手段ヲ盡シテ戦勝ヲ挽回スルコトヲ計ルベシ此ノ際銃隊ハ火力ヲ増大シ要スレバ突撃ヲ行ヒ機銃隊ハ銃隊ト協力シテ我ニ最危害ヲ與フル敵ニ對シテ射撃ヲ集中シ全軍協同死力ヲ盡シテ最後ノ勝利ヲ得ルコトニ努メザル

ベカラス

第二章 攻撃

第一節 攻撃一般ノ要領

攻撃一般ノ要領

第三百十五 攻撃ハ常ニ剛健ナル意志ヲ以テ専心敵ニ向ヒ勇進スルヲ要ス而シテ攻撃計畫ヲ適當ナラシメ行動ヲ秘密シ敵ノ意表ニ出ルノ度大ナルニ從ヒ其ノ成果愈大ナルコトヲ得ベシ

攻撃ノ重點

第三百十六 攻撃ノ重點ニ優勢ナル兵力ヲ使用スルハ攻撃部署ノ要訣ナリ

攻撃ノ重點ハ情況特ニ地形ヲ判断シ敵ノ弱點若ハ敵ノ苦痛トスル方向ニ之ヲ指向スベシ

## 包圍

我戰闘力ノ發揮ニ便ニシテ敵ノ戰闘力ノ發揮困難ナル方面殊ニ翼、配備ノ間隙等ハ通常攻撃ノ重點ヲ指向スルニ適スルモノトス

## 第三百十七

攻撃ハ成ルベク包圍ニ依ルコトヲ努ムベシ

包圍ハ展開ニ先チ之ヲ準備スルヲ可トスルモ既ニ展開シタル後ト雖モ地形有利ナルカ若ハ敵ノ目視ヲ避ケ得ル場合等情況之ヲ許サバ部隊ノ移動ニ依リ努メテ包圍ヲ行フヲ可トス包圍ハ敵ノ正面ト側面トヲ併セ攻撃スルモノニシテ側面ニ用フル兵力大ナルト且果敢ナル正面攻撃ニ依リ敵ヲ正面ニ拘束シテ他ヲ顧ル暇ナカラシムルトニ從ヒ其ノ效果益大ナルモノトス若シ兩翼ヲ同時ニ包圍スルカ又ハ一翼ト背後トヲ包圍スルヲ得バ其ノ效果著大ナレドモ著シク優勢ナル兵力ヲ有スルニ非ザレバ正面薄弱トナリ危険ニ陥ルノ懸念アルコトヲ顧慮スルヲ要ス各部隊長モ亦自己ノ戰闘正面ニ於ケル敵ノ弱點ニ先ヅ突入シ局部的包

圍ニ依リ漸次戰果ヲ擴張シテ敵陣ヲ突破スルヲ有利トスルコト多シ

## 第三百十八

戰闘ノ爲前進スル部隊ハ所要ノ搜索及警戒法ヲ講ジ地形、

天候等ヲ利用シ地上竝ニ上空ノ敵ノ目視ヲ避ケ成ルベク長ク緊縮隊形ヲ保チテ敵ニ近づくコトニ努メ敵ノ有效砲撃ヲ受ケントスルニ至ラバ各部隊ノ縱横ノ距離ヲ開キ適當ノ隊形ヲ取ルモノトス要スレバ展開セ先チ開進ヲ行フコトアリ

## 展開

## 第三百十九

展開ニ當リ第一線ニ幾何ノ部隊ヲ出スベキヤハ情況ニ依リ

決定スベキモノトス而シテ適切ナル機動ヲ爲シ不時ノ事變ニ備ヘ又ハ戰闘ノ進捗ニ應ジテ逐次ニ正面ヲ強大ナラシメンガ爲最初第一線ニ用フベキ兵力ハ成ルベク節約スルヲ必要トスルコト多シ機銃中隊ハ主トシテ近距離ニ於テ第一線部隊ノ攻撃ニ協力セシメ情況特ニ之ヲ要スレバ中距離ニ於テ銃隊ノ前進ヲ援助セシムベキモノニシテ爲シ得レバ展

開ノ時機ニ於テ之ニ任務ヲ與ヘ若シ情況ニ依リ未ダ任務ヲ與フルコト能ハザルトキハ爾後ノ使用ヲ顧慮シテ其ノ行動ヲ定メ次デ任務ヲ與フルヲ可トス

**第三百二十** 展開ヲ行フニハ指揮官ハ情況之ヲ許サバ各部隊長ヲ集メ現在ノ情況、攻擊目標、各部隊ノ任務、展開位置、攻擊前進ノ時機等ヲ指示ス

展開位置ハ敵火ノ損害少キ地點ヲ選ブベシト雖モ第一線部隊ハ努メテ敵ニ近接セシムルヲ可トス

**第三百二十一** 攻擊目標ヲ指示スルニハ通常其ノ第一線ヲ以テシ且要スレバ爾後攻撃前進スベキ方向又ハ到着點ヲ示ス而シテ縱深アル陣地ノ攻撃ニ在リテハ敵ノ第一線ト一舉ニ攻略スベキ敵陣地ノ後端トヲ併セ示スモノトス而シテ全隊ノ攻擊目標ヲ示シ各部隊ヲシテ之ニ向ヒ協同

## 攻擊目

シテ攻撃ヲ實施セシムベキヤ又ハ各部隊毎ニ之ヲ示スベキヤハ情況ニ依ルモノトス

**第三百二十二** 展開ハ各部隊連繫ヲ保チテ之ヲ行ヒ各隊各自所要ノ警戒ヲ爲シ不時ノ事變ヲ豫防スルコト必要ナリ

**第三百二十三** 展開シタル各部隊ハ受ケタル任務ニ基キ敵情及前方ノ地形ヲ偵察シ爾後ノ運動ヲ容易ナラシムルコトヲ計ルベシ之ガ爲時トシテ敵ノ警戒部隊ヲ驅逐スルヲ要スルコトアリト雖モ全般ノ展開進捗スルマデ成ルベク過早ノ展開ヲ引キ起スコトヲ避クベシ

**第三百二十四** 後方部隊ハ其ノ用途ヲ顧慮シ又爾後ノ展開ニ便利ナル如ク其ノ位置ヲ定ムベシ

## 後方部

後方部隊ノ取ルベキ距離ハ情況特ニ地形ニ依リテ變化ス、開闢地ニ在リテハ戰團ノ初期ニ於テハ之ヲ大ニシ敵ニ接近スルニ從ヒ漸次短縮ス

ベシ而シテ小銃ノ集束彈或ハ榴霰彈ノ爲ニ縱方向ノ二梯隊同時ニ損害ヲ被ラザル如クスルニ必要ナル距離ハ約三百メートルス陸蔽地ニ在リテハ屢第一線ヲ速ニ援助スルノ必要アリ故ニ此ノ距離ヲ短縮スルヲ要スルコト多シ

**第三百二十五** 展開シタル各部隊ハ展開後直ニ前進ヲ起シ或ハ攻撃ノ準備ヲ整ヘタル後指揮官ノ命令ヲ待チテ前進シ一意敵ニ近接スルコトヲ努ムベシ

前進ニ當リテハ指揮官ハ特ニ部隊ノ掌握ニ努メ各部隊ハ敵火ノ損害ヲ顧慮シ地形ヲ利用シ各種隊形ヲ應用スルコトニ注意スベシ

**展開實施**

**第三百二十六** 第一線部隊ハ前進シテ敵ニ近接セバ適時射撃ヲ開始スルモノトス而シテ各部隊ハ絶エズ其ノ戰線ヲ前進セシムルコトニ努カスベシ是レ勇進ノ氣勢ヲ保持セシムルニ必要ナルノミナラズ射撃ノ效果

ハ敵ニ近づくニ從ヒ益大ナルヲ以テナリ

地形及敵火ノ關係ハ第一線ノ各部ノ様ナラズシテ一部隊ハ他部隊ニ比シ容易ニ前進シ得ベキコトアリ此ノ如キ場合ニ於テハ直ニ其ノ機會ト利益トヲ獲得スルコトヲ努ムベシ

**機銃隊**

**第三百二十七** 指揮官(大隊長)ハ戰團ノ進捗ニ伴ヒ適時機銃隊ヲ戰團ニ加入シテ第一線機銃隊ニ協力セシム而シテ其ノ戰團加入ノ時機、使用方而竝ニ射撃目標若ハ地區等ニ關シ適時機銃中隊長ニ命令スルモノトス機銃隊ハ其ノ射撃效果ヲ充分ニ發揮シ得ベキ距離ニ達シタル後戰團ニ加入セシムルヲ通常トスレドモ彈藥ノ顧慮少ク且情況特ニ之ヲ要スル場合ニハ稍遠キ距離ヨリ射撃ヲ開始セシムルコトアリ

機銃隊ハ決戰ヲ企圖スル方面ニ用フルヲ通常トシ短時間ニ集團の效果ヲ發揮スル爲ニハ機銃中隊長ハ之ヲ一途ニ使用スベキモ情況ニ依リ小隊

毎二分割スルコトアリ

**第三百二十八** 機銃隊ハ成ルベク適當ナル地形ヲ利用シテ第一線銃隊ノ前進ヲ妨グルコトナク之ヲ援助セシムルヲ可トスレドモ情況之ヲ許サザルトキハ第一線銃隊ノ部隊間ニ位置セシムルコトアリ此ノ場合ニ在リテハ其ノ附近ノ銃隊ニ豫メ機銃隊ノ戦闘加入ニ關シ必要ナル事項ヲ通報スルヲ要ス

情況ニ依リ機銃隊ヲ小隊ニ分割シタルトキ一時其ノ一部ヲ銃隊ノ中隊長ノ指揮下ニ入ラシムルヲ便トスルコトアリ又銃隊ト離隔シテ使用スル時等必要ニ應ジ護衛ノ爲機銃隊ニ若干ノ銃隊ヲ附スルヲ要スルコトアリ

**第三百二十九** 戦闘間指揮官ハ適時ニ自己ノ意圖ヲ各部ニ傳ヘ全軍ヲ統一シ必要ニ應ジ第一線ヲ増加シ彈藥ヲ補充シ戦闘ヲ進捗セシムルモノ

トス戦闘間ニ於テモ機會ノ乘ズベキアラバ直ニ適切ナル機動ヲ行フハ極メテ有效ナルモノトス

**第三百三十** 多クノ場合敵ハ單ニ射撃ノ效果ノミニ依リ之ヲ驅逐シ得ルモノニアラズ故ニ攻者ハ常ニ突撃ヲ實施シ以テ最後ノ勝利ヲ期セザルベカラズ

**第三百三十一** 突撃ノ機漸ク熟スルニ到ラバ指揮官ハ爲シ得レバ成ルベク第一線ニ近ク進出シ詳ニ戰況ヲ觀察シ逐次所要ノ突撃準備ヲ整ヘ突撃ノ機會ヲ看破スルコトニ努ムルヲ要ス

**第三百三十二** 突撃ヲ行フニハ突入ニ先チ火力ヲ以テ敵ヲ制壓シ其ノ障礙物竝ニ側防機銃ヲ破壊スベシ

敵ヲ制壓スルニ當リ過度ニ小銃ヲ配列シ火線ヲ濃密ナラシムルトキハ却テ我機銃隊ノ射撃ヲ妨グルコトアルノミナラズ突入ニ先チ無益ノ損

害ヲ被ルコト多シ故ニ爲シ得ル限り機銃隊ヲ有利ニ使用シ以テ其ノ目的ヲ達成セザルベカラズ

障礙物ノ破壊作業ニハ第一線ニ在ル銃隊若ハ工作隊之ニ當リ必要ニ應ジ火力ニ依リ其ノ作業ヲ掩護セシメ情況ニ依リ機銃ノ射撃ヲ以テ障礙物ヲ破壊スルコトアリ障礙物ニ突撃路ヲ開設スルニハ突撃ノ部署ヲ顧慮シ破壊點ヲ選定スルヲ要ス而シテ多クノ場合突撃路ハ其ノ少數ヲ完全ニ開設スルヨリモ不充分ナルモ其ノ數ノ多キヲ有利トス

**第三百三十三** 突撃ニ當リ敵陣地ノ一端ヲ奪取スルモ爾後尙幾多ノ抵抗ヲ排除スルヲ必要トシ此ノ間敵ノ逆襲ヲ受ケ或ハ包圍ヲ蒙ルコトアルモ悉ク之ヲ撃退スルニアラズンバ戰勝ヲ求ムルヲ得ズ故ニ指揮官ハ成ルベク長ク適當ナル豫備隊ヲ控置スルコトニ努ムベシ住民地陸蔽地等ニ於テ特ニ然リトス

**第三百三十四** 突撃ハ多クノ場合指揮官ノ部署ヲ以テ實施ス然レドモ前線ニ在ル各部隊長ハ好機ニ投ジ自ラ突撃ヲ決行スルニ躊躇スベカラズ敵線ノ一部ト雖モ我猛烈ナル突撃ヲ受クルトキハ附近ノ敵線モ爲ニ動搖ヲ生ズルモノナリ故ニ指揮官ノ企圖スル突撃實施ニ先チ勇敢ナル部隊突撃ヲ敢行セバ此ノ機會ヲ捉ヘテ戰勝ヲ收ムルコトニ努力スルハ指揮官ノ任ニシテ先ニ進ミタル部隊ヲシテ孤立援ナキニ至ラシムルガ如キコトナキヲ要ス

友隊突撃ニ移ルヲ見バ各部隊モ亦機ヲ逸セズ之ニ協同シテ突撃ヲ實施スルコトニ努ムベシ

**第三百三十五** 敵陣ニ突入シタル部隊ハ互ニ協同シ全力ヲ盡シテ奮闘シ敵ノ抵抗ト逆襲トヲ撃退シ要スレバ一部ヲシテ尙我側背ニ在リテ抵抗ヲ持續スル敵ヲ掃蕩セシメ主力ハ一意敵陣ノ後端ニ向ケ突進スルニ努



ムベシ

此ノ際指揮官ハ豫備隊ヲ第一線ニ近ク續行セシメ機ヲ逸セズ之ヲ突撃ノ成功セル方面ニ進メテ第一線部隊ノ得タル戦果ヲ擴張シ或ハ敵ノ逆襲ヲ撃退シ又ハ突撃部隊ノ側面ヲ掩護シテ戰鬪ノ成果ヲ完フスベシ

**第三百三十六** 頑強ナル敵ニ對シテハ一舉ニ敵陣ヲ突破シ得ザルコトアリ此ノ場合ニ於テハ指揮官ハ諸隊ヲ激勵シテ占領セル地點ヲ確保シ隊勢ヲ整ヘ猛烈ナル射撃ヲ行ヒ氣勢ヲ回復シ手段ヲ盡シテ飽クマデ突撃ヲ反復シ以テ最後ノ勝利ヲ獲得セザルベカラズ

**第三百三十七** 敵陣ノ後端ヲ奪取シタル部隊ハ之ヲ以テ足レリトセズ敵ヲ全滅センガ爲直ニ猛烈ナル追撃ヲ行フベシ此ノ際機銃隊ハ機ヲ失セズ追撃射撃ニ加ハルヲ必要トス

敵陣ヲ奪取シタル時機ニ於テ多數ノ部隊ヲ群集セシメ又ハ大ナル目標

ヲ現ハストキハ其ノ瞬時ニ於テ敵陣ノ他部ヨリスル射撃ノ爲ニ多クノ損害ヲ被ルコトアルニ注意スベシ

**第三百三十八** 戰鬪一段落ヲ告ゲ情況之ヲ許スニ至ラバ指揮官ハ成ルベク速ニ一部ト雖モ部隊ヲ集結シ人員彈藥ノ整理ヲ行ヒ爾後ノ行動ヲ準備セシメ且爲シ得レバ戰場ノ跡仕末ヲ行フベシ

## 遭遇戰

## 第二節 遭遇戰

**要訣** **第三百三十九** 遭遇戰ノ要訣ハ先制ニ在リ之ガ爲敵ニ先チ有利ノ狀態ニ展開シ戰鬪ノ初動ヨリ戰勢ヲ支配スルコト緊要ナリ

遭遇戰ニ在リテハ情況明確ナラザルヲ通常トシ且先制獲得ノ爲ノ機ハ瞬時ニ經過スベキヲ以テ地形ヲ綿密ニ偵察シ或ハ時々刻々變化スベキ敵情ニ關スル多クノ報告ヲ集メテ後始メテ處置セントスルガ如キハ斷

ホ失敗ニ陥ルモノトス故ニ指揮官ハ努メテ前方ニ位置シ自己ノ觀察ト既ニ得タル諸報告トニ基キ一般ノ情況ヲ判斷シテ斷乎タル決心ヲ定メ速ニ各部隊長特ニ先ヅ前衛長ニ指示シテ其ノ動作ニ準據ヲ與ヘ且本隊ノ各部隊ヲシテ直ニ戰場ニ到達セシムル如ク所要ノ命令ヲ下ス等神速ナル處置ヲ爲スヲ要ス

遭遇戦ニ在リテハ各部隊長ノ獨斷專行ヲ要スル場合特ニ多キヲ以テ各部隊長ハ百方手段ヲ盡シテ指揮官ノ意圖ヲ満足セシムル如ク動作スルコト必要ナリ

## 前衛ノ行動

**第三百四十** 遭遇戦ニ於ケル前衛ノ行動ハ本隊ノ戦闘ニ特ニ重大ナル關係ヲ有スルモノナリ故ニ前衛長ハ指揮官ノ指示ニ從ヒ又要スレバ獨斷ヲ以テ前衛ヲ部署シ機ヲ失セズ其ノ任務ヲ完フスルコトヲ努ムベシ前衛ハ間モナク本隊ノ援助ヲ受グベキヲ以テ戦闘ノ據點トナルベキ要點

ハ假令戦闘ヲ引キ起シ又ハ正面過廣トナルノ懸念アリト雖モ之ヲ占領スルコトニ躊躇スベカラズ然レドモ徒ニ猛進シテ累ヲ全軍ニ及ボシ指揮官ノ意圖ニ反スルコトナキヲ要ス

前衛内ノ部隊長モ亦此ノ要領ニ準ジテ動作スベシ

**第三百四十一** 指揮官ハ全隊ヲ統一シテ戦闘ニ參與セシムルコトヲ努力スベシト雖モ機ヲ失セズ前衛ノ獲得セル利益ヲ確保シ或ハ之ヲ増大セントスルガ如キ場合ニ於テハ逐次本隊ノ各部隊ヲシテ直ニ戦闘ニ加入セシムルヲ必要トス

**第三百四十二** 敵若シ我ニ先ンジテ展開ヲ終ヘントスルヲ察知セバ敵ノ包圍ヲ豫防シ且終始優勢ナル敵ト對戦スルノ不利ヲ免ガレンガ爲充分ナル兵力ヲ展開シ得ルニ至ルマデ眞面目ノ戦闘ヲ避クルヲ要ス

**第三百四十三** 警戒隊敵ト接觸シ若ハ其ノ一部戦闘ヲ開始スルニ到リ始

メテ敵ノ既ニ防禦シアルヲ明ニスルコトアリ斯ノ如キ場合ニ於ケル展開ハ概ネ陣地攻撃ノ場合ニ準ズベシト雖モ努メテ積極機敏ニ動作シ以テ敵ニ準備ノ餘裕ヲ與ヘザルヲ要ス之方爲行軍縱隊ヨリ直チニ展開シテ敵ヲ攻撃スルヲ有利トスルコトアリ

### 第三節 陣地攻撃

## 要旨

第三百四十四 防禦陣地ヲ占領セル敵ニ對シテハ機動ニ依リ成ルベク敵

陣地外ニ於テ決戦ヲ求ムルヲ可トス故ニ指揮官ハ全般ノ情況ニ鑑ミ敵陣地ヲ迂回スベキヤ或ハ直接之ヲ攻撃セザルベカラザルヤヲ考慮スルヲ要ス

陣地攻撃ニ在リテハ攻者ハ通常敵情及地形ヲ偵察シ攻撃ノ時期、方向及方法ヲ選ブ爲要スル時間ノ餘裕ヲ有スルモノトス故ニ指揮官ハ豫メ

綿密ナル計畫ヲ定メ且充分ナル準備ヲ整ヘ統一セル攻撃ヲ行フヲ要ス然レドモ徒ラニ時日ヲ遷延シ敵ヲシテ陣地ヲ強固ニシ或ハ新ニ兵力ヲ招致スルノ時間ヲ與ヘザルコトニ著意スルコトモ亦肝要ナリ

第三百四十五 敵陣地ノ狀態特ニ強度ハ攻撃計畫ニ多大ノ關係ヲ有ス故ニ其ノ偵察ハ獨リ警戒部隊等ノ報告ニ依ルノミナラズ情況ノ許ス限り指揮官ノ統一セル計畫ニ基キ各部隊相協力シテ迅速ニ其ノ成果ヲ擧グルニ努メザルベカラズ

第三百四十六 確實ナル敵情ハ敵ノ警戒兵等ヲ驅逐シタル後始メテ之ヲ知り得ルヲ通常トス故ニ前衛等ハ敵ノ小部隊ノ如キハ適時之ヲ驅逐シテ敵情ヲ搜索スルコトニ努ムベシ

第三百四十七 陣地攻撃ニ在リテハ指揮官ハ通常部隊ヲ開進セシメ然ル後展開ヲ行フモノトス此ノ際本隊ノ開進竝ニ展開ヲ援護スベキ部隊ハ

戰闘ヲ引キ起スコトヲ避クルト共ニ敵ノ攻勢移轉ニ即應スル用意ナカルベカラズ

是レ機動ニ富ム防者ハ攻者ノ先頭現出スルヲ機トシ攻勢ニ轉ズルコトアレバナリ

**第三百四十八** 夜暗ヲ利用シテ敵ニ近接シ拂曉ヨリ我火力ヲ發揚シ以テ攻撃ヲ實行スルヲ有利トスルコト少カラズ此ノ場合ニ於テハ爲シ得ル限り晝間特ニ日没時ニ於テ諸偵察ヲ行ヒ以テ夜間ニ於ケル困難ナル偵察ヲ輕減シ且各部隊ノ諸準備ヲ容易ナラシムルコトヲ努ムベシ此ノ際ニ於ケル展開位置ハ努メテ敵ニ近接セシムルヲ有利トスト雖モ豫期セザル戰闘ヲ起スコトアルベキヲ顧慮シ適宜敵ト離隔シアルヲ必要トス拂曉攻撃ニ於テハ各部隊ハ遅クモ夜明ケマデニ連絡ヲ確保シ要スレバ工事ヲナシ攻撃ノ諸準備ヲ完了シ在ルヲ要ス

## 攻撃前

**第三百四十九** 攻撃前進ハ通常各部隊ノ展開完了後指揮官之ヲ命ズルキ

ノトス

**第三百五十** 漸次敵ニ近接セバ各部隊長ハ益敵陣地ノ情況ヲ詳ニシ又敵ノ制壓特ニ其ノ機銃及障礙物竝ニ側防機關ノ破壊ニ努メ敵ノ猛火ヲ意トセズ躍進方法ノ選擇及地形ノ利用ヲ適切ニスルト共ニ益火力ヲ盛ニシテ敵ヲ制壓シツツ近迫シ機銃隊ハ全力ヲ擧ゲテ火力ヲ發揮シ要スレバ障礙物ノ破壊ニ努メ以テ極力銃隊ノ攻撃ニ協力スベシ突撃路開設ノ爲工作隊ハ所要ニ應ジ之ヲ適宜第一線部隊長ニ配屬セシム

**第三百五十一** 敵陣地ニ突入シタル部隊ハ一意其ノ後端ニ向ヒ突進ス若シ敵陣地ノ一部特ニ頑強ニ抵抗スルトキハ附近ノ部隊ハ之ガ攻略ニ努メ其ノ他ノ正面ニ在ル部隊ハ之ニ牽制セラルルコトナク通常續キテ其ノ前面ノ敵ヲ驅逐シテ前進スルモノトス

## 防禦

## 第三章 防禦

## 要旨

**第三百五十二** 防禦ノ主眼ハ地形ノ利用、工事ノ施設、戰闘準備ノ周到ナル等物質的利益ニ依リ兵力ノ劣勢ヲ補ヒ且火力及逆襲ヲ併用シテ陣地前ニ敵ヲ擊滅スルニ在リ

**第三百五十三** 防禦ハヤヤモスレバ全ク受動ノ守勢ニ陥リ我動作ノ自由ヲ失フニ到リ易シ故ニ防禦ヲ爲ス場合ニハ一層士氣ヲ旺盛ナラシメ各部隊長ハ特ニ堅確ナル意志ヲ以テ主動的ニ其ノ企圖ヲ遂行シ決戰的勝利ヲ得ル如クスルヲ緊要トス之ガ爲攻撃ノ動作ヲ併セ行ヒ又指揮官ハ機ニ投ジ決然攻勢ニ轉ゼザルベカラズ

**第三百五十四** 防禦ニ在リテハ敵情特ニ其ノ企圖ヲ速ニ察知スルト共ニ我企圖ヲ秘匿スルコト極メテ必要ナリ故ニ指揮官ハ勿論搜索警戒ノ任

ニ在ルモノ及第一線部隊ハ手段ヲ盡シテ此ノ要求ヲ充足セザルベカラズ

## 陣地ノ選定

## 第三百五十五

陣地ノ選定ハ任務及全般ノ情況地形ニ依ルベキモノニシテ局部ノ地形ニ捕ハレザルヲ要ス其ノ外陣地ノ選定ニ當リ考慮スベキ事項概ネ左ノ如シ

- 一、攻撃ニ轉ジ得ル適當ナル地帯ヲ有スルコト
- 二、廣キ射界ヲ有シ特ニ我攻撃地帯及豫想スル敵ノ主攻撃方面ニ充分ナル火力ヲ集中シ得ルコト
- 三、陣地ノ廣サ兵力ニ適合シ且適當ノ縱深ヲ有スルコト
- 四、陣地ハ互ニ側防シ得ルコト
- 五、翼側ハ成ルベク適當ナル障礙物ニ依托シ得ルコト
- 六、指揮及内部ノ交通便利ニシテ各部相互ノ應援容易ナルコト

七、敵ニ對シ成ルベク遮蔽シ且陣地前ノ展望容易ナルコト  
然レドモ陣地ノ各部盡ク所望ノ價值ヲ有スルコト稀ナルヲ以テ適當ナル兵力ノ分配及工事ニ依リ之ヲ補ハザルベカラズ

第三百五十六 敵ニ有力ナル砲隊ヲ有スルトキハ射界其ノ他ニ於テ多少不利ナリトモ敵砲火ノ被害ヲ減ズベキ位置ニ陣地ヲ選定セザルベカラザルコトアリ特ニ顯著ナル稜線若ハ住民地、森林等ノ認識シ易キ線端ハ之ヲ避ケ寧ロ其ノ前方若ハ後方ニ陣地ヲ設クルヲ可トスルコト多ク其ノ工事モ亦遠方ヨリ認識セラレザル如ク特ニ注意スルヲ要ス

第三百五十七 陣地ヲ占メントスルトキハ斥候ヲシテ敵情ヲ搜索セシメ且通常陣地ノ前方ニ有力ナル斥候又ハ一部隊ヲ出シ以テ我陣地占領ヲ掩護セシム此ノ掩護隊ハ密接ニ指揮官ト連絡ヲ保チ陣地占領ノ進捗ニ應ジ適宜ノ時機ニ於テ後退セシムベシ時トシテ此ノ部隊ヲシテ敵ノ前

進ヲ妨害セシムルコトアリ何レノ場合ニ在リテモ其ノ後退ニ際シテハ本陣地ヲ占領スル我部隊ノ射撃ヲ妨ゲザルコトニ注意スルヲ要ス

第三百五十八 陣地ハ防禦ノ方針ニ基キ地形ト指揮ノ便否トヲ顧慮シテ之ヲ若干ノ地區ニ分チ各地區ニハ之ニ適應シタル部隊ヲ配置シ各獨立シテ其ノ陣地ヲ保持シ得シムル如ク考慮スルコト肝要ナリ又地區ノ數及之ニ備フベキ兵力ハ情況ニ依リテ同ジカラズ例ヘバ攻撃ヲ企圖スル方面又ハ射界不良ナル地區ニハ其ノ兵力ヲ大ニシ陣地内ノ交通困難ナルトキハ地區ノ數ヲ増加スルガ如シ

第三百五十九 指揮官ハ各地區ノ占領部隊ニ俱ノ占領區域ヲ指定シ前地ヲ分割シ要スレバ側防ノ關係ヲ指示シ警戒區域及各地區毎ニ出スベキ警戒兵ノ概略ノ位置ヲ示シ要スレバ之ガ動作ヲ統一ス特ニ警戒兵ノ撤退ニ關シテハ豫メ明瞭ナル指示ヲ與フルヲ要ス

## 豫備隊

**第三百六十** 豫備隊ノ位置ハ我企圖豫備隊ノ兵力、戰況及地形ニ從ヒ好機ニ投ジ容易ニ攻勢ニ轉ジ得ベキ地ニ選ブテ要スルモ通常其ノ位置ヲ陣地ノ翼側後ニ求メ攻者ノ外翼又ハ側面ヲ包圍スルニ便ナラシムルヲ可トス

## 工事

**第三百六十一** 陣地ハ時間及材料ノ許ス限り堅固ニ防禦工事ヲ實施スベシ若シ時間ノ餘裕少キトキハ先ヅ其ノ時間内ニ於テ使用ニ堪フベキ工事ヲ施シ其ノ後時間ノ餘裕アルトキハ更ニ強固ニ増築シ得ル如クスルヲ要ス

工事ハ假令必要ノ程度少キ方面ニ於テモ全ク之ヲ忽ニスベカラズ然レドモ既ニ構築シタル工事ト雖モ情況ノ變化シタルトキハ之ヲ棄ツルニ躊躇スベカラズ防禦工事ハ一般ノ目的ニ適合スル如ク指揮官自ラ之ヲ統一シ各地區ニ於ケル工事ノ實施ハ其ノ守備ニ任ズル部隊ヲシテ之ニ

當ラシメ特殊ノ技術ヲ要スル工事ハ工作隊ヲシテ之ニ當ラシメ各部隊長間等ノ通信連絡ノ設備ハ通信隊ヲシテ之ニ當ラシムルヲ通常トス而シテ防禦工事特ニ障碍物構築ニハ我射撃ト行動トヲ妨害セザル如クシ又射界ノ清掃ト射距離ノ測定ハ極メテ必要ナリ

**第三百六十二** 陣地特ニ防禦工事ハ地上竝ニ上空ノ敵ニ對シ成ルベク長ク秘匿スルヲ要ス之ガ爲ニハ敵ノ偵察ヲ妨害スルノ處置ヲ講ズルノミナラズ工事ヲ地形ニ適合セシメ且守兵ノ行動ニ注意セシメ以テ陣地ノ要點ヲ判別シ難カラシムル如クスルヲ緊要トス又敵ヲシテ我兵力及配備ヲ誤認セシムル爲ニハ各種ノ偽裝ヲ用フルヲ有利トス

**第三百六十三** 各地區ノ部隊ハ第一線部隊ト其ノ豫備隊トニ區分ス各地區部隊ハ通常其ノ陣地前ニ所要ノ警戒兵ヲ配置シ以テ敵情ヲ搜索シ且陣地ヲ掩護セシム警戒兵ノ位置ハ良好ニ遮蔽セラレ敵ノ偵察ヲ妨

害シ我搜索ノ據點タルニ適スル如ク選定シ爲シ得レバ之ニ必要ノ工事ヲ施スモノトス各部隊ノ豫備隊ハ主トシテ逆襲ヲ以テ其ノ地區ノ防禦ヲ全カラシムベキモノナリ從テ其ノ位置ハ戰況ト地形トニ應ジ努メテ之ヲ適合スル如ク選定スベシ

### 第三百六十四 防禦工事ハ唯一帶ノ陣地ヲ最堅固ニスベキモノニシテ第

一線部隊ノ間隙及前地ハ互ニ有效ニ側防シ得ルヲ必要トス之ガ爲要スレバ其ノ間隙ニ一部隊ヲ配置スルコトアリ

第一線部隊ノ工事ハ敵砲火ノ損害ヲ顧慮シ我指揮ヲ阻害セザルヲ度トシ小部隊毎ニ分置シ獨立シテ其ノ陣地ヲ支持シ得セシムル如クスルト緊要ナリ

後方部隊モ又敵火ノ損害ヲ顧慮シ適宜之ヲ分散シ所要ノ工事ヲ施スモノトス

交通設備特ニ交通壕ハ縱方向ノミナラズ橫方向ニモ之ヲ設ケ陣地内部ノ運動ヲ安全ニシ且連絡ヲ容易ナラシムルモノニシテ敵ノ縱射ヲ避クル如ク經始スルト共ニ陣地要點ノ所在ヲ敵ニ察知セラレザルコトニ注意スベシ

## 前進陣地

### 第三百六十五 前地ニ於ケル要點ノ過早ニ敵手ニ歸スルヲ妨ゲ敵ヲシテ

其ノ展開方向ヲ誤ラシメ或ハ敵ノ我陣地ニ近接スル動作ヲ困難ナラシムル等ノ目的ヲ以テ陣地前方ニ一時前進陣地ヲ占領スルコトアリ之ガ爲用フル兵力ハ其ノ目的及地形等ニ依リ差アルモ必要ノ最小限度ニシムルヲ要ス

### 第三百六十六 陣地ノ設備ニ當リテハ指揮官ハ成ルベク速ニ陣地ノ後方

ニ於ケル通路ヲ補修又ハ新設シ以テ軍隊ノ移動及彈藥ノ補給等ニ便ナラシムルコト緊要ナリ



**第三百六十七** 陣地ノ選定、工事ノ築設、交通網ノ設備、軍隊ノ配置共

ニ適當ナルニ從ヒ守備ニ當ツベキ兵力愈節約セラレ攻勢移轉ニ用フベキ豫備隊益強大トナリ勝利ノ基礎ヲ確實ニスルモノトス

**第三百六十八** 多數ノ彈藥ヲ準備スルコトハ防禦ニ於テ特ニ緊要ニシテ豫備彈藥ヲ豫メ各部隊ニ配給スルヲ便トスルコト多シ

**第三百六十九** 防禦戰團ノ經過ハ主トシテ攻者ノ動作ニ從ヒ發展スルモノナリ然レドモ防者ハ常ニ各種ノ手段ヲ盡シテ敵情ヲ明ニシ以テ我企圖ノ遂行ニ努ムルコト必要ナリ之ガ爲配置スベキ監視及觀測ノ諸機關ハ指揮官ニ於テ之ヲ統一シテ間隙ヲ生ゼシメザルヲ要ス

**第三百七十** 敵兵我ニ近接シ來ルヤ警戒兵ハ爲シ得ル限り敵ノ偵察ヲ妨害シ極力敵情ヲ搜索シテ其ノ攻撃ニ關スル企圖ヲ偵知スルコトヲ努ムベシ警戒兵ノ撤退ニ際シテハ本陣地ヲ占領スル我部隊ノ射撃ヲ妨ゲザ

## 警戒兵ノ行動

ルコトニ注意スベシ

## 守兵配

**第三百七十一** 守兵ヲ陣地ニ配置スルコト早キニ過グルトキハ敵情ニ應

ジ配備ヲ變更スルコト難ク遂ニ工事ノ爲ニ配備ヲ左右セラルルノ懸念アルノミナラズ敵ニ對シ陣地ヲ暴露シ且無益ノ損害ヲ被ルノ害アリ若シ機ニ遅ルルトキハ敵ヲシテ損害ナク我ニ近ヅカシムルノ不利アリ而シテ其ノ適當ナル時機ハ陣地ノ各部同ジカラザルヲ以テ好機ニ於テ守兵ヲ配置スルハ各地區ニ於ケル部隊長ノ責任トス

**第三百七十二** 戰團間各部隊長ハ努メテ通信機關ヲ完備シ適時其ノ方面ノ情況ヲ指揮官ニ通報スルコト肝要ナリ是レ指揮官ヲシテ戰況ヲ適時ニ判斷シ特ニ攻勢移轉ノ好機ヲ發見シ得セシムルニ最必要ナルヲ以テナリ又隣接友隊モ必要ナル情報ヲ互ニ通報スベシ

**第三百七十三** 射撃ニハ敵兵我有効射撃界内ニ現ハルルヲ待チテ開始ス

而シテ敵兵漸次近接スルニ從ヒ益沈著シテ各種火器ノ特性ヲ充分ニ發揚シ我陣地前ニ於テ敵ヲ擊滅スルコトヲ努ムベシ

敵ハ往々煙霧ニ蔽ハレテ近迫シ來ルコトアリ此ノ場合ニ於テハ最近距離ニ於テ猛烈ナル火力ヲ瞬時ニ發揚シ速ニ敵ヲ擊破スルコトヲ努ムベシ

### 第三百七十四

指揮官ハ豫定ノ計畫ニ基キ又ハ守兵ノ射擊ニ依リ敵ノ攻撃頓挫シタルトキ或ハ敵ノ過失ヲ發見シタルトキハ直ニ豫備隊ヲ使用シ攻勢ニ轉ズベシ又戰鬪ノ經過中途ニ乘ズベキ機會ナク敵兵我陣地前數米ノ距離ニ近迫セバ斷然猛烈ナル攻勢移轉ヲ決行スベシ

攻勢移轉ハ敵ノ主力ヲ我陣地ノ正面ニ拘束シ豫備隊ヲ以テ其ノ翼側若ハ側背ニ向ヒ包圍ヲ行フヲ得バ最有利ナリト雖モ陣地前ニ於テ我火力ヲ以テ敵ニ損害ヲ與ヘタル時機ヲ利用シ正面ヨリ攻勢ニ轉ズルヲ利ト

スルコト亦少カラズ

此ノ際機銃隊ハ主トシテ我攻勢地帯ニ於ケル敵ニ猛烈ナル火力ヲ集中シ以テ最有效ニ銃隊ヲ援助スベシ之ヲ爲該方面ニアル銃隊ノ長ハ機銃隊ノ長ト豫メ必要ナル協定ヲ爲シ且確實ナル連絡ヲ保持スルヲ要ス

### 第三百七十五

敵ノ攻撃我陣地前ニ於テ頓挫シタルトキハ第一線部隊長ハ全般ノ情況ニ鑑ミ決然逆襲ヲ行ヒ敵ヲ擊滅スベシ此ノ際指揮官ハ第一線部隊逆襲ノ成果ヲ利用シ攻勢移轉ノ動機タラシムルニ努ムルコト肝要ナリ

### 第三百七十六

敵兵愈近迫セバ陣地ニ在ル守兵ハ有ラン限りノ火器ヲ使用シテ敵ヲ猛射シ敵兵數歩ノ地ニ來ルトキハ銃劍ヲ揮ヒテ奮闘シ敵ヲ擊退スベシ又機銃隊ハ假令至大ノ損害ヲ被ル敢モテ意トスルコトナク至便ノ位置ニ就キ猛烈ナル射擊ヲ決勝方面ニ集中スベシ

**第三百七十七** 敵兵若シ我陣地ニ突入セバ其ノ守兵ハ沈著シテ最後迄奮闘シ後方ニ在ル部隊ハ敵ノ混亂ニ乗ジ果敢ナル逆襲ヲ行ヒ敵ヲ擊破スルコトヲ計ルベシ而シテ此ノ逆襲ハ敵ノ不意ニ乗ジ且成ルベク側背ニ向ヒ急襲のニ實施スルヲ得バ最有利ナリ此ノ際後方ニ在ル部隊長ノ機宜ニ適スル處置ヲ要スルコト特ニ多キモノトス

**第三百七十八** 單ニ地ヲ固守スルヲ目的トスル防禦ニ在リテハ成ルベク敵ノ攻撃ヲ阻害スベキ地形地物ヲ利用シ且諸種ノ障礙物ヲ設置シ各方面ニ對シ堅固ニ工事ヲ施シ全力ヲ盡シテ之ヲ死守スルモノトス然レドモ苟モ逆襲ノ好機ヲ得バ斷然之ヲ決行スルヲ要ス

**第三百七十九** 決戰ヲ避ケ時間ノ餘裕ヲ得ルヲ目的トスル防禦ニ在リテハ成ルベク敵ヲ遠距離ニ支持スルヲ可トス

持久防禦

追擊及退却

## 第四章 追擊及退却

**第三百八十** 凡ソ戰勝後ニ於テハ一般ノ狀態ハヤヤモスレバ現況ニ眩惑シテ半途ノ成功ニ甘ジ或ハ體力ノ疲勞ニ堪ヘズシテ果敢ナル追擊ヲ躊躇シ戰勝ノ成果ヲ充分完フセザルコトアリ故ニ各部隊長ハ敵ノ退走ヲ察知セバ直ニ猛烈ナル追擊ヲ始メ之ヲ窮追シ敵ヲ全滅ニ陥ラシメ戰勝ノ效果ヲ完フスルコトヲ努ムベシ

敵兵退却ヲ行ハントスルニ當リテハコトサラニ一部隊ヲ以テ我ニ向ヒ逆襲シ其ノ機ニ乗ジテ戰場ノ離脱ヲ計ルコトアリ夜間又ハ濃霧ノ際ニ於テ特ニ然リ此ノ如キ場合ニ於テハ其ノ逆襲ニ引カレテ追擊ノ好機ヲ逸スルガ如キコトナキヲ要ス

**第三百八十一** 敵兵退却スルノ兆候アルトキハ諸種ノ手段ヲ盡シテ敵情

ヲ偵知スルコトヲ努メ以テ敵ヲ逸セザルヲ必要トス之ガ爲前線ニ在ル各部隊長ハ益敵ト接觸ヲ密ニシ常ニ之ヲ捕捉スルノ用意ヲ嚴ニシ假令戰況一時中絶ノ状態ニ在ル場合ニ於テモ機ヲ失セズ攻撃ヲ斷行スルコトニ躊躇スベカラズ此ノ際指揮官ハ速ニ追撃ヲ準備シ要スレバ全敵ノ情況ヲ觀察シ直ニ追撃ヲ決行スベシ

**第三百八十二** 敵ヲ撃退シタル各部隊ハ一部ヲ以テ追撃射撃ヲ行フト共ニ主力ヲ以テ直ニ追撃前進ニ移リ飽クマデ敵ニ肉薄シ以テ之ヲ全滅ニ陥ラシムベシ此ノ際猛烈ナル前進ト適切ナル射撃トニ依リ敵ヲシテ隨意ニ停止シ或ハ其ノ部隊ヲ整頓スルコトヲ得ザラシムルトキハ敵ヲ混亂ニ陥レ追撃ノ成果ヲ完フスルヲ得ベシ

追撃ニ際シ指揮官ハ各部隊ノ掌握ニ努メ成ルベク多數ノ道路ヲ利用シテ追撃ヲ決行シ以テ敵ノ退路遮斷ヲ計ルベシ此ノ際敵ノ側背ニ向ヒ有カナル一部隊特ニ機銃ヲ以テ武装セル自働車等ヲ使用スルヲ得バ最有利ナリ又要スレバ工作隊ヲ急進セシメ進路上ノ障礙ヲ除去シ追撃隊ノ前進ヲ遲滞セシメザルコトヲ肝要ナリ

**第三百八十三** 戰鬪後ハ勝者ノ疲勞大ナリト雖モ敗者ハ體力氣力共ニ其ノ疲勞ハ一層甚ダシク殆ド極度ニ達スルモノナルガ故ニ勝者ハ部隊ノ損傷、整頓等ニ拘束セラルルコトヲ一意追撃ヲ敢行シ以テ最終ノ勝利ヲ完フスベシ此ノ際各部隊長ハ部下ニ對シ過激ノ動作ヲ要求スルコトニ躊躇スベカラズ

追撃ニ際シテハ各部隊長ハ特ニ大膽ナル行動ニ出デ獨斷事ヲ處スルコト必要ナリ

彈藥補充ノ適否ハ追撃能力ニ至大ノ影響ヲ與フルモノナリ故ニ各部隊長ハ常ニ之ガ補充ニ最善ノ努力ヲ爲スヲ要ス機銃隊ニ於テ特ニ然リト

## 退却

## 第三百八十四

ス

戰闘ノ經過不利ナルトキハ決戦ヲ以テ之ヲ挽回スベキヤ  
又ハ戰闘ヲ斷念スベキヤハ指揮官適當ノ時機ニ於テ之ヲ決セザルベカ  
ラズ

退却ニ決シタル際尙豫備隊ヲ有スルトキハ適當ニ部署ヲ爲シ得ルモノ  
トス然レドモ勝利ヲ求メンガ爲豫備隊ヲ使用スルコトナク退却掩護ノ  
爲之ヲ控置スルハ大ナル過失ニ屬ス

退却ハ情況之ヲ許サバ爲シ得ル限り夜暗ヲ利用スルヲ可トス

退却ヲ行フトキハ指揮官以下特ニ沈著シテ行動スルコト必要ナリ

## 第三百八十五

退却戰闘ヲ指揮スルノ要ハ速ニ敵ト離隔スルニ在リ之ガ  
爲指揮官ハ成ルベク必要ナラザル附屬部隊ヲ先ヅ退却セシメ各部隊ニ  
ハ明確ニ行進目標要スレバ行進路若ハ行進地區、退却開始時期、收容

部隊及收容陣地ヲ示シ敵ノ迂回ニ對スル警戒ノ處置ヲ講ジ退却ノ實行  
ヲ認メタル後適宜ノ地ニ先行シ退却シ來ル部隊ヲ待チ更ニ爾後ノ處置  
ヲ爲スベシ其ノ他ノ事ハ主トシテ各部隊長ノ任トス

收容陣地ハ一般ノ情況ヲ顧慮シ成ルベク退路ノ側方ニ選ビ以テ退却ス  
ル部隊ヲシテ其ノ掩護ノ下ニ集合シ且出發シ得セシメザルベカラズ

收容部隊ニハ成ルベク新銳ナル兵力ヲ用フベシ而シテ此ノ收容部隊直  
ニ後衛トナルコトヲ得バ大ニ有利ナリ

## 第三百八十六

戰線ニ在ル各部隊モ亦要スレバ自己ノ兵力ヲ以テ前線ヲ  
收容スベシ其ノ陣地ハ爲シ得レバ退路ノ側方ニ選ビ其ノ火力ニ依リ敵  
ノ急迫ヲ妨ゲ或ハ情況ニ依リ逆襲ヲ行ヒ以テ前線ヲシテ混亂ニ陥ラシ  
メザルコト必要ナリ

各部隊ハ敵ノ追撃ヲ受ケザルニ至ラバ成ルベク速ニ部隊ヲ集結シテ通

常指揮官ノ位置ニ集合スルモノトス

**第三百八十七** 既ニ後方部隊ヲ存セザルカ又ハ敵ニ擊退セラレタルトキハ通常唯現在ノ隊形ヲ以テ正面ト直角ノ方向ニ退却シ得ルニ過ギザルモノトス

**第三百八十八** 退却スル部隊收容部隊ヲ援助センガ爲濫ニ敵ニ正面スルトキハ却テ危地ニ陥リ爲ニ敵トノ離脱ヲ困難ナラシムルニ至ルコト多キモノトス

**第三百八十九** 退却ニ當リ機銃隊ハ損害ヲ顧ミルコトナク我銃隊ニ最危害ヲ與フル敵ヲ射撃シ以テ友隊ヲシテ敵ト離脱セシムルコトニ努力スベシ此ノ際ニ於ケル機銃隊ノ犠牲的行動ハ其ノ效果特ニ顯著ナルモノトス

工作隊ハ道路ヲ遮斷シ敵ノ前進ヲ妨害スルノミナラズ情況ニ依リ各種

交通、通信機關、建築物等ノ破壊ニ任ズルコトアリ

**第三百九十** 戰場ヲ離脱スル爲ニハ交戦最激烈ナル所ニ於テ最長ク抵抗スルヲ原則トス又我企圖ヲ秘匿センガ爲時トシテ一部隊ヲ以テ猛烈果敢ナル逆襲ヲ行ヒ其ノ機ヲ利用シテ敵ト離脱スルヲ可トスルコトアリ

## 第五章 夜 戰

### 第一節 攻 擊

夜間攻

**第三百九十一** 夜間ハ兵力及企圖ヲ秘シ損害ヲ避ケテ敵ニ近接シ敵ノ不意ニ乗ズルヲ得ル利アリ然レドモ通視困難運動不便ナルヲ以テ指揮並ニ各部隊ノ協同困難ニシテ往々錯誤ヲ生ジ易キコトアリ而シテ精銳ニシテ夜間ノ行動ニ習熟セル軍隊ハ能ク此ノ害ヲ除キテ其ノ利ヲ收メ特

ニ寡兵ヲ以テ衆敵ニ對シ奏功ヲ期シ得ルモノナリ

**第三百九十二** 敵ヲ奇襲セントスルトキ殊ニ敵ニ有力ナル砲隊、乘馬隊、飛行機等ヲ有スルトキハ夜間攻撃ヲ行フヲ有利トスルコト多ク不正規軍ニ對シテハ特ニ有效ナリ

**第三百九十三** 夜間攻撃奏功ノ祕訣ハ企圖ヲ祕シ、計畫準備ヲ綿密ニシテ遺漏ナカラシメ、兵力ノ分散ヲ避ケ、實施ノ方法ヲ成ルベク簡單ニシ、各部隊ノ連絡ヲ確實ニ保チ、靜肅ニ行動シ、銃劍ヲ揮ヒ堅確ナル意志ヲ以テ一舉ニ決戰ヲ求ムルニ在リ夜間攻撃ハ情況特ニ之ヲ要スレバ假令晝間充分ナル準備ヲ爲シ得ザル場合ニ於テモ尙諸種ノ手段ヲ盡シテ之ヲ遂行セザルベカラズ

**第三百九十四** 夜間攻撃ヲ實施スベキ時刻ハ一般ノ情況特ニ我目的ニ依リ變化スルモ克ク敵ノ狀態ヲ洞察シテ其ノ虛ニ乘ジ得ル如クスルコト肝要ナリ而シテ之ヲ日没直後ニ選ブトキハ攻撃成功後ノ處置竝ニ其ノ成果ノ利用困難ナレドモ敵ヲシテ晝間受ケタル損害ヲ整理シ配備ヲ變更スル餘裕ナカラシムルノ利アリ

又之ヲ夜明ケ前ニ選ブトキハ近接運動困難ナレドモ敵ノ警戒嚴ナラザル時機ニ乘ズルヲ得且攻撃成功後ノ處置追撃等容易ナリ若シ又夜半ニ選ブトキハ其ノ利害略兩者ノ中間ニ在リ

**第三百九十五** 夜間ノ接敵運動ニハ努メテ單一ニシテ前進容易ナル隊形ヲ選ブヲ要ス大隊ニ於テハ地形之ヲ許ストキハ併立縱隊ノ中隊ヲ二線若ハ三線ニ配列シ近ク前方及側方ニ警戒兵ヲ以テ警戒幕ヲ張りタル隊形ヲ可トスルコト多シ

**第三百九十六** 夜間ハヤヤモスレバ方向ヲ誤リ易シ故ニ行進方向ノ維持ハ指揮官ニ於テ統一シ成ルベク天然又ハ人爲ノ地物ニ依リ其ノ方向ヲ

定メ或ハ晝間ニ豫メ前方若ハ後方ニ前進ノ基準ヲ標示シ選抜セル將校ヲ先行シテ嚮導セシム前進ノ標示ニハ綱、標兵、燈火、星、羅針或ハ識別シ易キ色ノ物件等ヲ用フ燈火ヲ用フルトキハ敵ニ認識セラレザルコトニ注意スルヲ必要トス

**第三百九十七** 夜間攻撃ニ於テハ味方識別及幹部識別ノ爲所要ノ標識ヲ爲シ或ハ合ヒ言葉ヲ定メ置クヲ可トスルコトアリ

又敵ノ照明裝置、障礙物破壞等ノ配置ヲ定メ置クヲ可トス

**第三百九十八** 夜間ノ接敵ニ於テ靜肅ヲ保ツコトハ極メテ肝要ナリ之ガ爲音響防止ニ對シ充分手段ヲ盡スヲ要シ又ハ裝填ハ一般ニ之ヲ爲サシメザルヲ可トスル場合多シ

**第三百九十九** 夜間ノ攻撃ニ在リテハ指揮官ハ爲シ得ル限り手段ヲ盡シテ精細ナル計畫ヲ定メ成ルベク晝間ニ於テ各部隊長ヲ集メ之ニ命令ヲ

下シ諸準備ヲ爲サシムベシ其ノ命令ニハ特ニ各部隊ノ攻撃目標、行進地域若ハ行進路、相互ノ連絡及識別法竝ニ攻撃奏功後ノ處置等ヲ明示スベシ

**第四百** 夜間ノ接敵ニ於テ敵ノ有效射撃ヲ受クルカ又ハ照明セラレタルトキハ其ノ效力及注意ヲ減殺スル爲一時停止スルヲ可トスルコト多シ然レドモ情況ニ依リ直ニ突撃ヲ斷行スルヲ可トスルコトアリ

**第四百一** 夜間敵前ニ於テ突入ノ爲隊形ヲ變ジ各隊ヲ部署スルコトハ困難ナリ故ニ隊形ノ變換等ハ成ルベク避クルヲ可トスレドモ若シ之ヲ要スルトキハ其ノ位置ヲ適當ニ選定スルコト肝要ナリ

**第四百二** 夜間突入ニ際シテハ第一線ニ近ク豫備隊ヲ從ヘ火線ヲ行フコトナク不意ニ突撃ニ移ルヲ可トシ銃火ヲ交ヘタル後突入スルハ特別ノ場合ニ限ルモノトス是レ夜間ノ射撃ハ其ノ效果少キノミナラズ却ツテ



我企圖ヲ暴露シ行進ヲ遲滯シ且樂々ノ氣勢ヲ殺グノ不利アレバナリ

**第四百三** 夜戰ニ於テ突入ノ時機ハ通常指揮官之ヲ令スルモノトス

突入ニ當リ各部隊ハ隣接部隊ト協同シ各團結シテ奮闘スベシ此ノ際指揮官ハ通常豫備隊ノ位置ニ在リテ其ノ使用ヲ適切ナラシメ過早ニ豫備隊ヲ亂闘ノ渦中ニ投ゼザル如ク注意スルコト必要ナリ

**第四百四** 夜間ノ攻撃奏功セバ速ニ各部隊間ノ連絡ヲ確保シ奪取シタル陣地ノ占領ヲ確實ニシ敵ノ回復攻撃ニ備ヘ敵情偵察ヲ繼續シ且爾後ノ行動ヲ準備スベシ

## 第二節 防禦

夜間防禦

**第四百五** 夜間防者ハ特ニ警戒ヲ嚴ニシ搜索ヲ周到ニシ且前地ヲ照明スル等諸種ノ手段ヲ盡シテ敵ノ近接ヲ警ムルノミナラズ必要ニ應ジ第一

線ノ守兵ヲ増加シ且豫備隊ヲ第一線ニ近ク位置セシメ又陣地ノ守兵ハ敵ノ攻撃ニ對シ最有利ニ我火器ノ效果ヲ發揚シ得ル如ク豫メ夜間射撃ノ設備ヲ爲シ特ニ機銃ハ敵ノ必ズ通過セザルベカラザル小地區等重要部ヲ射撃シ得ル如ク準備シ且所要ノ補修作業ヲ行フヲ要ス而シテ敵兵我陣地ニ近接シテ工事ヲ爲スカ又ハ其ノ準備行動ヲ偵知セバ小部隊ノ出撃若ハ陣地ヨリ行フ射撃ニ依リ之ヲ妨害シ又敵兵我障礙物ヲ破壞セントスルヲ偵知セバ之ヲ擊退スベシ

**第四百六** 夜間攻撃ヲ受クルニ際シ新ニ軍隊ヲ部署セントスルトキハ多クハ混雜ヲ來スモノトス故ニ夜間敵ノ攻撃ヲ豫察シタルトキハ所要ノ守兵ヲ火線ニ就カシメ照明ノ處置ヲ講ジ又近ク後方部隊ヲ備ヘ要スレバ之ヲ分置シ速ニ前線ヲ増援シ得ベキ處置ヲ施スヲ要ス

**第四百七** 夜間ノ防禦ニ在リテハ適時ニ比隣部隊ノ協同ト後方部隊ノ援

助トヲ期シ得ザルガ故ニ各部隊ハ特ニ斷乎タル決心ヲ以テ各其ノ位置ヲ固守シ火線ノ守兵ハ敵兵我陣地ノ直前ニ來レルトキ之ニ猛烈ナル射撃ヲ加ヘ或ハ手榴彈ヲ投ジ其ノ隊伍ノ動搖スル瞬間ニ於テ銃劍ヲ揮ヒ之ヲ擊滅スベシ此ノ際一小部隊ト雖モ敵ノ側背ヲ攻撃スルニ努ムルヲ要ス然レドモ輕擊ニ陣地ヲ棄テテ全力ヲ以テ追撃ニ移ルコトハ之ヲ戒メザルベカラズ

敵兵我陣地ニ侵入セバ當該方面ノ隊長ハ直ニ猛烈ナル逆襲ヲ決行シ之ガ回復ニ努ムベシ

**第四百八** 夜間ノ防禦ニ在リテハ戰團ハ通常各局所ニ於テ惹起スルヲ以テ各級指揮官ハ冷靜ニ戰況ヲ判斷シテ戰團ヲ指導シ要スレバ適時其ノ豫備隊ヲ第一線ニ増加シ若ハ之ヲ逆襲ニ使用スル等極力陣地ノ保持ヲ完カラシムルヲ要ス

### 第三節 追撃及退却

夜間ノ追撃

#### 第四百九

敵兵夜暗ヲ利用シテ退却スルヲ察知セバ前線ニ在ル各部隊長ハ敵ノ殘置部隊ヲ擊破シテ獨斷追撃ヲ決行スベシ此ノ際指揮官ハ機ヲ失セズ追撃ヲ部署スルコト必要ナリ

夜間ノ追撃ニ當リ指揮官ハ部隊ノ掌握及連絡ニ努ムルコト特ニ肝要ナリ

夜間ノ退却

#### 第四百十

夜間退却ヲ行ハントスルニ當リテハ豫メ晝間ニ於テ敵ニ秘シ爲シ得ル限り諸準備ヲ整ヘ其ノ實施ヲシテ遊滯ナカラシムルコト緊要ナリ

夜間退却ノ準備及實施ハ諸種ノ手段ヲ盡シテ之ヲ秘匿スルコト肝要ナリ之ガ爲敵ニ近キ場合ニ於テ通常ハ各部隊ヲシテ敵ニ現狀變化ノ感ヲ

起サシメザル如ク第一線ニ於ケル諸要點ニ僅少ノ部隊ヲ殘置シ以テ主力ノ退却ヲ掩護セシムルヲ要ス又我企圖ヲ秘匿シ或ハ敵ヲ欺ク爲一部隊ヲ以テ敵ヲ夜襲セシムルコトアリ而シテ殘置セル部隊ノ退却時機ハ退却ノ難易及爾後ノ企圖ヲ顧慮シ通常指揮官之ヲ命ズルモノトス夜間ノ退却ハ多ク道路ヲ利用シテ後退シ次デ漸次所命ノ退却路上ニ移リ行軍縱隊ヲ編成スルヲ有利トス

## 第六章 敵前上陸及退岸

### 要旨

#### 要旨

**第四百十一** 陸戰隊敵前ニ於テ上陸ヲ企圖スルトキ又ハ上陸中ニ於テ敵ノ妨害ヲ受クル懸念アル場合ニハ上陸即戰闘ノ覺悟ヲ以テ實施スルヲ

要ス

**第四百十二** 敵前上陸ハ計畫ヲ綿密ニシ、準備ヲ周到ニシ、我企圖ヲ秘シ若ハ陽動ニ依リ敵ヲ欺キ其ノ不意且不備ニ乘ジ急襲的ニ決行スルコト特ニ緊要ナリ

**第四百十三** 陸戰隊上陸ニ先キ陸上ノ敵情、地形、障礙物、航路、潮汐等ヲ探知スルコトハ最重要ニシテ之ガ爲航空機、艦艇等ヲ用ヒ情況ノ許ス限り手段ヲ盡スタ要スト雖モ多クノ場合困難若ハ不利ヲ伴ヒ充分明瞭ナラザルモノトス斯ノ如キ情況ニ於テ上陸セントスルトキハ指揮官ハ全般ノ情況ニ基キ適當ナル判斷ヲ下シ充分ノ準備ヲ以テ一意斷行スルヲ要ス

**第四百十四** 敵前上陸ハ特ニ規定スルモノノ外概ネ攻撃ノ要領ニ依リ之ヲ實施スルモノトス

第四百十五 陸戰隊上陸中明ニ敵襲ノ懸念ナキ場合ニハ使用短艇、乘艇區分、群艇ノ隊形、航路、運動法、上陸ノ時機、上陸點及上陸法等ハ總テ保安其ノ他便宜ニ從ヒ實施スルモノトス

### 第一節 上陸計畫

第四百十六 陸戰隊上陸スルニハ其ノ指揮官ハ豫メ上陸點及上陸時機、群艇ノ編制、集合點、集合時刻、航行隊形、上陸部署、陽動、掩護射撃、通信連絡、規約信號等ニ就キ計畫ヲ立テ且所要ノ命令ヲ下シ各部隊ヲシテ其ノ任務ヲ知悉セシメ且情況ノ許ス限リ上陸戰團ノ訓練ヲ行フヲ肝要トス

第四百十七 上陸計畫ニ於ケル上陸點、上陸時機等ニ關シテハ敵情及天候等ヲ顧慮シ各種ノ情況ニ即應シ得ル如ク通常數案ヲ計畫シ之ガ決定

### 上陸點

及發令ノ時機方法等ニ關シ特ニ深甚ノ注意ヲ要ス

第四百十八 上陸點ハ陸戰隊ノ目的ニ適合シ且地形ニ應ジ左ノ諸項ヲ考慮シテ適當ナル地點ヲ選定スベキモノトス

- 一、海陸兩方面共敵ノ妨害ヲ受クル懸念少キコト
- 二、航路、風潮、地形等ノ關係上上陸短艇ノ往復達著ニ便ナルコト
- 三、上陸海岸ハ適當ナル廣サヲ有シ成ルベク多數ノ部隊同時ニ達スルヲ得ルト共ニ部隊ノ行動自由ナルコト

四、上陸後直ニ占據スルニ適當ナル陣地ヲ有スルコト

五、艦艇ヨリ掩護射撃ヲ爲スニ便ナルコト

### 上陸時

第四百十九 上陸ノ時機ハ情況ニ依ルベキモノナレドモ多クノ場合夜明ケ頃陸岸ニ溜スル如ク選定スルヲ可トス是レ我企圖ヲ敵ニ祕シ損害ヲ減少シ且上陸後適當ナル處置ヲ爲スニ便ナレバナリ而シテ如何ナル場

合ニ於テモ成ルベク不意ニ決行スルヲ要ス

**第四百二十** 陸戰隊ノ使用短艇及乘艇區分ハ保安上差支ナキ限り戰術上ノ要求ヲ顧慮シ概ネ左ノ標準ニ依リ定ムルモノトス

一、乘艇ノ爲成ルベク部隊ノ建制ヲ破ラザルコト

二、戰闘部隊ニハ成ルベク輕快ナル短艇ヲ充當スルコト

三、戰闘部隊及上陸時ノ戰闘ニ必要ナル附屬隊ハ第一次ニ成ルベク多

數同時ニ上陸シ得ルコト

四、戰闘部隊ノ曳船ニハ成ルベク機銃裝備艇ヲ使用スルコト

五、一機動艇ニテ曳船スル短艇群ハ一個中隊ヲ越エザルコト

六、陸戰隊本部ノ爲特別ノ機動艇ヲ使用スルコト

七、短艇ハ上陸部隊ノ建制及運動ノ難易等ヲ考慮シ上陸部署ニ適應スル如ク之ヲ適當ノ群ニ編制ス

短艇ニ防楯ヲ準備セバ有效ナルコト多キモノトス

又乘艇ノ際ハ特ニ射撃ヲ準備スルモノノ外通常銃口蓋ヲ懸ク

### 集合點

**第四百二十一** 二艦以上聯合シテ陸戰隊ヲ派遣スル場合ニハ情況之ヲ許

サバ旗艦又ハ指示艦若ハ指示地點ニ集合シ要スレバ編制ヲ行ヒ且必要ナル命令ヲ與フルモノトス

### 航行隊形

**第四百二十二** 上陸群艇ハ敵火ヲ蒙ル懸念ナキトキハ航路風潮ヲ顧慮シ

運動ニ便ナル如ク通常縱長ノ隊形ヲ取ルヲ可トシ敵火ヲ蒙ラントスルニ至ラバ其ノ損害ヲ減少スル爲橫廣ノ隊形ヲ取ルヲ可トスルコト多シ群艇群ノ隊形モ概ネ右ノ要領ニ準ズ即チ運動ニ便ナル爲ニハ縱陣列ヲ用ヒ敵彈ニ對スル被害又ハ上陸隊形ニ移ルニ便ナル爲ニハ橫陣列ヲ用フルモノトス

### 上陸部隊

**第四百二十三** 敵前上陸ハ成シ得ル限り多數一齊ニ上陸ヲ強行スルヲ願

則トス但シ當時ノ情況特ニ敵情地形及上陸用短艇ノ數等ニ依リ第一編部隊及上陸時ノ戰鬪ニ直接必要ナル附屬隊ヲ第一次ニ上陸セシメ其ノ他ノ部隊ハ其ノ掩護ノ下ニ上陸セシムルヲ可トスルコトアリ  
上陸部署ニ於テ各部隊ノ上陸スベキ海岸及上陸直後ノ任務ヲ與フルコトハ極メテ肝要ナリ

## 陽動

**第四百二十四** 上陸軍ニ對シ沿岸ヲ警戒シアル敵ハ通常沿岸各要地ニ所要ノ監視兵ヲ配シ主力ハ何レノ上陸點ニ對シテモ進出容易ナル後方ノ要點ニ集結シアルベキガ故ニ主力ノ上陸ヲ容易ナラシムル爲牽制陽動ヲ行フヲ有利トスルコト多シ此ノ場合指揮官ハ其ノ目的、時機、方法及使用兵力等ニ關シ慎重考慮スルヲ要ス

## 掩護射擊

**第四百二十五** 掩護射擊及爆撃ノ實施ニ關シテハ豫メ周密ナル協定ヲ遂ゲ置クヲ要ス特ニ海、陸、空通信連絡ノ迅速確實ヲ期スルコト肝要ナリ

## 通信連絡

**第四百二十六** 敵前上陸ニ於ケル通信連絡ハ極メテ重要ナルニ拘ラズ之ガ實施ニ當リ往々ニシテ錯誤不通ヲ生起シ易シ故ニ指揮官ハ豫メ協定及計畫ヲ周到ニ爲シ置クコト緊要ナリ

## 規約信號

**第四百二十七** 規約信號ハ是非必要ノモノノミニ付キ最簡單ニ規定スルヲ要ス而シテ通常短艇隊ノ運動、敵情ノ通報及掩護射擊等ニ關スルモノニ就キ規定スルヲ例トス

## 上陸ノ實施

### 第二節 上陸ノ實施

**第四百二十八** 各群艇集合點ニ集結ヲ完了セバ指揮官ハ發進ヲ令ス各群艇ハ指揮官ノ乘艇ヲ基準トシ航行隊形ヲ制リ航進ヲ起ス而シテ陸岸ニ近接セバ令ニ依リ橫廣ノ隊形トナリ全速直行運動ヲ以テ陸岸ニ向ヒ突

進ス此ノ際各艇ハ徒ニ相互ノ連繫ニ拘泥スルコトナク最機敏ニ行動スルコト肝要ナリ

**第四百二十九** 群艇陸岸ニ近接シ敵ノ銃火ヲ被ルニ至ラバ機銃裝備艇ヲシテ敵ヲ射撃セシメ情況ニ依リ小銃ノ射撃ヲモ行ハシムルヲ可トスルコトアリ

上陸時ニ於ケル艦艇ノ掩護射撃竝ニ各種煙幕ノ使用ハ上陸部隊ノ行動ヲ容易ナラシムルモノトス

**第四百三十** 群艇陸岸ニ到着セバ最勇敢敏速ニ上陸シ各部隊ハ上陸後直ニ豫定ノ計畫ニ基キテ行動ヲ起シ又ハ現下ノ情況ニ應ジ戰鬪ヲ開始シ或ハ一部ヲ以テ要點ヲ占領シ主力ヲ集結シ斥候ヲ派遣シ敵情地形ヲ偵察シ爾後ノ行動ヲ準備スル等全般ノ情況ニ鑑ミ機敏ニ處置スルコト肝要ナリ

此ノ際指揮官ハ努メテ各部隊ヲ掌握シテ不統一ニ陥ラシメザルコトヲ注意スベシ

**第四百三十一** 陸戰隊上陸時ニ於テハ各部隊長ハ屢適時ニ命令ヲ受領シ難キコトアルヲ以テ全般ノ情況ニ鑑ミ速ニ機宜ノ處置ヲ爲スヲ要スルコト多シ

### 第三節 退岸

**第四百三十二** 退岸乘艇ハ略上陸竝ニ退却ニ準ジテ行フ然レドモ敵前ニ於ケル實施ハ多クノ場合上陸ニ比シ一層困難ナルヲ以テ細密ナル計畫ヲ以テ沈著ニ實施スルヲ要ス

**第四百三十三** 敵前ニ於ケル退岸乘艇ハ多クノ場合夜蔭ヲ利用シテ隱密ニ行フカ若ハ艦艇ノ有力ナル射撃ニ依リ掩護ヲ受ケツツ行フヲ通常ト

ス

第四百三十四 敵前ニ於ケル退岸乘艇ハ通常一部隊ヲ殘シテ要點ヲ占領セシメ其ノ掩護ニ依リ他ノ部隊ヲ乘艇セシム該掩護隊ハ多クノ場合艦艇ノ掩護射撃ニ依リ收容スルモノトス

## 第七章 山地、河川及森林ノ戰闘

第四百三十五 山地ハ其ノ廣サ高低等ニ依リ戰術上ノ價值ヲ異ニスト雖

モ一般ニ區域狹ク交通不便ニシテ運動容易ナラズ部隊ノ指揮ヲ困難ナラシム然レドモ兵力及運動ヲ敵ニ祕スルコトヲ得且寡兵ヲ以テ衆敵ヲ扼止スルコトヲ得ベシ又山地ノ戰闘ニ於テハ比隣部隊ノ協同動作ヲ期待シ難ク且豫備隊其ノ他兵力適時ノ移動又困難ナルヲ以テ部隊ニハ適宜獨立性ヲ附與シ又各級指揮官ノ獨斷ヲ要スルコト多キモノトス

## 攻山地ノ

第四百三十六 山地ノ戰闘ニ在リテハ攻防共ニ敵ヲ瞰制スベキ位置ヲ占

メ機銃ヲ利用シテ道路、谷及斜面ヲ射撃セシムベシ一部隊ト雖モ若シ最高處ヲ占ムルコトヲ得バ敵ノ動作ヲ觀察スルコト易ク其ノ士氣ヲ挫折セシムルノ利アリ

第四百三十七 山地ノ攻撃ニ在リテハ直接敵ヲ攻撃スルト共ニ特ニ迂回

ニ依リ其ノ目的ヲ達成スルニ努ムルヲ要ス而シテ情況之ヲ許セバ一部隊ヲ以テ正面ノ敵ヲ牽制シ大規模ノ迂回ヲ行フニ躊躇スベカラズ

攻撃ノ爲ニハ各部隊ハ敵方ニ通ズル道路、谷及稜線ヲ利用シテ隱密ニ敵ニ近接シ成ルベク死角ヲ利用シテ敵陣地ノ據點及緊要ナル鞍部ヲ奪取スルコトヲ努ムベシ此ノ際一部隊特ニ機銃隊ヲシテ山上ヨリ敵陣地ヲ射撃シ其ノ前進ヲ容易ナラシムベシ

一般ニ山地ハ通視困難且天候ノ影響大ナルヲ以テ奇襲ノ實施ヲ有利ナ



ヲシムルコト多シ

突撃部隊斜面ヲ攀ヅル際敵ハ往々逆襲ヲ試ムルコトアリ故ニ後方部隊ハ前線ニ近接シアルコト必要ナリ又一部隊特ニ機銃ヲ以テ後方高地ヨリ之ヲ掩護セシムルヲ有利トス

敵ニ大損害ヲ與ヘ得ルノ時機ハ通常敵ヲ山頂ヨリ驅逐シ得タル瞬間ニ在リ故ニ此ノ際ニ於ケル猛烈ナル追撃射撃ハ特ニ緊要ナリ機銃隊ノ一部ハ萬難ヲ排シ敏速ニ此ノ射撃ニ加ハルコトニ努ムベシ情況ニ依リ防者ハ其ノ主ナル抵抗線ヲ山頂ノ後方ニ選定シ攻者ノ山頂ニ達シタルトキ若ハ之ヲ越エテ前進スルトキ逆襲ヲ行フコトアリ故ニ攻者ハ山頂ニ達セバ機銃隊ヲ速ニ招致シ以テ之ヲ確保スルト共ニ前進ノ爲所要ノ準備ヲ整フルヲ要ス

第四百三十八 山地ノ防禦ニ在リテハ成ルベク陣地内ノ交通網ヲ整備シ

山地ノ防禦

適切ニ工事ヲ施シ敵方ニ通ズル諸道路ヲ特ニ堅固ニ守備スルヲ要ス若シ交通便利ナルトキハ各地區ニ備フベキ兵力ヲ減少シ大部ヲ豫備隊ト爲シ進出便利ナル位置ニ備フベシ是レ敵兵分離シアルニ乗ジ速ニ攻勢ニ轉ゼンガ爲ナリ

之ニ反シ交通不便ナルトキハ豫備隊ヲ數地ニ分置スルヲ可トス又最初ヨリ各地區ノ兵力ヲ増シ地區毎ニ獨立シテ戰闘セシムルヲ可トスルトアリ後者ノ場合ニ於テハ戰線ノ擴張ヲ免レズト雖モ山地ニ在リテハ局部ノ勝敗全般ニ波及スルコト比較的少キヲ以テ各地區毎ニ奮闘セバ終ニ全勝ヲ收ムルコトヲ得ベシ

何レノ場合ニ於テモ敵ノ迂回ニ注意スルコト緊要ニシテ特ニ長時日ノ防禦ニアリテハ通過容易ナラザル地區ト雖モ警戒ヲ怠ルベカラズ

第四百三十九 山地ノ防禦ニ在リテハ緊要ナル鞍部及山頂ヲ占領シテ谷

及斜面ヲ瞰射シ得ル如ク部隊ヲ配備シ特ニ死角ヲ側防スル設備ヲ爲スベシ之ガ爲機銃隊ノ適當ナル使用ハ效果大ナルモノトス  
山頂及山腹ニ設クル防禦工事ハ敵ノ集彈ヲ受ケ易キヲ以テ諸種ノ手段ヲ盡シ之ガ蔭蔽ニ努メザルベカラズ

敵兵攻撃シ來ラバ防者ハ充分ニ射撃ヲ加ヘ其ノ損害ト斜面ヲ登ル疲勞  
ニ依リテ混亂セルニ乘ジ猛烈果敢ニ逆襲シ之ヲ擊滅スルコトヲ努ム  
ベシ

攻撃ヲ受ケザル地區若ハ敵ヲ擊退シタル地區ノ守兵ハ比隣地區ヲ攻撃  
中ナル敵ノ側面若ハ背後ニ出デ之ヲ攻撃スベシ但シ若干ノ守兵ヲ陣地  
ニ殘シ置クコトニ注意スベシ

敵前ノ  
渡河ノ

第四百四十 敵前渡河ヲ行フニ當リテハ敵ノ意表ニ出ヅルコト最緊要ナ  
リ之ガ爲諸種ノ手段ヲ盡シテ敵情及地形ヲ明ニスルト共ニ我企圖ヲ秘

匿シ且渡河ノ準備ヲ周到ニシ一度渡河ヲ開始スルヤ迅速果敢ニ之ヲ遂  
行シ以テ其ノ成功ヲ確實ナラシメザルベカラズ

河川ノ  
防禦ノ

第四百四十一 河川防禦ノ要訣ハ敵ノ半渡ニ乘ジ攻勢ニ轉ズルニ在リ之

ガ爲豫想スル各渡河點ニ若干ノ警戒隊ヲ配置シ主力ハ之ヲ集結シテ敵  
兵假令何レノ方向ヨリ來ルモ直ニ應ジ得ベキ地ニ位置セシメ且手段ヲ  
盡シテ敵情ヲ搜索シ速ニ其ノ企圖ヲ偵知スルコトヲ努ムベシ而シテ警  
戒隊ハ敵ノ眞企圖ヲ看破シ且我主力ノ行動ヲ容易ナラシムル爲通常極  
力防禦スベキモノトス

河川ノ防禦ニ在リテハ敵ノ陽動ニ欺カレザル如ク注意シ眞面目ノ渡河  
ニ對シテハ速ニ之ニ應ゼザルベカラズ之ガ爲廣大ナル地域ニ互リ敵情  
ヲ搜索スルコト必要ナリ又交通連絡ノ設備ヲ完全ナラシムルコトニ努  
ムベシ

敵ノ利用スベキ橋ハ豫メ破壊ノ準備ヲ爲シ置クヲ緊要トス其ノ他渡渉場ヲ偵察シ又要スレバ敵ノ渡河ヲ困難ナラシムル爲所要ノ工事ヲ施スベシ

## 森林戰

第四百四十二 森林ノ戰闘ハ略住民地ノ戰闘ノ要領ニ準ズベシ

第四百四十三 林縁ニ進入セシ部隊ハ敵ト觸接ヲ失フコトナク且速ニ隊勢ヲ整へ連繫ト行進方向トヲ保チ森林ノ前線ニ到達スルコトヲ努ムベシ

但シ森林淺キトキハ其ノ前線マデ突撃ヲ繼續スベシ

森林内ヲ通過スルニ當リテハ特ニ方向ヲ誤ラザルコトニ注意シ且常ニ接戰ヲ準備スルヲ要ス之ガ爲第一線ノ各部隊ハ成ルベク集結シ其ノ正面前線スレバ側方ニ少數ノ散兵若ハ斥候ヲ配布スベシ

森林ノ前線ニ到達セシ部隊ハ林縁進出ニ際シ不意ニ敵火ノ集中ヲ蒙リ

又ハ逆襲ヲ被ラザル如ク注意スベシ

第四百四十四 防禦ニ於テ森林ヲ陣地トナス場合ニ於テハ識別シ易キ林

縁ヲ避ケ樹木ノ爲射撃ヲ妨害セラレザルヲ度トシ林縁ノ後方ニ散開セシムルヲ可トスルコト多シ然レドモ密林ニ在リテハ其ノ前方ニ散開シ森林ハ唯後方部隊ヲ蔭蔽スルニ用フルヲ通常トス敵兵林縁ニ侵入セバ其ノ混亂ニ乘ジ逆襲ヲ行ヒ之ヲ擊滅スルコトヲ努ムベシ

## 住民地ノ戰闘

## 第八章 住民地ノ戰闘

第四百四十五 住民地ノ戰闘ハ住民地内部若ハ住民地外周、住民地ノ大

サ、建築物ノ構造其ノ疎密及敵ガ砲隊ヲ有スルヤ否ヤ等ニ從ヒ其ノ趣キヲ異ニスベシト雖モ敵ニ對シ優勢ナル兵力ヲ有スルトキハ多クノ場合住民地外ニ於テ決戰ヲ求ムルコトニ努ムルヲ可トス是レ住民地ハ一

艘ニ運動、通視及通信不便ニシテ指揮並ニ協同困難ナルノミナラズ戰闘ノ進捗意ノ如クナラズ且兵力ヲ分散シ易キヲ以テナリ住民地ノ戰闘ニ於テハ各幹部ノ獨斷ヲ要スルコト極メテ多キモノトス

**第四百四十六** 住民地ハ敵眼特ニ航空機ニ對シ軍隊ヲ遮蔽シ得ル利アルモ瓦斯及空中攻撃ノ目標トナルコト多シ而シテ住民地ノ戰闘ニ在リテハ裝甲自働車、曲射歩兵砲、擲彈筒、手榴彈、爆破藥及燒夷彈等ヲ有效ニ利用スルノ機會多キモノトス特ニ裝甲車ハ掃蕩戰ニ於テ然リトス此ノ場合通信連絡其ノ他ノ爲武裝セル自働自轉車ノ如キ輕快ナル補助機關ヲ附セバ一層有效ナリ又市街地ノ戰闘ニ在リテハ迅速ナル兵力ノ移動ヲ要スルコト多キヲ以テ爲シ得ル限り自働車等ノ快速ナル輸送機關ヲ整備シ之ガ利用ニ努ムルコト肝要ナリ

**第四百四十七** 住民地ニ據レル敵ヲ攻撃スルニハ單ニ其ノ正面ノミナラ

ズ近接シ易キ側背等ヨリスル攻撃ヲ併セ行フヲ可トス然レドモ之ガ爲各部ノ連繫ヲ失シ各個擊破ヲ蒙ラザルコトニ注意スルヲ要ス

又住民地ノ攻撃ニ於テハ燒打ヲ行ヒ奇功ヲ奏スルコトアリ但シ此ノ場合風向及其ノ變化ニ注意スルヲ要ス

**第四百四十八** 住民地内ノ戰闘ニ於テハ特ニ各部ノ連繫ニ注意シ友軍互ニ相討タザル如ク注意スルヲ要ス之ガ爲要スレバ豫メ射撃スベキ方向ヲ規定シ又ハ場合ニ依リ射撃ヲ行ハザルヲ可トスルコトアリ

**第四百四十九** 住民地ニ進入シタル部隊ハ敵ニ追尾シテ其ノ前端ニ到ルマデ突撃ヲ續行スベシ此ノ際敵ノ尙保持スル家屋アルトキハ一部隊ヲ殘シ之ヲ掃蕩セシメ主力ハ成ルベク分散スルコトヲ避ケテ敵ノ主力ヲ擊滅スルコトヲ計ルベシ而シテ敵ヲ掃蕩シタル地區ニハ直ニ所要ノ警戒兵ヲ配スルヲ要ス

**第四百五十** 住民地ノ敵ヲ掃蕩スルニハ道路ノ情況ニ從ヒ之ヲ若干ノ掃蕩區域ニ分チ主力ヲ以テ主要道路ヲ、一部ヲ以テ其ノ側方道路ヲ相併行シテ同一方向ニ向ヒ一齊ニ掃蕩スルヲ要ス

此ノ場合行進方向ニ略直角ナル一線ヲ劃シテ整頓線ト爲シ部隊ノ整頓ヲ行ヒ左右ノ連絡ヲ確保シツツ統一アル戰闘ヲ行フコト肝要ナリ而シテ豫備隊ハ通常主力ノ後方近距離ヲ續行スルモ情況ニ依リ住民地外ニ待機シ掃蕩隊ノ支援、後方側方ノ警戒及要スレバ敵ノ退路遮斷等ニ使用スルヲ可トスルコトアリ

**第四百五十一** 堅固ナル建築物ニ據レル敵ニ對スル攻撃ハ之ニ對立スル建築物ヨリ射撃ヲ加ヘ手榴彈、爆破藥等ヲ入口或ハ窓ニ投ジテ突撃路ヲ作り直ニ進入スルニ在リ又建築物破壊ノ爲豫メ特ニ破壞班ヲ編成スルヲ可トスルコトアリ屋内ニ於テハ拳銃、銃劍及手榴彈等ヲ使用セザ

糧メテ有效ナリ

**第四百五十二** 堅固ナル家屋若ハ圍壁等ヲ破壊スルニハ艦砲又ハ野砲ヲ用ヒ之ヲ砲撃スルヲ最有效トス而シテ艦砲ヲ有效ニ使用スルニハ陸上觀測所ノ位置ヲ適當ニ選定シ且之ト緊密ナル連絡ヲ保持スルコト肝要ナリ情況ニ依リ彈道ヲ修正スル爲藥量ヲ特減スルヲ要スルコトアリ又口徑小ナル野砲ハ屋上ニ陣地ヲ占領スルヲ有利トスル場合多シ

**第四百五十三** 住民地ノ防禦ニ在リテハ兵力ノ多少ヨリモ寧ロ部隊ノ精否ト防禦工事ノ施設如何ニ依ルコト特ニ大ナリ

住民地ニ於テハ射界狹小ナルヲ常トス故ニ防者ハ障礙物ノ構築射界ノ清掃等ニ努ムルヲ要ス

又住民地ノ防禦ニ於テ敵ニ有力ナル砲隊ヲ有スルトキハ其ノ集彈ヲ受け易キ建築物火災ヲ起シ易キ家屋等ハ成ルベク使用ヲ避クルヲ可トス

**第四百五十四** 住民地ノ防禦ハ圍壁及家屋ノ狀態ニ應ジ各部隊ノ守備區域ヲ定メテ守備セシメ假令敵兵其ノ一區域ニ進入スルトモ他ニ之ヲ波及セシメザル如ク設備スルヲ必要トス

住民地ニ在リテハ獨リ其ノ周縁ヲ守備スルノミナラズ内部ニ於テモ亦道路ヲ阻絶シ堅固ナル家屋ヲ占領シ、機銃其ノ他ヲ使用シテ攻者ノ近迫ヲ妨害スル等ノ設備ヲ爲スベシ其ノ他通信、防火、瓦斯防禦、炊事ノ準備ニ注意スルヲ要ス

豫備隊ハ交通便利ナル地ニ置キ敵兵防禦區域内ニ進入スル等ノコトアラバ之ヲ以テ逆襲ヲ行ヒ速ニ撃退スルコトヲ努ムベシ

**第四百五十五** 構造堅固ナル建築物ハ適當ニ防禦セバ假令敵ヨリ全ク包圍セラルル場合ニ在リテ尙之ヲ維持シ得ベキモノトス家屋ノ防禦ハ饅飯、土囊、米俵等ヲ以テ入口、窓ヲ充分ニ防護シ各所ニ銃眼ヲ設ケ特

ニ死角ヲ作ラザルコトニ注意スベシ

大ナル建築物ニ在リテハ其ノ建築物内ノ各區若ハ重要ナル各室毎ニ獨立シテ守備シ得ベキ設備ヲ必要トスルコトアリ

## 第九章 不正規軍ニ對スル戰闘

**第四百五十六** 不正規軍ニ對シテハ敵ノ性質、武裝特ニ其ノ訓練ノ程度ニヨリ之ニ適應スル戰闘法ヲ選ブベシト雖モ常ニ軍紀ヲ嚴正ナラシメ細心ノ警戒竝ニ堅確ナル意思ヲ以テスル大膽ナル實施ヲ必要トス

**第四百五十七** 訓練足ラズ組織的行動ニ慣レザルハ不正規軍ノ最短所トスル所ナリ故ニ不正規軍ニ對シテハ敵ノ意表ニ出ヅル如キ行動、迅速ナル攻撃、夜間又ハ不良ナル天候等ノ利用ハ其ノ效果大ナルヲ常トス

**第四百五十八** 不正規軍ハ一般ニ精良ナル武器特ニ新兵器ヲ有セザルヲ

不正規軍ニ對スル戰闘

常トス故ニ敵ノ有セザル新式有力ナル兵器ヲ以テ攻撃若ハ威嚇スルトキハ有形無形ノ效果特ニ著シキモノトス

**第四百五十九** 不正規軍ニ對シテハ常ニ積極的ナルヲ要ス若シ躊躇退却等ノ徵候又ハ我勢力ノ微弱ナルヲ示ストキハ敵ノ士氣ヲ盛ナラシムニ反シ猛烈ナル攻撃ノ續行ハ敵ノ意氣ヲ挫キ決定的效果ヲ收メ得ルモノトス特ニ一度敵ニ打撃ヲ與ヘタルトキハ其ノ機會ヲ充分徹底的ニ利用セザルベカラズ

**第四百六十** 不正規軍ハ多クノ場合地理ニ精通シ如何ナル小道ト雖モ必ガ使用ニ慣レ且伏兵ヲ設クルハ其ノ常用手段ナリ故ニ爲シ得レバ不正規軍ニ對シテハ成ルベク蔭蔽地ニ入ルヲ避ケ努メテ開闔地ニ於テ戰闘スルヲ可トスルコト多シ

又不正規軍ハ間諜ノ利用ニ便ナルコト多キヲ以テ之ニ對スル警戒ハ極

メテ細心ナルヲ要ス

## 第十章 乘馬隊、砲隊及飛行機ニ對スル動作

乘馬隊及飛行機  
ニ對スル動作

**第四百六十一** 敵ノ乘馬隊ノ襲撃ヲ受ケタルトキ沈著シテ行フ射撃ハ能ク其ノ襲撃ヲ無効ナラシメ得ルモノトス

徒歩セル乘馬兵ニ對シテハ比較的少數ノ部隊ト雖モ成功ヲ期シ得ベシ此ノ際特ニ我側背ヲ警戒シ且敵ノ手馬ヲ射撃スルハ有效ナリ

**第四百六十二** 砲隊ニ對シテハ速ニ我有効射撃ヲ行ヒ得ル距離ニ近接シ且成ルベク其ノ陣地ヲ斜射側射スルヲ可トシ其ノ運動中或ハ射撃準備中等ノ際之ヲ射撃シ得ルトキハ假令遠距離ニ在リテモ尙有效トス  
又其ノ觀測所ヲ射撃セバ價值大ナルモノトス

**第四百六十三** 交戦中敵飛行機ノ襲撃ヲ受ケタルトキハ直接之ニ對スル

第二篇 戰國 乘馬隊、砲隊及飛行機ニ對スル動作 二五〇

ヲ要スル部隊ノ外ハ通常依然其ノ任務ニ服シ之ト交戦ヲ企テザルモノトス

飛行機ニ對スル射撃ハ通常銃隊一ケ小隊又ハ機銃一小隊以上ヲ充當セザルベカラズ但シ單ニ敵機ノ低空ニ於ケル自由ナル行動ヲ妨害スルニハ其レ以下ノ兵力ヲ以テスルモ其ノ目的ヲ達シ得ルモノトス  
此ノ際友軍ニ危害ヲ及スコトナキニ注意スルコト必要ナリ

## 附 錄

### 演 習

#### 第一章 演 習

#### 規 則

第一 演習ハ其ノ指導及實施共ニ努メテ實戰的ナルヲ要ス實戰ノ景況ニ遠ザカリ又ハ經過甚ダシク過早ナルガ如キハ演習ノ效果ヲ著シク減殺スルモノトス但シ演習ニ於テハ危險ニ對シ充分注意スルヲ要ス

第二 演習ハ部隊ノ狀態、使用シ得ベキ場所、時間、材料等ニ從ヒ目的ニ適應スル如ク計畫シ實施スベキモノニシテ如何ナル場合ニ於テモ精神の訓練ニ注意シ且努メテ適切ナル協同動作ト獨斷專行トヲ演練セシムル如ク指導スルヲ要ス

第三 陸戰隊ト編制及隊裝ヲ同ジウスル部隊ニ對スル演習ノミヲ行フコ



トナク陸戰隊ノ遭遇ヲ豫期セラルル敵ノ編制及隊裝ノ部隊ニ對スル演習ヲ行フコト肝要ナリ

**第四** 想定ハ演習ノ基礎ヲ爲スモノニシテ目的ニ適合スルヲ要シ努メテ自然的ニシテ且著シク複雑ナルヲ避クルヲ可トス

**第五** 演習ハ目的ニ應ジ通常對抗演習若ハ假設敵演習ヲ行ヒ又單ニ敵ヲ想定シテ實施スルコトアリ

**第六** 假設的演習ニ於テハ其ノ目的ヲ達シ得ル範圍ニ於テ標的若ハ旗等ヲ使用シテ成ルベク假設敵ノ員數ヲ減ジ演習部隊ヲ多クスルヲ可トス然レドモ小部隊特ニ兵員ノ教育ヲ主トスル演習ニ在リテハ敵線ノ表示ヲ努メテ實況ニ近カラシムルヲ要ス

**第七** 演習部隊ノ一方若ハ兩方ニ假設部隊ヲ混ズルトキハ成ルベク重要ナラザル任務ニ使用スル如ク指導スルヲ可トス

## 演習ニ 關スル 號音

**第八** 演習開始、中止、再興及終結ニハ通常左ノ號音ヲ使用シ夜間ニ在リテハ火箭ヲ併用スルコトアリ

演習開始及再興 「氣ヲ付ケ」「前へ」

演習中止 「氣ヲ付ケ」「待テ」

演習終結 「氣ヲ付ケ」「解散」

之等ノ信號ヲ認メタル場合小隊長以上ハ要スレバ附近ニ在ル掌信號兵ヲシテ他部隊ニ對シ直ニ之ヲ傳達セシムルモノトス

**第九** 演習中止ノ令アリタルトキハ演習部隊ハ全部其ノ時ノ姿勢ト隊形トヲ保チ現位置ニ停止スベシ但シ部隊長ハ交通衛生等ノ顧慮ニ依リ特ニ必要ヲ認メタルトキハ兵員ノ位置ヲ變更セシムルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ成ルベク速ニ附近ノ審判官ニ之ヲ通報スルヲ要ス

又演習中止間別令ナケレバ演習部隊ハ演習ニ關スル命令、報告、通報

演習  
關スル  
標識

等ノ傳達ヲ爲スヲ得ズ

第十 統監部(指導部)ノ所在ヲ標示スル必要アル場合ニハ且旗ヲ掲グ但

シ演習上妨トナルトキハ此ノ旗ヲ用ヒザルコトアリ

統監部員(指導部員)審判官及之ニ附屬スル者ハ左腕(雨衣ヲ著シタル

トキハ其ノ外面相當部)ニ赤布ヲ纏フモノトス

第十一 演習ニ於テ識別ノ爲一方軍ハ帽覆ヲ用ヒ他ノ一方軍ハ帽覆ヲ用ヒザルヲ通常トス

第十二 假設部隊ヲ標示スルニハ標的若ハ標旗ヲ用フ標旗ノ識別ハ通常左例ニ依ルモノトス

赤(青)三角旗 約十名(一ヶ分隊)

赤(青)方旗 約四十名(一ヶ小隊)

白 旗 約百五十名(一ヶ中隊)

赤白(青白)三角旗 輕機銃一挺(一ヶ分隊)

赤白(青白)方旗 機銃一挺(一ヶ分隊)

旗ヲ左右ニ振ルトキハ其ノ射撃中ナルコトヲ表示ス

第十三 假設工事ハ通常適當ナル材料及所要ノ記入ヲ爲シタル標識ヲ以

テ示スモノトス

第十四 演習ニ於テハ敵ヲ捕獲シ或ハ其ノ所持品ヲ奪取スルコト及地方

民ニ就キ敵情ヲ探知スルコトヲ得ズ

第十五 演習ニ於テハ偽裝ノ外服裝ヲ變ズベカラズ

第十六 空放發火ヲ爲スニハ左記諸項ヲ遵守スルヲ要ス

一、敵ヲ離ルコト小銃ハ五十米、機銃及輕機銃ハ百米以内ニ於テ發火スベカラズ

二、航空機ヲ離ルコト小銃ハ百米、機銃及輕機銃ハ二百米以内ニ於

テ發火スベカラズ

三、住民地、蔭蔽地、火災ヲ起シ易キモノノ附近、夜間其ノ他危險ノ顧慮アル場合ニハ單ニ射撃ノ手續ヲ爲スニ止メ空放ヲ用フベカラズ但シ蔭蔽地及夜間ニ於テモ危險ノ顧慮ナキトキハ部隊長ハ空放發火ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニハ銃口ヲ上空ニ向ケ特ニ注意シテ發火スルヲ要ス

四、打鼓ハ每發之ヲ收納スベシ

第十七 住民地、蔭蔽地、夜間其ノ他危險ノ顧慮アル場合ニハ拔劍、着劍ハ手續ノミニ止ムルモノトス

第十八 演習ニ於テ兩軍ハ十米以内ニ接近スベカラズ此ノ距離ニ接近シタルトキハ停止シテ審判ヲ待ツベシ

第十九 演習ニ於テハ濫リニ建造物ヲ毀損シ器具ヲ破壞シ耕作物ニ損害

ヲ與ヘ邸宅内ニ入ル等ノコトヲ禁ズ

第二十 演習ニ於テハ踏切以外ニ於テ鐵道線路ヲ通過スベカラズ又鐵道其ノ他ノ交通機關ニ妨害ヲ加ヘザルヲ要ス

第二十一 特別ノ場合ヲ除キ演習ニ於テ工事若ハ破壞作業ヲ假想スルトキハ單ニ標識ヲ設クルニ止ムルコトナク偵察、經始、器具材料ノ配給、兵員ノ配置等ハ之ヲ實施スルヲ要ス工事若ハ破壞作業ヲ假想シタルトキハ通常審判ヲ待チ某程度ノ效力ヲ發生スルモノトス

第二十二 假設部隊ハ實員部隊ニ比シ其ノ運動及遮蔽容易ナルヲ以テ非實戰的ニ陥リ易キコトアリ故ニ其ノ速度地積等ハ實員部隊ト等シカラシメ且標旗ヲ故意ニ隱匿シ若ハ過度ニ高ク掲グル等ノコトナキヲ要ス

第二十三 統監(指揮官)ハ成ルベク指揮官ノ意志ヲ掣肘スルコトナキヲ要ス然レドモ已ムヲ得ザル場合ニハ適切ナル情況ヲ與ヘテ指導スベシ

若シ適切ナル情況ヲ作爲シ難キトキ或ハ情況ヲ與フルモ指揮官ヲシテ  
統監(指導官)ノ意圖ニ合スル行動ヲ爲サシメ得ザルヲ豫想スルトキハ  
寧ロ制令ヲ以テ所要ノ行動ヲ取ラシムルヲ可トスルコトアリ

**第二十四** 統監(指導官)及審判官ハ其ノ位置ニ注意シ演習部隊ヲシテ過  
早ニ戰況ヲ豫察セシメザルヲ要ス

**第二十五** 統監(指導官)及審判官ハ操式教範ノ原則ヲ基礎トシテ各部隊  
ノ動作ヲ監察シ機ヲ失セズ適當ノ審判ヲ爲シ演習ノ實施ニ關シ所要ノ  
事項ヲ命ズルモノトス

**第二十六** 軍紀ノ弛張及士氣ノ振否ハ演習ノ審判上特ニ顧慮スベキ要件  
トス而シテ演習ニ於テハ之ヲ認識スルコト甚ダ困難ナルヲ以テ審判官  
ハ特ニ此ノ點ニ注意スルヲ要ス

**第二十七** 統監(指導官)及審判官ハ彼我銃火ノ效力ヲ適當ニ判斷シ適時

損傷ヲ指摘シ或ハ假想ノ死傷者ヲ作り敵火ノ效力ヲ明瞭適確ニ部隊長  
ニ感知セシムベシ此ノ如クスルモ部隊長尙之ニ適應スル處置ヲ爲サザ  
ル場合ニハ制令ヲ以テ部隊ノ前進ヲ禁止シ又ハ退却セシムルモノトス  
而シテ退却セシメタルトキハ再ビ敵ニ正面シ得ル地點ヲ明示スルヲ要  
ス然レドモ退却セシムルトキハ演習部隊ノ士氣ヲ挫折シ教育上有害ナ  
ルコトアルニ注意スベシ  
死傷ノ審判ヲ受ケタル者ハ帽ヲ脱シ審判官ノ指示ニ從ヒ演習ノ妨ゲト  
ナラザル如ク行動スベシ

**第二十八** 兩軍部隊衝突シタルトキハ審判官ハ迅速ニ之ガ審判ヲ行ヒ要  
スレバ其ノ戰鬪ノ爲損傷シタリト認定セル兵力ヲ現位置ニ殘置セシメ  
其ノ他ヲ以テ爾後ノ動作ヲ爲サシムベシ

**第二十九** 審判官ハ斥候、傳令等ノ非實戰的行爲ニ制裁ヲ加フル爲成ハ

實際ニ於テ捕虜若ハ死傷者タルベキモノニ對シテハ適宜ノ時間停止シ命ジ若ハ其ノ取ルベキ道路ヲ指示スルモノトス

**第三十** 演習間不意ノ事變又ハ實戰ニ於テ有リ得ベカラザル處置ヨリ生ズル混亂ヲ鎮メ演習ノ經過ヲ整正ナラシメンガ爲審判官ハ一時一局部ノ演習ヲ中止セシムルコトヲ得但此ノ際ニハ號言ヲ用ヒズ且事故止マバ直ニ演習ヲ繼續セシムベキモノトス

**第三十一** 演習部隊工事若ハ破壊作業ヲ假想シタルトキ審判官ハ其ノ計畫準備及實施ノ方法ヲ基礎トシ作業ノ效果ヲ考查シ標識ノ方法ヲ點檢シ適時其ノ效果ヲ當該部隊長及對抗部隊ノ審判官ニ通告スルモノトス

**第三十二** 小銃及輕機銃ノ射撃效力ハ敵ノ遠近、距離測定ノ良否、照尺ノ選定、目標ノ種類及其ノ附近ノ地形、彼我ノ關係位置、兵力火力ノ分配及射撃方法、明暗ノ度、射撃軍紀竝ニ其ノ射撃ガ敵ノ意表ニ出シ

ヤ否ヤ等ヲ考慮シ命中効力表ニ準據シ概ネ左ノ要領ニ依リ判定スルモノトス

一、暴露セル密集部隊ハ敵ト約千五百米ノ距離ヨリ既ニ損害ヲ受ケハ百米ノ距離ニ至レバ我散兵ノ火力敵ニ優ルトキニ限り散兵線ノ後方ニ於テ短時間駐止シ又ハ少シク側方ニ移動スルコトヲ得レドモ八百米以內ニ達スレバ假令我散兵線ノ火力敵ニ優ルトキト雖モ迅速ナル歩度ヲ以テスルニ非ラザレバ前進及退却運動ヲ爲スコト能ハザルヲ通常トス

二、暴露セル散兵ハ敵ト約千米ノ距離ヨリ既ニ損害ヲ受ケ八百米以內ノ距離ニ在リテハ通常連續セル前進運動ヲ爲シ得ザルモノトス

三、斜射及側射ハ著大ナル效力アルモノトス

**第三十三** 機銃ノ射撃效力ヲ判定スルニハ概ネ小銃ニ就キ示セル要領ニ

準ズベシト雖モ好機ニ乘ジ巧ニ使用シタルトキハ其ノ效力著大ナルコトアルヲ考慮スベシ

**第三十四** 散兵ハ砲火ニ暴露シ在ルトキハ敵ト約千五百米ノ距離ヨリ已ニ大ナル損害ヲ受ケ千米以内ノ距離ニ在リテハ唯駈歩ヲ以テ一擧ニ百米内外ノ距離ヲ前後ニ運動シ得ルニ過ギザルモノトス密集隊ハ三千米以内ノ距離ニ於テハ暴露シテ高キ姿勢ヲ取り長ク停止スルコト困難ナルモノトス

**第三十五** 突撃ノ結果ヲ判定スルニハ突撃時ニ於ケル士氣、突撃準備ノ爲行ヒタル射撃ノ結果、彼我ノ兵力特ニ突撃ノ際用ヒタル新銳ノ兵力ノ比較、突撃部隊ノ狀態之ニ對スル敵軍ノ動作及地形ノ利害等ヲ考察シ尙突撃ハ敵ノ弱點ニ向ヒテ行ハレタルヤ又ハ敵ノ裏側ヲ包圍セシヤ等ヲ願慮スルコト必要ナリ

**第三十六** 航空機ニ對スル射撃效力ハ航空機ノ種類、射距離並ニ其ノ測定ノ良否、射撃部隊ノ員數、射撃法、射撃彈數ノ多寡及航空機ノ飛行高度並ニ飛行狀態ヲ考慮シテ判定スベキモノニシテ小銃及機銃ノ射撃ニ在リテハ晴天ノ場合千二百米以上ノ距離ニ於テハ效力少ク漸次距離ノ短縮スルニ從ヒ效力増大シ適當ニ實施シタル射撃ハ六百米以下ノ距離ニ於テ其ノ效力大ナリ

**第三十七** 演習終了後統監(指導官)ハ指揮官及部隊ニ對シ講評ヲ行フベシ講評ハ努メテ操式教範ノ條項ト實例トヲ引用シ教訓ノ意ヲ以テ實施スルヲ要ス

**第三十八** 講評ニ於テ特ニ指示スベキ要點左ノ如シ  
指揮官ニ關スル事項

情況判斷ノ適否

決心處置ノ適否

命令及其ノ傳達ノ適否

指揮運用ノ適否

部隊一般ニ關スル事項

軍紀ノ弛張及士氣ノ振否

對敵觀念ノ深淺

命令實施ノ確否

協同動作及獨斷專行ノ適否

操式教範等活用ノ適否及實施ノ確否

### 第三十九

統監(指導官)若シ指揮官ノ爲シタル所ト意見ヲ異ニスルトキハ單ニ指揮官ノ處置ヲ非難シ若ハ其ノ缺點ヲ指摘スルニ止ラズ若シ自ラ指揮官タリシナランニハ如何ニ決心シ又ハ命令シ若ハ處置セシナラ

ント具體的ニ意見ヲ述ブルヲ可トス

### 第四十

講評ニ當リ「可」「不可」「適當」「不適當」ノ語ハ極メテ周到ノ注意ヲ以テ之ヲ使用シ且被講評者ヲシテ此等ノ依ツテ來ル所以ヲ理解シ得セシムベシ

又善良適切ナル行爲ヲ認識シタルトキハ之ヲ賞揚シテ益其ノ向上發達ヲ促シ之ニ反スルモノニアリテハ特ニ留意シテ深く實情ヲ究メ懇切ニ之ヲ戒ムルヲ要ス然レドモ怠慢不熱心等ヨリ生ズル過誤ハ決シテ之ヲ看過スルコトナク程度ニ應ジ之ヲ指摘シテ一般ノ訓戒ニ資スルヲ可トス

### 第四十一

演習ノ爲若シ建築物、耕作物等ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其ノ所有主若ハ地方官吏ト協議シテ損害ヲ賠償スルモノトス若シ其ノ協議調ハザルトキハ徵發令及徵發事務條例ニ依ルベシ

附錄ノ  
説明ノ

第二章 兵語ノ説明

一、距離

部隊又ハ各兵間ノ距離ハ常ニ空間距離ヲ指シ若シ特ニ前後左右ヲ區別スル要アル時ハ縱(横)距離ト云フ精密ヲ要スルトキハ是ノ位置ニ付キ測定ス

射撃ニ於テ近距離、中距離、遠距離ト稱スルハ夫々六百米以内、六百米乃至千米、千米以上ヲ指ス

二、報告

指揮系統内ノ上級者ニ對シ爲ス申報ヲ云フ

三、通報

指揮系統内ノ上級者ヨリ下級者ニ對シ又ハ友隊相互間或ハ指揮系統外ノ部隊官廳等ニ對シ爲ス申報ヲ云フ

四、搜索

所在未知ノ敵ヲ探索スルヲ云フ

五、偵察

所在概知ノ敵情又ハ局地ノ情況ヲ探索スルヲ云フ

六、判斷

或情況ニ基キ「斯ク爲スヲ至當トス」若ハ「之ヲ選ブヲ可トス」等ト定ムルヲ云フ判斷ハ任務ヲ基礎トシ敵情地形ヲ參酌スル外自軍ノ狀態、友軍トノ關係、季節、天候、時刻等モ考慮シテ爲スベキモノトス

七、決心

判斷ニ依リ我爲スベキコトヲ定メ之ヲ決行セントスル意志ヲ定ムルヲ云フ

八、情況判斷

任務、敵情、地形等ニ基キ我ハ如何ニ爲スベキヤヲ判定スルヲ云フ

九、接敵運動

敵ニ近接スル部隊ガ警戒行軍ヲ止メタル後火線構成迄ノ運動ヲ云フ

十、開進

行軍縱隊ヨリ展開ニ便ナル如ク所要ノ地域ニ集結セル横廣ノ隊形ニ移ルヲ云フ



十一、展 開 各部隊ニ戰鬪任務ヲ與ヘ第一線ト豫備隊トニ區分シ縱

横ニ配置スルヲ云フ

十二、火線構成 第一線小隊長ガ各分隊ニ戰鬪任務ヲ與ヘ之ヲ前後左右

ニ配置スルヲ云フ

十三、據 點

戰鬪ノ支點トナルベキ要地ヲ云フ例ヘバ攻者ガ利用シテ其ノ展開竝ニ攻撃實行ヲ容易ニスルモノハ攻撃ノ據點ナリ通常森林、村落、高地、工事等ハ據點トナルコトヲ得

十四、正面攻撃 敵ノ正面ニ向ヒ攻撃スルヲ云フ

十五、側面攻撃 敵ノ側面ニ向ヒ攻撃スルヲ云フ

十六、包圍攻撃 正面攻撃ト側面攻撃トヲ併用スルヲ云フ

十七、前進陣地 防禦ニ於テ本陣地ノ前方ニ一陣地ヲ占領シタルトキ之

ヲ前進陣地ト云フ

十八、收容陣地 友軍ノ退却行動ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ一時追撃

部隊ヲ拒止スル爲占領スル陣地ヲ云フ通常翼側ノ一據

點ヲ選定スルモノトス

十九、經 始 構築物ノ各稜ノ投影ヲ地上ニ標示セルモノヲ云フ之ヲ

以テ其ノ形狀及其ノ構築物ト土地トノ關係ヲ明ニス

二十、斷 面 經始ニ直交セル平面ヲ以テ構築物ヲ切斷シタル形狀ヲ

云ヒ之ヲ以テ構築物ト土地トノ關係及斷面各部ノ諸元

ヲ明ニス

二十一、死 角 陣地前方ノ地形ニ依リ我射彈ノ達セザル地部ヲ云フ

二十二、側 防 死角或ハ正面前其ノ他必要ナル地域ヲ側方ヨリ射撃ス

ル處置ヲ云フ

昭和五年九月五日印  
昭和五年九月十日發  
昭和十六年十二月二十日第十五版發行

刷行  
(六・十一・正誤訂正ス三)  
(陸戰教範奧附)  
⊙(定價金貳拾錢)

翻刻  
發行者

東京市麴町區永田町一丁目三番地

兵用圖書株式會社

印刷者

東京市麴町區永田町一丁目四番地  
小林又七

印刷所

陸軍省構内  
小林印刷所



發行所

東京市麴町區永田町一丁目三番地  
兵用圖書株式會社

電話九段(33)二九六一番  
總發東京一八〇八八番